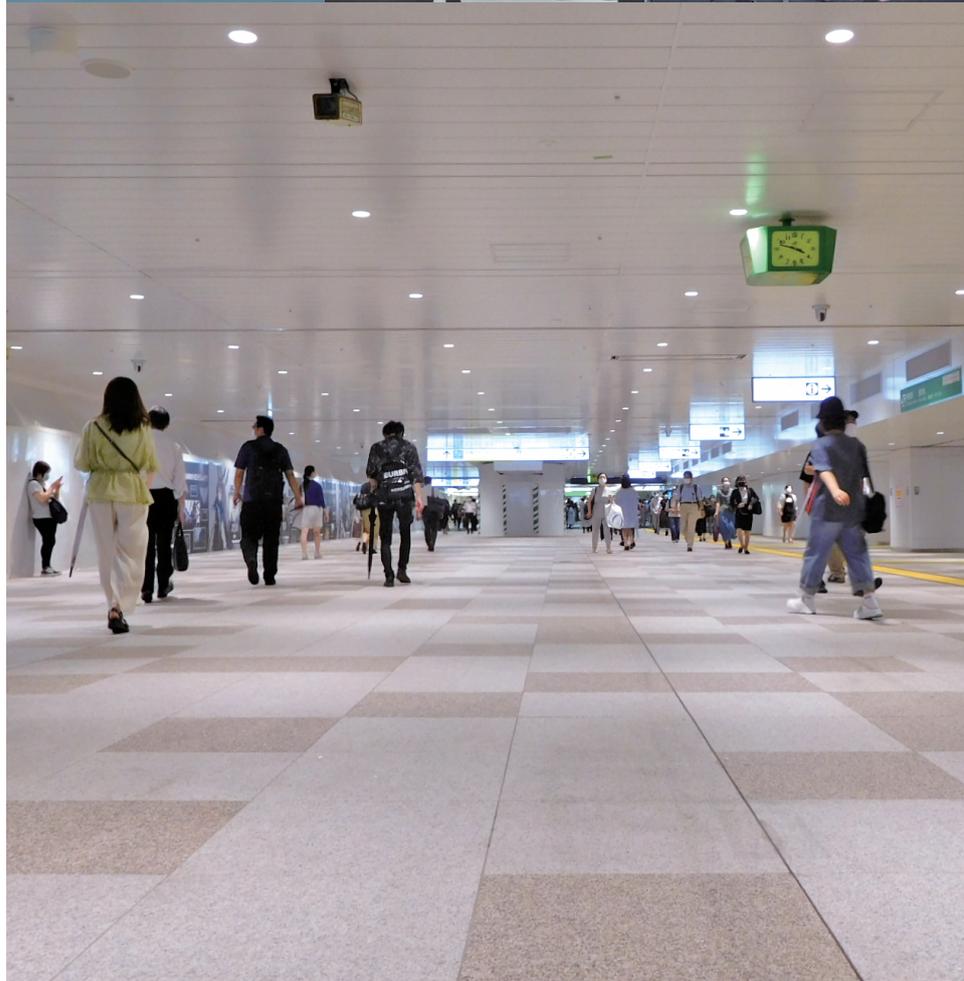


# 新宿駅 東西自由通路 開通記念



2020. 7. 19

東西自由通路等新宿駅周辺整備促進同盟



# 目次

contents

会長あいさつ	01
祝辞	02

## 第1章 新宿駅周辺のまちづくりの歴史 07

1 まちの特色	08
■ 新宿駅西口	
■ 新宿駅東口	
■ 歌舞伎町	
■ 新宿駅南口	
2 まちとターミナルの成り立ち	16

## 第2章 東西自由通路事業の推進の経緯 21

1 東西自由通路事業推進の経緯	22
2 東西自由通路事業の概要	26
3 東西自由通路整備の関連事業	27
4 東口駅前広場の変遷	28
5 工事ステップ	30
6 東西自由通路開通前後の比較	50

## 第3章 東西自由通路促進同盟の活動の記録 51

1 同盟これまでの歩み	52
2 「同盟」活動年表	59

## 第4章 新宿駅周辺における今後のまちづくり 65

1 各地区の方針やガイドライン	66
2 新宿駅周辺におけるまちづくりの動き	68
3 2040年代に向けた新宿駅周辺整備	70
4 新宿駅直近地区の再整備	74
5 将来像の実現に向けて	76

# 会長あいさつ

昭和55（1980）年5月、東西自由通路等新宿駅周辺整備促進同盟の前身である「通勤新線新宿駅誘致実現等期成同盟」発足以来、40年の長きにわたり整備促進運動を続けてきた新宿駅東西自由通路が、平成24（2012）年9月の工事着手から約8年という歳月を経て、令和2（2020）年7月19日に晴れて開通を迎えました。

今日まで、東西自由通路開通の実現に向けて精力的に、そして根気強く活動を展開されました促進同盟役員と会員の皆さまに、深く敬意を表します。

また、これまで、東西自由通路の整備に御尽力いただいた関係者の皆さまに心から感謝申し上げます。

新宿駅周辺地域では、東西の歩行者ネットワークの連続性を確保することが大きな課題であり、新宿駅東西のまちをつなぐ自由通路の開通は、促進同盟だけでなく地域の長年の悲願でした。この開通により、新宿駅周辺における東西交流機能が大幅に改善され、歩行者の回遊性や来街者の利便性が大きく向上し、より一層魅力あるまちへ発展していくことが期待されます。

平成30（2018）年3月に新宿区が東京都とともに策定した「新宿の拠点再整備方針」では、新宿駅周辺地域の将来像として交流・連携・挑戦が生まれる人中心のまちを目指し、新宿のまち全体へと展開させていくことを掲げています。その実現に向けて、令和元（2019）年12月には、先行して再編する新宿駅直近地区の土地区画整理事業や都市基盤等に関する都市計画の決定を行いました。その際、既に事業化していた東西自由通路についても、重要な都市基盤の一つとして位置付けられることから、改めて都市計画に定めました。

このたびの東西自由通路の開通は、新宿駅直近地区を駅・駅前広場・駅ビル等が一体となった新宿グランドターミナルとして再編するための大きな足掛りとなるだけでなく、拠点再整備方針に位置付けられた線路上空のデッキ等と共に、まちとまちをつなぐ大きな力になっていくことと思います。

東西自由通路の開通により、新宿のまちが今後とも発展し続けることを祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。

東西自由通路等新宿駅周辺整備促進同盟  
[同盟会長]  
新宿区長

吉住 健一



# 祝辞

message



[同盟副会長]  
新宿区議会 議長

吉住 はるお

新宿駅東西自由通路の開通にあたり、これまでの長い年月の間、東西自由通路の整備に御尽力いただいた、新宿駅周辺地区都市再生協議会を始め、全ての関係者の皆さまに深く敬意を表すると共に、心から感謝をいたします。

新宿駅周辺地域は、鉄道施設により東西に分断されていたため、さらなるまちの発展に向けて、新宿駅周辺における東西交流機能を確保することが地元の長年の悲願でした。

東西自由通路の開通により、東西のまちとまちがつながるとともに、駅周辺における歩行者の回遊性やまちを訪れる人の利便性が大きく向上するものと期待しています。

コロナ禍が区民生活に大きく影響を及ぼしている中、東西自由通路の開通が新宿区の明るい未来へと繋がることを切に願っております。

message



[同盟副会長]  
新宿区町会連合会  
常任相談役

大崎 秀夫

この度は、東西自由通路等新宿駅周辺整備促進同盟の長年の悲願であった新宿駅東西自由通路の開通、心よりお祝い申し上げます。

本同盟は昭和55（1980）年に設立され、歴代の会長（区長）と共に約40年間にわたり、要望活動やPR活動等を行い、開通に向けた機運の醸成に取り組んで参りました。東西自由通路開通に至るまで、本同盟の活動にご尽力いただきました同盟役員及び会員を始めとした関係者の方々に、深く感謝申し上げます。

新宿駅の東西の回遊性向上により、まちの活性化が図られることを期待しています。今回の開通を契機として、今後のまちの飛躍的な発展を祈念いたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。

## message



[同盟副会長]  
東京商工会議所  
新宿支部 会長

**高野 吉太郎**

新宿駅東西自由通路の開通、誠におめでとうございます。  
線路に隔てられていた新宿駅の東西を通路で結ぶプロジェクトは1970年代にスタートしておりまして、地域にとっては40年以上の長きに亘る悲願でございました。

「東西自由通路等新宿駅周辺整備促進同盟」の前身である「通勤新線新宿駅誘致実現等期成同盟」に先代の父が発起人として参加して以来、親子2代にわたり東西自由通路の整備促進に関わって参りましたので、ついにこの日を迎えたことは、誠に感無量の思いでございます。

これまで4代に亘る歴代の区長をはじめ、JR東日本の皆様や事業関係者に多大なご尽力を頂きまして、心より感謝申し上げます。

今後は、新宿駅の東西周辺地域が一体となって、新たな広域的取り組みを実施したり、回遊性を高めた賑わいを創出して、新宿がより一層魅力溢れる街となるよう取り組んで参りたいと思います。

## message



[同盟副会長]  
新宿新都心開発協議会  
代表幹事  
住友不動産株式会社  
代表取締役副社長

**小林 正人**

この度は、新宿駅東西自由通路の開通、心よりお祝い申し上げます。  
西新宿のまちは、昭和40~50年代に副都心として発展を遂げ、令和に入り新宿住友ビル三角広場の竣工やSOMPO美術館の開館、周辺では新宿中央公園の交流拠点施設の開設など、まちの賑わいの創出に向けた様々な取り組みが進められています。また新宿駅西口周辺では再開発も始まっており、まちの様相が変わりつつあります。

自由通路の開通を契機に特色の異なる東西のまちが繋がり、今後は新宿駅周辺全体が更に賑わい、魅力溢れるまちに発展するよう取り組んで参ります。

長年にわたり自由通路工事に携わり、ご尽力いただいた関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

## message



[同盟常任理事]  
歌舞伎町商店街振興組合  
理事長

### 片桐 基次

新宿駅東西自由通路開通おめでとうございます。歌舞伎町は新宿大繁華街の中でのエンターテインメント&歓楽街として成り立ってきました。その繁栄の一番大きな要因は、新宿駅という世界最大のターミナルを玄関口としていた事です。街の再開発を計画する上でも、交通の利便性が大きなアドバンテージである事を前提に進めてまいりました。

東西自由通路の開通により、鉄道利用者の利便性だけではなく、鉄道駅により分断されていた東西の街が経済的にも結ばれ、更なる新宿大繁華街の今後の発展に大きな期待を寄せています。

この難工事を完遂された関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

## message



[同盟常任理事]  
西新宿一丁目商店街  
振興組合 理事長

### 竹川 司

新宿駅周辺の私共の念願で有った東西自由通路が7月19日に開通致しました。新宿区、JR東日本、及びこの事業の関係者の皆様に本当に感謝申し上げます。

東西自由通路の開通により新宿中央公園から新宿東口を通り新宿御苑迄迂回せずに行き来が出来るようになり、また西口新都心から歌舞伎町までの回遊性が増し人の移動が容易になりました。一方交通の面では西口から西武新宿線へ、東口から京王線・小田急線への相互の利便性が大幅に向上致しました。この事により若い方は東口から西口へ、ビジネスの方はその逆に簡単に移動出来るようになりました。

そのため地元商店街は勿論近隣地域にも大きな経済効果をもたらし、益々新宿を訪れる方が増えることと思います。

東西自由通路が2040年新宿グランドターミナル構想の出発点となり、必ずこれからの新宿地域発展に繋がると確信しております。

東西自由通路完成本当におめでとう御座います。

## message



[同盟常任理事]  
新宿大通商店街振興組合  
理事長

### 竹之内 勉

東西自由通路完成を心よりお慶び申し上げます。  
東西自由通路の開通は私ども地元にとって長年の悲願そして希望であり、感慨深い思いで一杯です。  
完成に至るまでの関係各位のご苦勞、ご努力に感謝申し上げます。また、東日本旅客鉄道の皆様には、この難工事を通常通りの鉄道運行の中で一つの事故も無く開通させたことに対し、深く敬意を表します。現在は新型コロナウイルスの影響により大変厳しい状況が続いておりますが、コロナウイルスと戦う医療従事者の皆様に敬意を表すると共に、コロナ感染の終息を願いつつ、この度の東西自由通路の開通が大きなきっかけとなって新宿の賑わいがよみがえり、更に将来に向けて新宿グランドターミナル構想の実現と成功による新宿御苑から新宿通り、そして西口から中央公園まで、線ではなく広いマクロの視点で新宿の街が大きく発展する事を望みます。

## message



[同盟常任理事]  
新宿駅前商店街振興組合  
理事長

### 蛭川 和勇

東西自由通路開通、おめでとうございます。地元、新宿の商店街にとって悲願が達成されました。回遊性の向上や来街者が快適に過ごせる街の環境を充実させ、新たな賑いを作り出せましたが、ひとつ不足しています。  
駅舎です。現在各テレビ局が放映する新宿駅は全て「南口」を正面としていますが、一日三百六十万乗降客のある「世界一」の駅舎とは思われません。「新宿グランドターミナル構想」では、将来「ルミネエスト」の大改装がありますが、一目でわかる、そして新宿を代表する名物のひとつになるような「日本一」の駅舎を作って欲しいと思います。正面はもちろん「東口」です。「安全」「安心」な街づくりを実現できるよう新宿駅が未来に向けて、街と共に発展されることを祈念しております。

## message



[同盟常任理事]  
新宿東口商店街振興組  
理事長

**安田 眞一**

「新宿駅東西自由通路」完成おめでとうございます。

新宿駅の東と西の風通しが良くなり、コロナ対策としても大変有効で、心よりお祝い申し上げます。

新都心通勤交通網整備促進同盟の平成元（1989）年3月発行の「新しい出逢い」には、昭和63（1988）年当時の小淵恵三官房長官や佐藤信二運輸大臣、安部晋太郎自民党幹事長、住田正二JR社長に陳情している山本克忠区長が、カラー写真で載っております。鬼籍に入られた多くの関係者の熱い思いを、ひしひしと感じます。

新宿区・東京都から出された「新宿グランドターミナル構想」により、JR線路上空に東西デッキを架け、池あり森あり芝生ありの、自然豊かな「新宿セントラルプラザ」が出来たら最高だと思います。新宿区と友好都市である伊那のタカトオコヒガンザクラを植えて、花見も楽しめるというのはどうでしょう？西口の中央公園から新宿御苑を結ぶ、緑と風と桜のプロムナードの完成です。

官・民・鉄道事業者が三位一体となって、新宿グランドターミナル早期実現促進同盟を結成し、「エイ！エイ！オー!!」と大声でやりたいものです。コロナに負けず、元気を出して、「疫病、退散～ん！」

## message



[同盟監事]  
新宿西口商店街振興組  
理事長

**村上 健二**

新宿駅東西自由通路開通、誠におめでとうございます。

世界一の乗降客数を誇る新宿駅の更なる発展に不可欠である東西自由通路開通は、新宿にて生業を営む我々だけでなく、新宿と交わる全ての方々の長年の悲願でした。

古くは内藤新宿の宿場町の頃から明治、大正、昭和、そして平成へ。新宿は時代と共に様々な顔を持ち、街としての求心力と共に大きな発展を遂げて参りました。

そして令和を迎えたこのタイミングでこの度の開通を迎えたことは東口側と西口側のグランドデザインの大きな第一歩であり、新宿の歴史に新たな魅力を書き入れたことと感じております。

最後に長きに渡りご尽力された関係者の皆様に感謝を捧げ、新宿駅東西自由通路開通に心よりお祝いを申し上げます。

# 第1章 新宿駅周辺の まちづくりの歴史

新宿駅周辺地域では、個性を持った多様なまちが隣り合い重なり合って存在し、刺激し合いながら賑わい・発展を続けている。ここでは各地区の特色を紹介し、江戸時代から現代までのまちとターミナルの移り変わりを年代ごとに紐解いていく。



## 1 まちの特色

# Shinjukueki Nishiguchi



## 多様さを増す ビジネスの街。

高層ビルが立ち並ぶ日本経済の中心地

東京都庁をはじめとする超高層ビルが立ち並ぶオフィス街。新宿駅西口と聞いて多くの人がイメージするのはそんな風景だろう。今でこそ超高層ビルが林立する日本有数のビジネス街である新宿駅西口エリアは、明治時代までは農村であり、現在の新宿中央公園にあった十二社の滝は近郊から人々が水浴びに訪れる行楽地だった。

現在の新宿駅西口のシンボリックな存在といえば西口駅前広場である。JR、小田急、京王の鉄道三社、東京メトロ、都営地下鉄の地下鉄二社、さらにはバスターミナルから乗降する通勤客や旅行客が行き交う巨大なハブ地点だ。今後は新宿副都心計画に込められた地上部と地下街がより一体化

した「地下空間の地上化」という想いを継承し、新しい新宿らしさを実現していく。東西自由通路が開通したことで駅、駅前広場、駅ビル等の再編の起爆剤となるだろう。

明治時代から昭和40（1965）年まで浄水場であった新宿駅西口エリアは、200mを超える超高層ビルが立ち並ぶビジネスや行政の中心地。近年、超高層ビル群の周辺では再開発が進み、高層マンションが増えている。ビジネスだけでなく生活の場でもある新都心として、今後ますます多様な発展を見せるはずだ。

緑が溢れる新宿中央公園はオフィス街の貴重なオアシスである。江戸時代には八代将軍吉宗が頻繁に参拝を行い景勝

## 生まれ続ける新たな魅力

地としても賑わった熊野十二所権現社の敷地の一部で、明治時代までは十二社の滝があった。近代から現代まで新宿駅西口エリアの貴重な緑地帯として、新宿中央公園は人々が集まる場所であり続けている。令和2(2020)年7月には新宿のルーツである宿場をテーマの中心に据えた「SHUK NOVA」が新宿中央公園内にオープン。自然と都市生活が融合する公園の新しい形を人々に提供していく。

変化を続ける新宿駅西口エリアの中で昭和の空気を今でも残しているのが思い出横丁だ。赤提灯の小規模な飲食店が70店舗近く集まり、レトロな雰囲気が近隣のビジネスパーソンや若者、外国人観光客の人気を集めている。経済やビジネスの最前線としての新宿駅西口とはまた別の顔で、エリアの奥深さを表している場所と言えるのではないだろうか。

新宿のビジネスエリアとしての性質が強かった西新宿エリア。東西自由通路が開通し歩行者の往来の便が格段に向上したことで、今後はビジネスパーソン以外をターゲットにした商業施設や店舗の開発も進み、多様な魅力はより増すだろう。また、交通のハブとしてのさらなる発展にも期待したい。



▲企業が入る高層ビルだけでなく高層マンションの建設も進み、西口エリアに住む住民も増加中。

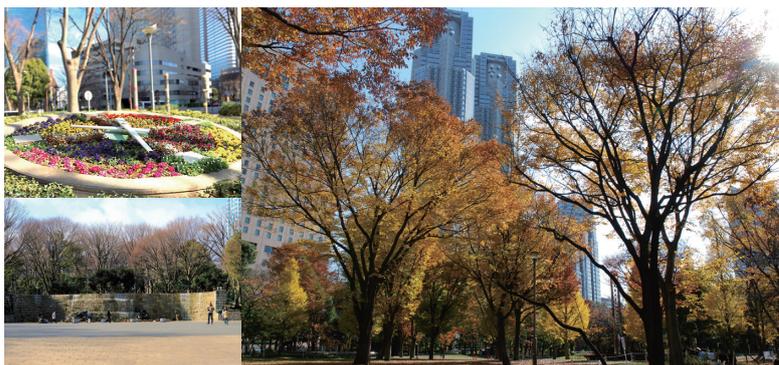


▲西口駅前広場はあらゆる交通機関が集まる交通のハブだ。



▲昭和の空気が色濃く残る思い出横丁。外国人観光客にも人気だ。

◀高層ビルが立ち並ぶ西新宿エリアも明治時代半ばはのどかな農村だった。



◀都会のオアシス新宿中央公園。ビジネスパーソンや近隣住民の憩いの場だ。

# Shinjuku Higashiguchi

## 加速する 商業の街。

人が集まることで生まれるエネルギー



▲この地に新宿駅が移転して以来、東口は変化と発展を続けている。

日本最大級の商業エリア、歓楽街として、全国から人が集まる新宿駅東口。江戸時代までは宿場町である内藤新宿の一エリアに過ぎなかった。しかし、明治時代に新宿駅が開通して以降、交通の要所としての重要性を増す。駅の移転や鉄道等の発展に合わせて百貨店や飲食店が盛んに開業出店し、社会の変化に対応して発展し続けている。

新宿駅東口の歴史は、甲州街道沿いから現在地に新宿駅舎を移転した大正14（1925）年にさかのぼる。大正12（1923）年の関東大震災により、大きな被害を受けた浅草や両国などの下町から、地盤の安定した西部へ移り住む人が急増し、こうした動きを受けて利用者が増加した。さらに、

当時街の中心が新宿通り沿いになりつつある傾向を見越して東口側に駅舎が誕生した。新宿駅東口は鉄道、路面電車、バスなどあらゆる公共交通が集まるハブ地点となった。東口地上部の新宿ステーションスクエアは、長らく東口のランドマークとして各種イベントや野外コンサートの場となってきた。現在は、東西自由通路の開通とあわせて新宿駅東口駅前広場が暫定ではあるが再整備されたことにより、来街者にとって安全で快適な歩行者滞留空間が創出され、新宿に集まる多種多様な人々が交錯する新時代のコミュニティスペースを形作っている。

交通の要所として大正時代以降急速に発展した新宿駅東

## 都会ならではの 楽しさを味わえる街

口には、訪れる人々をターゲットにした百貨店、飲食店が盛んに出店した。今でも残る伊勢丹、三越（現ビックロ）、中村屋、新宿高野、紀伊國屋書店などは明治から昭和初期に開業した老舗だ。時代が進む中で伝統と革新が混ざり合い、老若男女誰しものがそれぞれにとっての魅力を感じられる街に進化を続けている。買い物、エンターテインメント、ビジネス、老舗から新店まで、提供されるサービスはバラエティ豊か。また、地下鉄三路線や地下街によって形成された歩行者ネットワークは、新宿駅東口エリアの人の動線を多様化している。

日曜休日の午後には、新宿通りを主なエリアとして歩行者天国が実施されている。車の代わりに買い物客で賑わう歩行者天国は日曜休日の新宿の代名詞だ。また、新宿通りでは新宿エイサー祭り、新宿まちフェスなど、文化や芸術の魅力を発信するイベントが開催されている。

駅近くで飲食や娯楽を楽しめる新宿駅東口エリアは、100年近くにわたって賑わいを見せている。大正9（1920）年創業の武蔵野館は今でも営業を続ける映画館。昭和6（1931）年にはムーラン・ルージュ新宿座がオープンし、当時最新の舞台演劇の発信地として人気を集めた。昭和初期においては人気のカフェが軒

をつらね、飲食業も盛り上がりを見せた。現在でも形は変われど、多数の店舗が出店を続ける、強い集客力を誇るエリアである。

これまで新宿駅を中心とした東西方向の移動は、地上では甲州街道や靖国通り、地下ではメトロプロムナードや角筈ガードまで迂回する必要があった。この東西自由通路の開通により歩行者の利便性及び回遊性が向上し、新宿駅東口の経済活動は一層活発になることが見込まれる。



▲アーティスト松山智一氏が手掛けたパブリックアートが目玉の新宿駅東口駅前広場。このエリアの新たなランドマークとなることが期待される。



▲平成14年（2002年）の開催開始以来多くの観客を集める新宿エイサー祭り。来場者が120万人を超えることも。



▲東西自由通路が開通したことで、新宿駅東口の集客力はさらに高まることが期待される。



▲明治から昭和初期の創業店も数多く残る新宿通り。全国屈指の商業エリアだ。

# Kabukicho

空襲で焼け野原になった地域の復興を目指すために歌舞伎座を誘致したいという思いが、歌舞伎町という地域名には込められている。歌舞伎座の誘致はかなわなかったが、昭和30年代には世界有数の歓楽街となった。近年再開発が進み、より幅広い年齢層が安心して楽しめる街へと進化を続けている。

新宿駅東口を出て靖国通りに向かうと、交差点の向こうに歌舞伎町のネオン街への入り口として、集まる人たちの胸を高鳴らせるゴジラロードが見える。平成27(2015)年に全国有数のシネマコンプレックスのモニュメントとして原寸大ゴジラ

が設置されたことを受け、平成28(2016)年にセントラルロードを通称「ゴジラロード」と呼ぶようになった。以降、老若男女が安心してエンターテインメントを楽しめる街を象徴する通りとなっている。

平成27(2015)年に旧コマ劇場はシネマコンプレックスへ、平成28(2016)年に旧コマ劇場前広場はシネシティ広場として生まれ変わった。シネシティ広場では歌舞伎町に訪れる人が安心して過ごすための周知活動や、様々な文化の発信を行うイベントが開催されている。また、大久保公園ではフードイベントが多く開催され、賑わいを見せている一方で、イベン

## 生まれ変わる 華やぎの街。

その賑わいに人々の胸が高鳴る



▲安全な街の象徴とも言えるゴジラロード。  
原寸大のゴジラがインパクト大だ。

## 多様な人々や文化が集まる街へ

トがない日はフットサルやバスケットボールを楽しめるスポーツ拠点として多くの人々に利用されている。

終戦後の雑多な雰囲気が今なお残るのがゴールデン街。今や300店舗弱のバーや小料理屋が立ち並ぶエリアだ。作家や映画関係者、演劇人、ミュージシャン、マスコミ関係者など、文化人が集まりカルチャーを生み出す街としての性格があった。現在では、若者やビジネスパーソン、外国人まで気軽に独特の空気を味わえるお店が増えている。

花園神社は、内藤新宿の守り神として江戸開府以前から新宿エリアの人々の信仰を集めてきた。例年11月に開催される酉の市は、関東三大酉の市の一つに数えられており、毎年60万人規模の来場者で賑わう。変化し続ける街に寄り添う伝統の象徴だ。

近年歌舞伎町は清潔感のあるシティホテルや安価なゲストハウスなどが増えたことで、多様な年齢層がそれぞれのニーズに合わせて宿を選ぶことができるだけでなく、外国人観光客の滞在拠点として人気が高い。新宿駅にも近いため、バスや鉄道で都内はもちろん、全国に向かうことができる立地に加え、周辺で日本ならではの飲食やナイトレジャーを楽しむことができるのも魅力だ。

東西自由通路の開通により東西のまちの行き来がしやすくなったことで、再整備された新宿駅東口駅前広場を通じてますます来街者で賑わうことだろう。



▲歌舞伎町は、老若男女が安心して楽しめる街に生まれ変わりつつある。



▲フードイベントなどが開催される大久保公園。



▲独特の雰囲気が味わえるゴールデン街。若者や外国人観光客の利用者も多い。



▶歌舞伎町の中心に位置するシネシティ広場は人々の憩いの場、イベント広場として幅広く利用されている。

◀花園神社の酉の市には商売繁盛を願って例年60万人が訪れる。



# Shinjuku Minamiguchi



南口地区基盤整備事業によって  
進む過去と未来の融合

## 進化する 伝統の街。

### 江戸時代から続く 人の往来

新宿駅南口は新宿の原点に近い場所だ。江戸時代に内藤家の所領となり新しく宿場町が

設けられたことで「内藤新宿」と呼ばれるようになった。南口エリアには旧内藤家の敷地を利用した新宿御苑や宿場町時代の名残を伝える旧跡がある一方、バスタ新宿のような新しい新宿を象徴する施設も次々生まれている。

新宿御苑のルーツは明治5(1872)年に旧内藤家の敷地に内藤新宿試験場が設置されたことである。元々は農業振興の目的で様々な野菜や果樹、植物や養蚕、畜産などの研究が行われていたが、明治39(1906)年に新宿御苑と改称され、皇室のための庭園が誕生した。一般開放された昭和24(1949)年以降、その風光明媚さから全国から人が訪れ、外国人観光客にも人気の庭園だ。ヨーロッパ式の整形庭園と風景式庭園、日本庭園を組み合わせた庭園は、四季折々の植物に彩られ、訪れるたびに新しい魅力を発見できる。園内には約1,000本の桜の木が植えられ、春には花見客で賑わう。

江戸時代には新宿御苑を四谷方面に進んだところに、甲



◀日本橋を出て東海道を進む最初の宿場町として関所を設けられ内藤新宿は発展した。



# 新宿駅南口

(しんじゅくえきみなみぐち)

新宿区  
shinjuku-ku

◀甲州街道は交通の要所として江戸時代以降多くの旅人が往来した。



▲新宿御苑は約58ヘクタールの緑豊かな広大な敷地を持つ。園内では四季折々の樹木や草花が訪れる人を楽しませてくれる。

## 第1章 新宿駅周辺のまちづくりの歴史

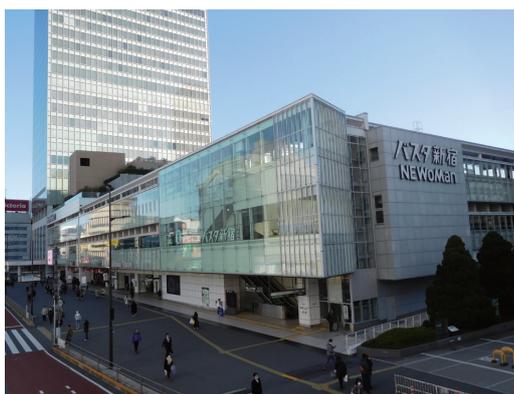
州街道を往来する旅客を検閲する関所があった。それが現在の四谷四丁目交差点あたりにあった四谷大木戸である。跡地には石碑が残るだけであるが、新宿駅方面に向かう道路のベースは江戸時代からあまり変わっていない。新宿エリアの中で最初に人で賑わうようになった内藤新宿は、四谷四丁目交差点から現在の新宿三丁目交差点までのエリアを指す。四谷四丁目交差点から新宿方面に歩く際は、当時の宿場町を想像して歩を進めるのも一興だろう。ちなみに新宿三丁目交差点周辺は古くは新宿追分といい、昭和20(1945)年までは当時の京王線四谷新宿駅があった場所である。

近年の動きとしては平成28(2016)年にバスタ新宿がオープンした。日本全国39都府県300都市を高速バスでつなぐ巨大バスターミナルだ。もともと鉄道のハブとしては強いイメージがあった新宿。しかし、バスに関しては乗り場が駅周辺の19箇所に点在するなど、利便性や経済効率性の面で課題が

あった。各社の高速バス乗り場をバスタ新宿に集約することで、高速バスの認知度が高まり利用客が増えている。バスタ新宿と併設されたニューマンは、鉄道駅と隣接しており、新しい駅近の商業施設としても盛り上がりを見せている。1年間の累計利用者数は1,000万人を超え、名実共に日本最大のバスターミナルとなった。

また、駅ビルの買い物客や待ち合わせで賑わう東南口広場は、元々は御大典広場として昭和天皇即位を記念した石碑が立っていた場所である。南口周辺の開発が進む中で整備が進み、令和3(2021)年現在では通称フラッグス前として親しまれている。さらに甲州街道の跨線橋がかかる高架下空間は平成28(2016)年に新宿の新しいスポットとして生まれ変わった。観光案内所やイベントスペース、飲食店などがテナントで入り、新たな人の流れを生み出している。

新宿駅南口は、江戸時代から連綿と続く歴史の流れが随所に感じられる。宿場町としての時代から人が往来し、商業は盛り上がりを見せた。南口地区基盤整備事業、さらに東西自由通路の開通によって、内藤新宿から息づき続ける人の流れは今後さらなる盛り上がりを見せるだろう。



◀年間1,000万人の利用者を集めるバスタ新宿。併設された商業施設には、高速バス利用者だけでなく、飲食や買い物目的の客も多く訪れる。

待ち合わせの定番となった東南口広場。高架下も新たなスポットとして人を集めている。▶



# 人々のエネルギーが作る その時代の新宿らしさ

## 有機的に進化を続けるまち

新宿は江戸時代から現代まで、交通の要所として人々が集まり、そこに生まれた魅力的なコンテンツにより発展を続けてきた。魅力的なコンテンツとは商業施設、飲食店、エンターテインメントを指す。江戸の古くは遊郭、文化サロン。明治から昭和初期にかけては老舗飲食店や老舗デパート、ムーラン・ルージュ新宿座のような文化芸能施設。戦後から現代にかけては新宿駅周辺一帯が巨大商業エリアや盛り場として人々を楽しませている。

加えて現代では、ビジネスや行政の中心としての副都心が全国からビジネスパーソンを集めることによって、通勤客として新宿を利用する人が増加している。東西自由通路の開通によって新宿駅周辺の歩行者の回遊性や来街者の利便性が向上し、更なる魅力あるまちへの発展に期待が高まる。

また、今後新宿駅直近地区を駅、駅前広場、駅ビル等が一体となった新宿グランドターミナルへと再編する構想が実現すれば、新宿駅周辺の全方向の往来がより活発になるはずだ。

新宿は交通の発展とそこに集まる人々のエネルギーが作ったまちである。大都会新宿というと無機的な響きがあるが、時代に合わせて柔軟に進化を続けるパワーと賢さを持った有機的なまちといえるのではないだろうか。

● 信濃高遠藩(長野)  
内藤駿河守頼寧  
三万三千石

# 江戸時代

EDO

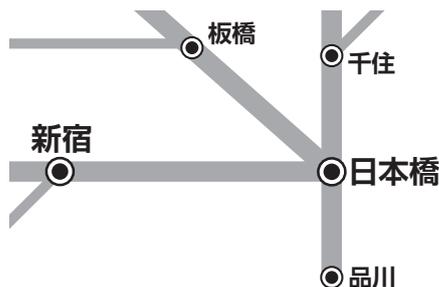
## 甲州街道の宿場町

江戸時代に入ると、現在の四谷四丁目交差点あたりに四谷大木戸が設けられる等、甲州街道の整備が進む。日本橋から始まる甲州街道は最初の宿場である高井戸まで距離が長かったため、中間地点の内藤宿で休息する旅人が多かった。内藤宿は甲州街道と青梅街道の追分に位置し、このエリアの所領を徳川家康から拝領した内藤氏に由来した地名である。江戸時代初期はまだ幕府に認可された正式な宿場町ではなかったが、江戸時代中期に商人らの懇願を受け、五街道最後の宿場町が誕生した。

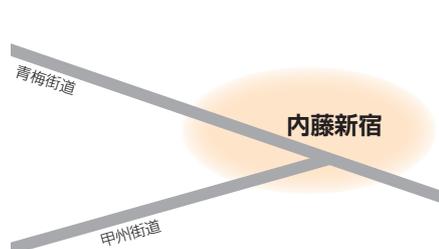
新宿という地名が初めて登場するのは元禄11(1698)年。幕府から内藤宿が正式な宿駅と認められ、名称が内藤新宿と改められた。とはいえ、内藤新宿は他の宿駅と比べると旅人の数は少なく、参勤交代で甲州街道を通過する大名も少なかったため、むしろ遊郭として集客を行う傾向が強まった。

そうしたことから、内藤新宿は風紀の乱れにより享保3(1718)年に一旦廃止されたが、54年後の明和9(1772)年に「明和の立ち返り」としてようやく復活する。文人墨客が多く活躍する文化発信地として、幕末までサロンのような役割も担った。明治2(1869)年に東京が首府になり、同4年に宿駅伝馬制度が廃止され、その歴史に幕を下ろす。内藤新宿としての歴史はトータル120年あまりだが、その後も新宿という地名は残った。

### ■ 五街道の宿場町



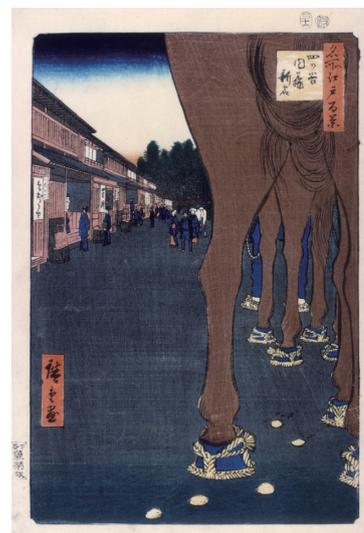
### ■ 内藤新宿の発展



内藤新宿復元模型



四谷内藤新驛(『江戸名所図会』)



『名所江戸百景 四谷内藤新宿』(歌川広重(初代)／安政4(1857)年)

1923年  
関東大震災

### ■ 新宿区の人口の推移

(参考) 新宿区の人口および人口の将来予測:  
東京都「東京都の統計」および新宿自治創造研究所  
「研究レポート2012」

1920年  
(大正9年)

290,398

# 明治 昭和 初期

MEIJI

## 鉄道開通、繁華街・文化芸能拠点形成

明治時代に入り、鉄道の開通によって新宿は大きく発展する。明治18(1885)年に山手線の前身である日本鉄道品川線の駅として新宿駅が開設されたのを皮切りに、様々な鉄道会社の路線が新宿エリアを発着するようになった。関東大震災後の大正14(1925)年には現在の新宿駅東口に新しい駅舎ができ、駅前の開発が急速に進んだ。

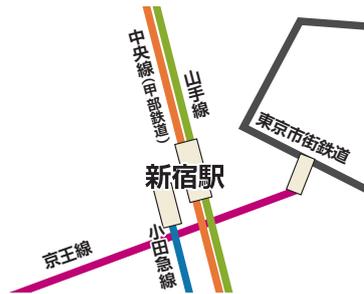
新宿駅東口から新宿通りは鉄道や路面電車、バスなどを利用する通勤客でごった返し、集まる人々を見込んだ飲食店や百貨店が次々オープンした。伊勢丹、三越、中村屋、新宿高野、紀伊國屋書店など、これら老舗は明治から昭和初期にかけて開業し、現在でも新宿に集まる人々の多くが利用する。

また、現在でも営業する映画館である武蔵野館や、大衆劇場として一世を風靡したムラン・ルージュ新宿座など、文化芸能拠点としての顔も持ち始める。まちには当時最新のカフェーが林立し、盛り場としての発展も進んでいった。

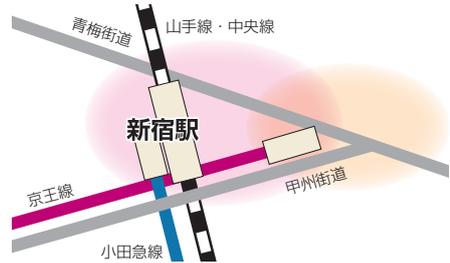
内藤新宿の中心地であった内藤家の屋敷及びその周辺は大蔵省が購入し、明治5(1872)年に農業、牧畜園芸の改良を目的とした内藤新宿試験場として開設された。明治39(1906)年には現在の新宿御苑の原型となる皇室庭園が完成し、皇室のパレスガーデンとして発展した。

内藤新宿の西側にあった柏木・角筈地区は明治25(1892)年に淀橋浄水場整備に着手し、新宿駅西口エリアの基礎を作ることになる。

### ■ 新宿への鉄道乗入開始



### ■ 鉄道駅開業による東口繁華街の形成

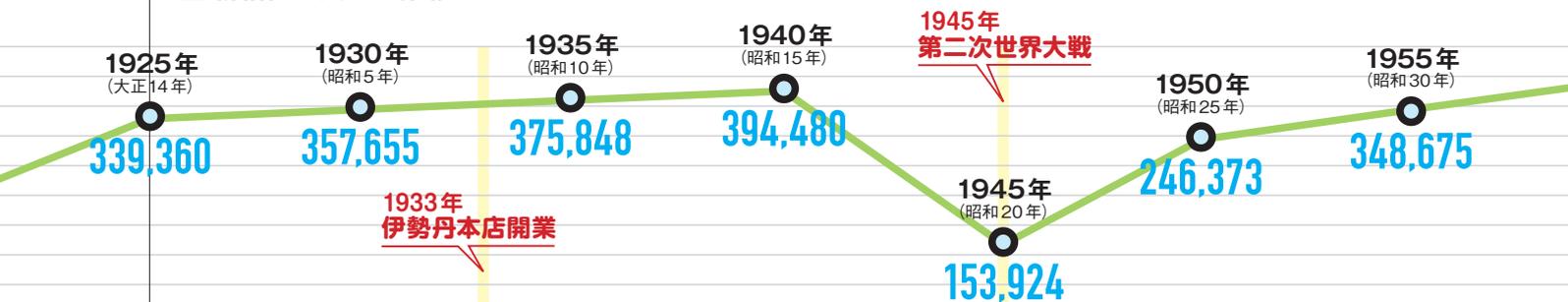


大正14(1925)年開業の新宿駅駅舎(東口)



昭和7(1932)年の新宿大通り

### ■ 新宿区の人口の推移



# 戦後高度成長期

SHOWA

## 歌舞伎町の形成～副都心の形成

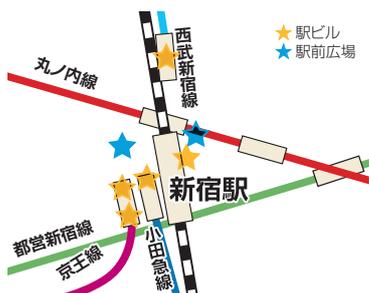
戦後焼け野原になった新宿駅東口周辺を再興すべく、歌舞伎座の誘致運動が起こった。主に建築規制等の理由で誘致とはならなかったが、現在の歌舞伎町が誕生するきっかけとなる。

当初は企業誘致や箱物の建設が盛んに行われていたが、昭和50年代に入り風営法の改正等の影響でナイトレジャー産業が大きく盛り上がることとなった。

一方、新宿駅西口エリアに目を向けると、昭和40（1965）年には西口エリアの広大な敷地を占めていた淀橋浄水場が閉鎖され東村山に移転。淀橋浄水場の跡地は新宿副都心として開発が始まり、昭和46（1971）年の京王プラザホテルを皮切りに1970年代～1980年代は200m級の超高層ビルの建設ラッシュとなる。新宿駅西口エリアの超高層ビル群は豊かな日本、高度経済成長の象徴として、人々の憧れのまどであった。

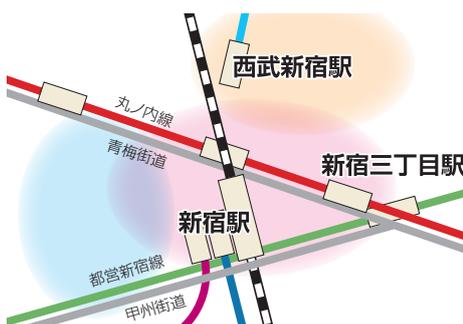
昭和47（1972）年には東西自由通路の整備に向けて、初めての調査検討が行われている。新宿副都心総合整備計画調査である。この時代にはすでに現在の新宿駅に近い基本構造ができており、改札内の通路を通らないと東西の直接往来ができない東西分断が発生していた。改札を通らずに東と西を行き来するには地上では甲州街道や靖国通り、地下ではメトロプロムナードや角筈ガードまで迂回する必要があった。初めての調査検討から東西自由通路開通まで50年近くを要することになる。

### ■ 駅前広場や駅ビルの建設により現在のターミナルがおおむね形成

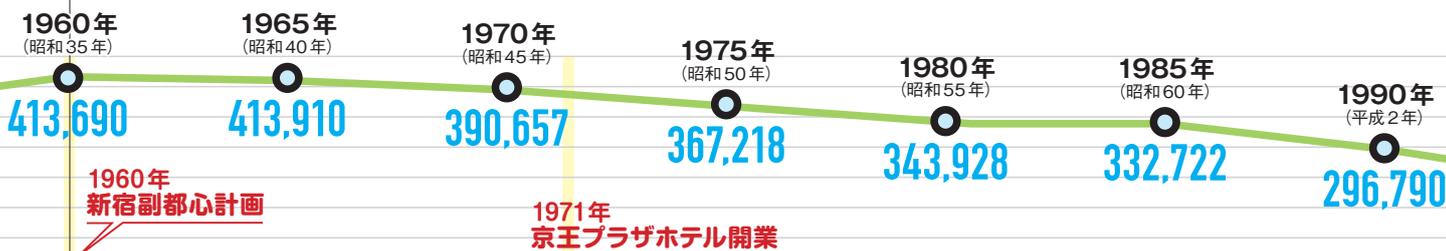


建設中の新宿駅西口広場

### ■ 副都心計画による西新宿の拡大



建設中の京王プラザホテルと新宿副都心



# 平成 現在

HEISEI

## 副都心の拡張、国際化の進展

平成に入り、新宿は副都心として行政、ビジネス拠点の機能をより高めていく。平成3(1991)年に西新宿に都庁が移転し、東京都の行政の中心として稼働を開始した。平成6(1994)年には新宿駅東南口広場が完成し、2年後の平成8(1996)年にはJR新宿駅南口にタカシマヤタイムズスクエアがオープン。新宿駅南口エリアの基盤整備が進むことで、新たな人の流れを生み出した。

平成12(2000)年には都営地下鉄大江戸線が開業、さらに平成20(2008)年には東京メトロ副都心線も開業するなど、新宿を通る新しい交通機関は増え続けている。平成28(2016)年南口にオープンしたバスタ新宿は、これまで新宿駅周辺で課題であった高速バス乗り場の分散を解決する施設だ。初年度で約1000万人の利用客を動員するなど、日本最大のバスターミナルとなった。外国語案内も充実し、訪日外国人旅行客の利用にも貢献している。

歌舞伎町は平成17(2005)年に歌舞伎町ルネッサンスとして誰もが安心して楽しめるまちづくりの取り組みを開始した。平成27(2015)年には新たな歌舞伎町のシンボルとして原寸大ゴジラが登場し、翌年、セントラルロードが通称「ゴジラロード」と呼ばれるようになった。訪日外国人旅行客の滞在拠点として近年人気のエリアとなっている。

令和2(2020)年7月には50年近く地域の悲願であった東西自由通路が開通した。東西分断の歴史に終止符が打たれ、東口エリアと西口エリアが相互に影響しあえるまちに進化するはずだ。

今後は新宿グランドターミナル構想の実現に向けて、新宿駅直近地区の再編が進んでいく。

### ■ 鉄道網の発達に伴う 駅構造の重層化



### ■ 周辺の再開発による 市街地拡大、高度利用化



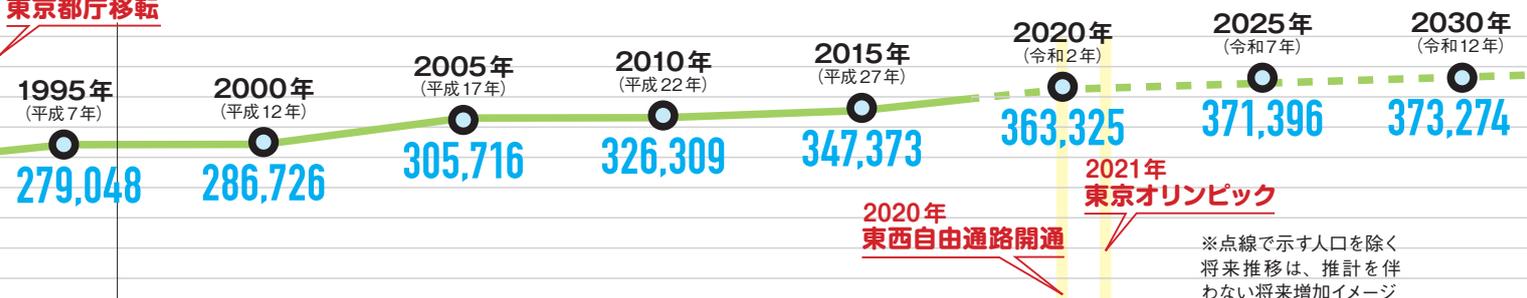
新宿副都心  
平成3(1991)年



平成3(1991)年、  
新宿に東京都庁移転、  
業務開始

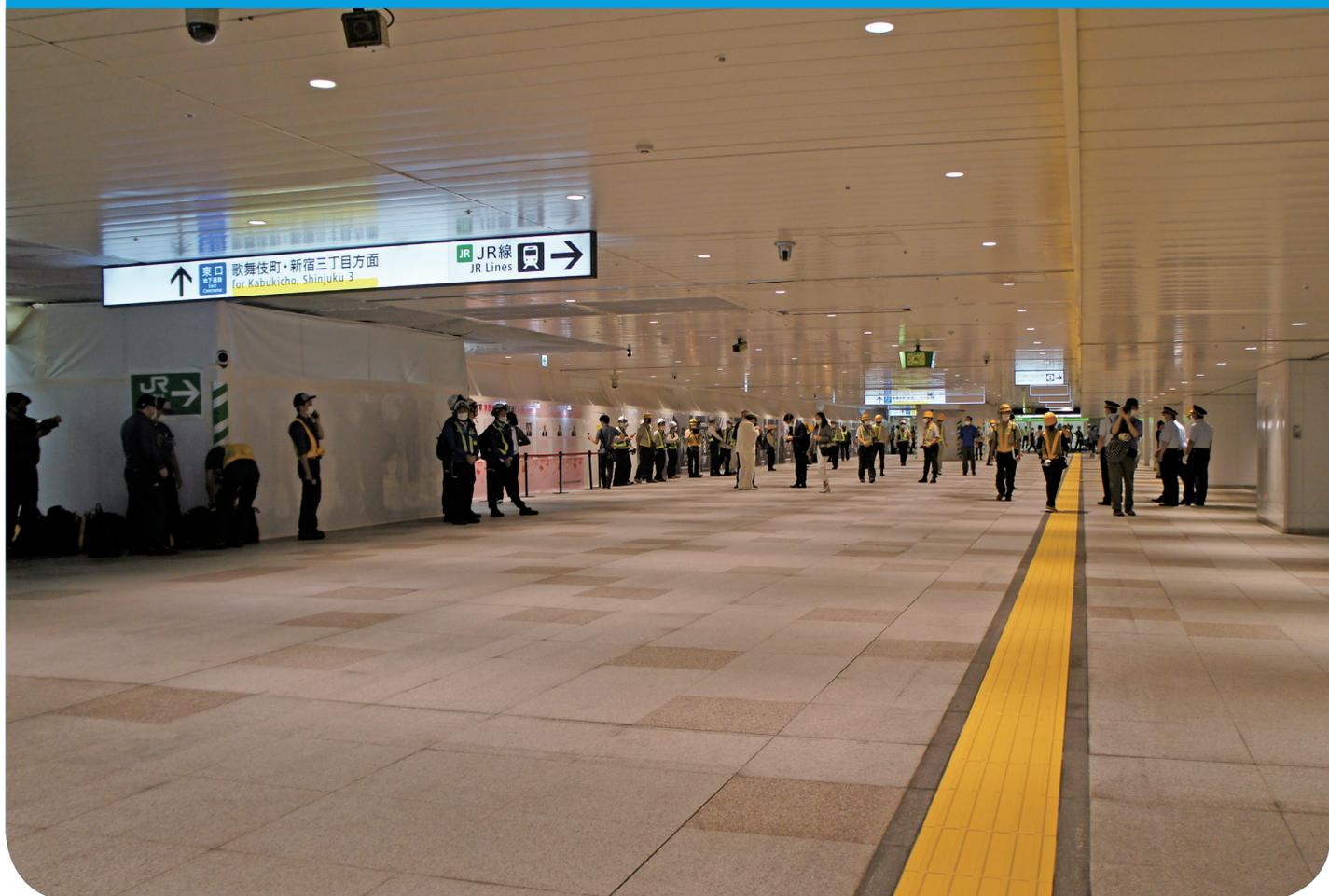
### ■ 新宿区の人口の推移

1991年  
東京都庁移転



## 第2章 東西自由通路事業の 推進の経緯

昭和後期から始まった東西自由通路の  
実現化に向けた調査・検討。  
現在の計画に至るまでの過程、  
膨大な乗降客の動線と安全を確保しながら  
実施した難工事の内容を一挙に解き明かす。



# 1 東西自由通路事業推進の経緯

## (1) 取り組み経緯

新宿区・国・東京都等は、東西自由通路の実現化に向けて、昭和47(1972)年度の「新宿副都心総合整備計画調査」以降、新宿駅周辺地域の特色あるまちの連携を強化する歩行者ネットワーク構築の必要性や東西自由通路の整備位置等について、多角的に調査・検討を重ねてきた。

年度	調査名等	主体	検討内容等
S47~48 (1972~ 1973)	新宿副都心総合整備計画調査	運輸省・建設省・東京都・ 国鉄・首都高速道路公団 等	新宿駅構内の北通路を東西連絡自由 通路として拡張整備する。 また、オープンスペースの確保、防 災の観点から、小田急デパートとス テーションビルを結ぶ東西横断デッ キを設置する。
S52~55 (1977~ 1980)	新宿駅周辺にかかる諸問題 について	新宿区・東京都・国鉄・警 視庁・消防庁 等	新宿駅へ集中する歩行者動線を支え る都市軸として、新宿駅構内に東西 自由通路を設置する。
S58~59 (1983~ 1984)	新宿駅南口地区総合整備計 画調査	国土庁・運輸省・建設省・東京 都・新宿区・渋谷区・国鉄 等	北通路部分に東西連絡自由通路を設 ける。
S60 (1985)	東京都シティ・ホール設計 基本構想	東京都	新宿駅をはじめとする各鉄道駅から の歩行者のアクセス向上と快適な歩 行環境創出のため、東西自由通路を 整備する。
S58~63 (1983~ 1988)	新宿ターミナル整備調査	東京都・新宿区・小田急電 鉄(株)・JR東日本・ 帝都高速度交通営団 等	新宿駅歩行者ネットワークの一環と して、北通路付近に東西自由通路を 位置づけた。
S63~H3 (1988~ 1991)	副都心育成・整備方針	東京都	新宿駅東西の歩行者流動の円滑化を 図るため、歩行者ネットワークの一 環として東西自由通路の整備に向け て検討する。
H4 (1992)	新宿駅南口周辺地区整備推 進検討会	東京都・国鉄清算事業団・ 新宿区・渋谷区・JR東日本 等	新宿駅北部の地上もしくは地下で東 西自由通路を検討する。
H6 (1994)	新宿駅東西自由通路調査	新宿区	北通路の自由通路化を新宿駅改良に 合わせた長期的な課題とし、北通路 北側におけるデッキ及び地下通路の 設置の可能性を調査した。
H7 (1995)	新宿駅東西自由通路基本調査	新宿区	北通路北側におけるデッキ及び地下 通路の設置の可能性について検討を 深度化し、地下通路案を採用。
H13~15 (2001~ 2003)	新宿駅周辺の回遊性確保に 関するワーキング	東京国道事務所・東京都・ 新宿区・JR東日本	国道20号新宿跨線橋架替工事に伴い 設置された工事用通路を有効活用し、 北通路を自由通路化する計画方針を 策定した。

表1 東西自由通路の整備に関する調査・検討一覧

## (2) 整備位置の検討

昭和47(1972)年から始まった東西自由通路の整備に向けた調査・検討では、北通路の自由通路化を計画方針とした案が中心であったが、実現にはホーム階段の移設等を行う必要があり、新宿駅南口の開発計画、甲州街道の新宿跨線橋架け替え、ホーム位置整正等の課題とともに一体的、有機的に進める必要があるとされていた。

また、当時のJR東日本においても、ホーム位置整正等は長期の課題と位置付けていたことから、平成6(1994)年度及び平成7(1995)年度に新宿区が実施した「新宿駅東西自由通路に関する調査」では、新宿駅の大改良を伴わずに実現できる代替案として、北通路とメトロプロムナード間に設置する地下通路案と、線路上空に架設するデッキ案について検討を行っていた。

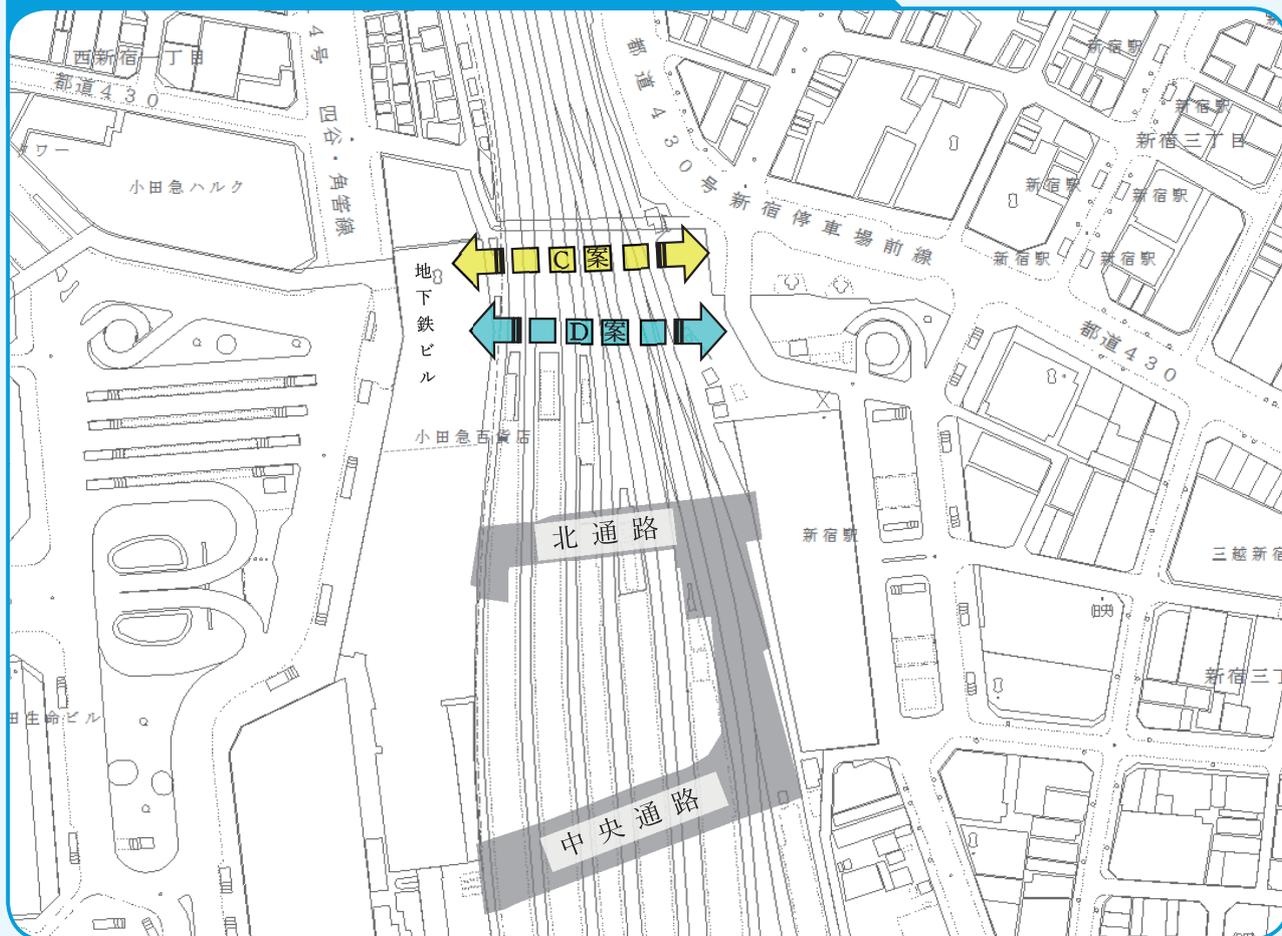


	A案	B案
通路案概要	北通路北側に自由通路を整備する案	メトロプロムナードを拡幅する案
通路長	約120m	約100m
駅施設との関係	西側に自動券売機室があるが、代替スペースを確保すれば移設は可能である	メトロプロムナードの避難階段が支障となるが、当該階段の撤去は困難である
歩行者ネットワークからの評価	通路位置が歩行者に分かりやすく、明確である	既存通路の拡幅であり、歩行者ネットワークの明確さ、新たな東西都市軸形成に寄与できない

表2 地下通路案の比較検討

# 新宿駅周辺地上階平面図 デッキ案

(平成6年度新宿区調査)



	C案	D案
<b>通路案概要</b>	地下鉄ビル北側と東口駅前広場を接続する案	地下鉄ビル中央部と東口駅前広場を接続する案
<b>通路長</b>	約60m	約80m
<b>駅施設との関係</b>	線路内に橋脚設置スペースがないため、施工が困難	橋脚を設置できる可能性がある
<b>歩行者ネットワークからの評価</b>	既存西口デッキとの整合が図れるため、新たな歩行者ネットワーク構築の早期実現が可能	既存西口デッキとの整合が図れるため、新たな歩行者ネットワーク構築の早期実現が可能

表3 デッキ案の比較検討

### (3) 自由通路の計画方針

新宿区が平成6(1994)年度及び平成7(1995)年度に実施した新宿駅東西自由通路に関する調査では、地下案と比較してデッキ案は安価であるが、工事用通路の確保が著しく困難であることや、近隣建物の大規模な撤去、移設、補強等を伴い実現は難しいことから、地下通路案を自由通路の基本構想とした。しかし、鉄道運行上重要な施設の直下に設置する計画であるため、地下通路施工時は万全の配慮が必要とされていた。また、北通路やホーム階段等の主要な駅施設への影響を最小限に抑えることを前提とすると、有効幅員が6mとなってしまうといった問題があった。これらの調査・検討結果を踏まえ、第1ステップとして北通路とメトロプロムナード間に地下自由通路を整備し、第2ステップでは新宿駅改良等に合わせた北通路の拡幅及び自由通路化、第3ステップで駅隣接建物の建て替えに合わせてデッキを設置するという段階的な整備を進めていくこととしていた。

その後、東京国道事務所・東京都・新宿区・JR東日本により「新宿駅周辺の回遊性確保に関するワーキング」(平成13～15(2001～2003)年度が行われ、自由通路の早期実現に向けて、現計画である新宿駅構内の北通路を有効活用して自由通路化する検討が始まった。

同ワーキングでは、国道20号新宿跨線橋架替工事に伴い、既存駅施設の支障移転や工事用資材等の置き場及び搬出入スペースを確保することを目的に設置された工事用通路を駅施設(ラチ内コンコース)に転用することで、工事費を抑えることができ、かつ早期に実現できるとして、北通路を自由通路化する案を計画方針とした。

この計画方針に基づき、新宿区は、自由通路として必要となる幅員や拡幅する箇所等の詳細についてJR東日本と協議を重ね、平成20(2008)年6月に幅員17mの北通路を南側に8m拡幅し、幅員25mの東西自由通路として整備することで合意に至った。

新宿駅周辺地下階平面図 計画方針



## 2 東西自由通路事業の概要

事業主体：新宿駅周辺地区都市再生協議会（平成28（2016）年4月より）

整備地：JR新宿駅構内 北通路

整備概要：JR新宿駅構内の北通路を17mから25mに拡幅し、改札を移設して自由通路化するもの。

延長幅員：延長約100m 幅員約25m

工事施行：JR東日本

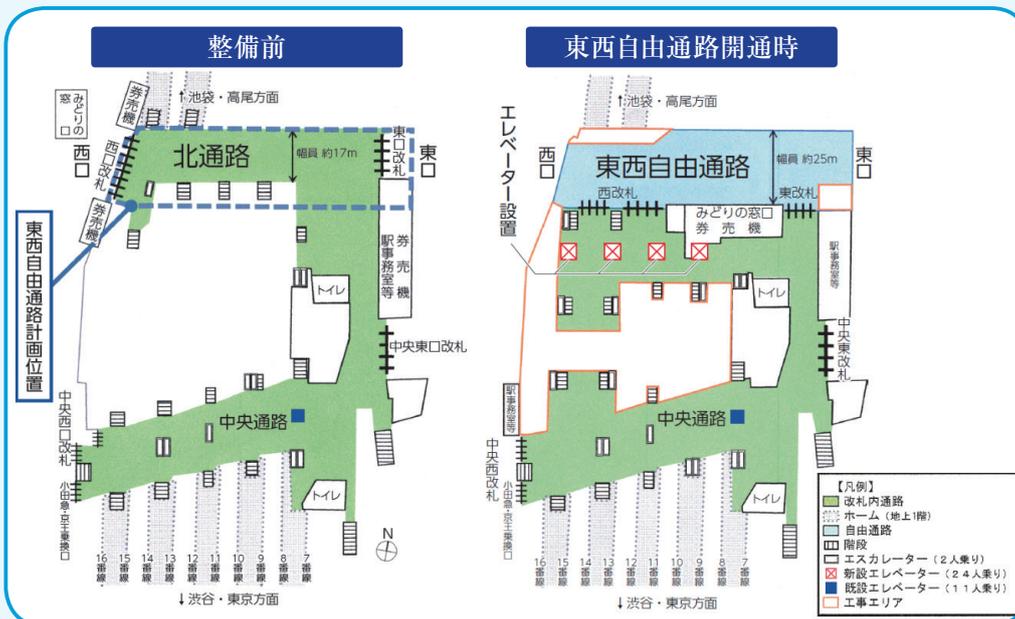
総事業費：約122億円

工事着手：平成24（2012）年9月

供用開始：令和2（2020）年7月19日

工事完了予定：令和5（2023）年度

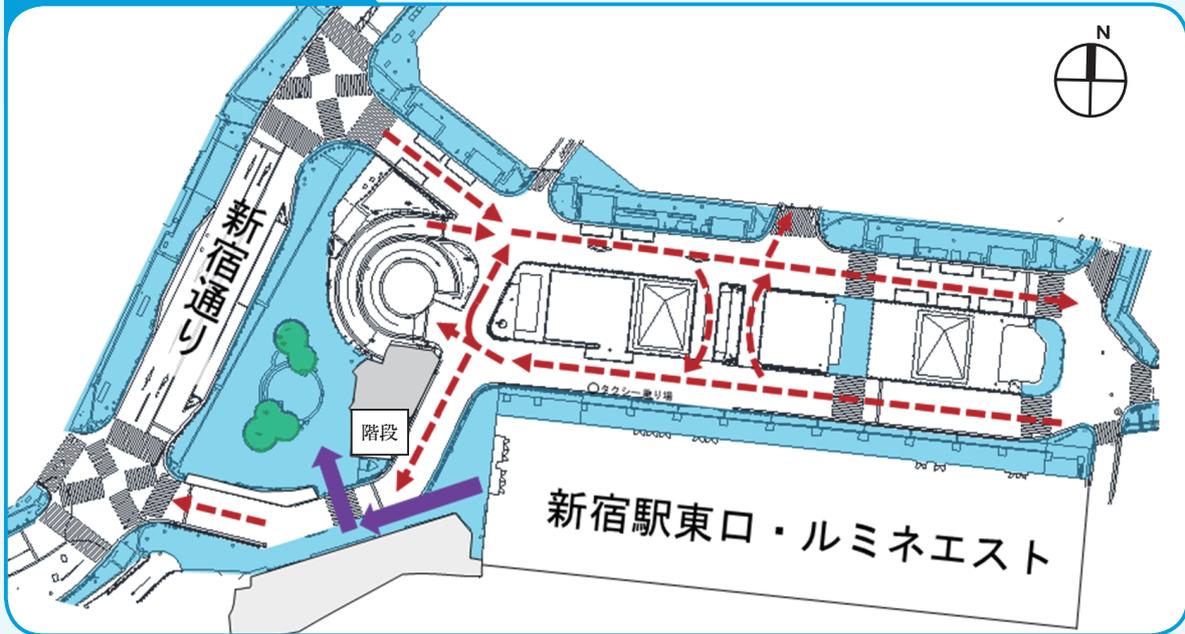
位置図



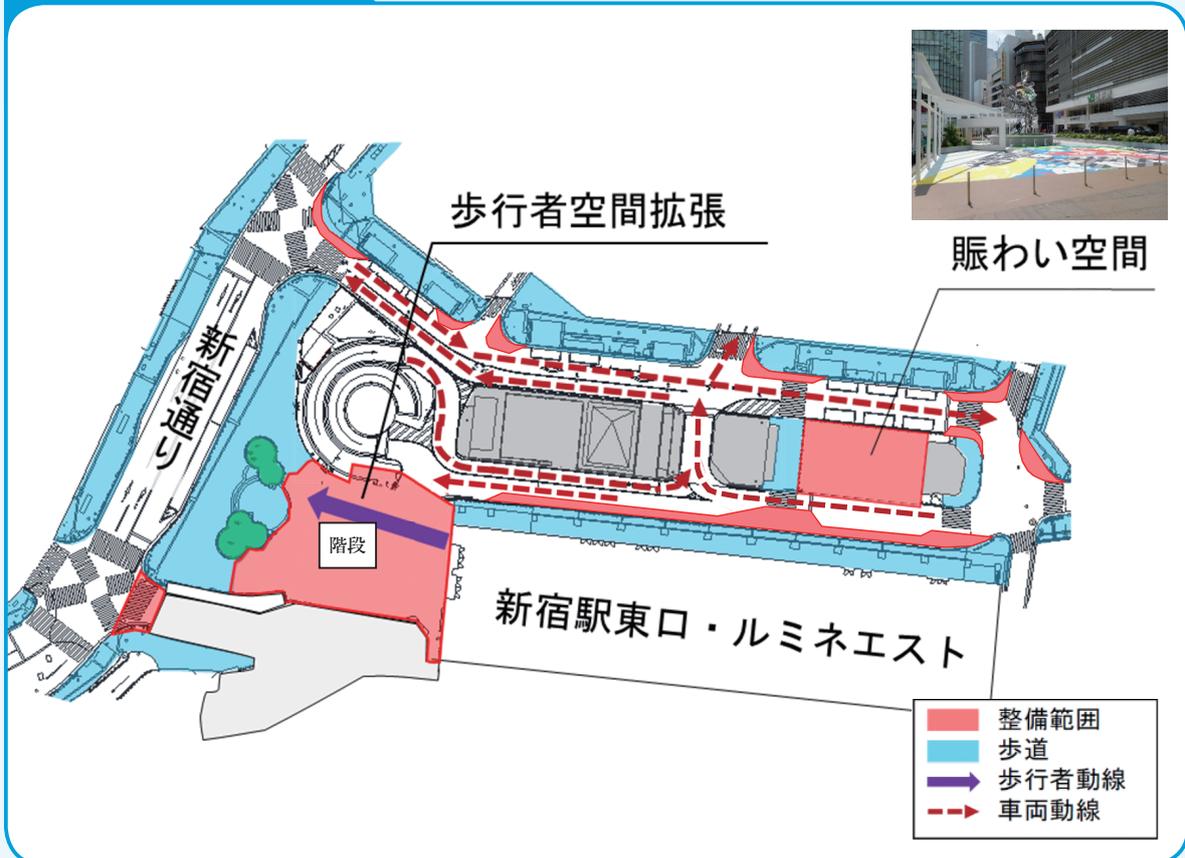
### 3 東西自由通路整備の関連事業

新宿駅東西自由通路の開通にあわせて、来街者にとって安全で快適な歩行者空間を創出するため、管理者である東京都及びJR東日本が東口駅前広場の歩道拡幅等の暫定整備を行った。

整備前



整備後



賑わい空間

## 4 東口駅前広場の変遷

昭和37(1962)年頃



大正14(1925)年竣工の3代目駅舎。  
食品デパートニ幸(現アルタ)側から見た様子。

昭和43(1968)年



新宿ステーションビル完成後の東口駅前広場

平成31(2019)年(整備着手前)



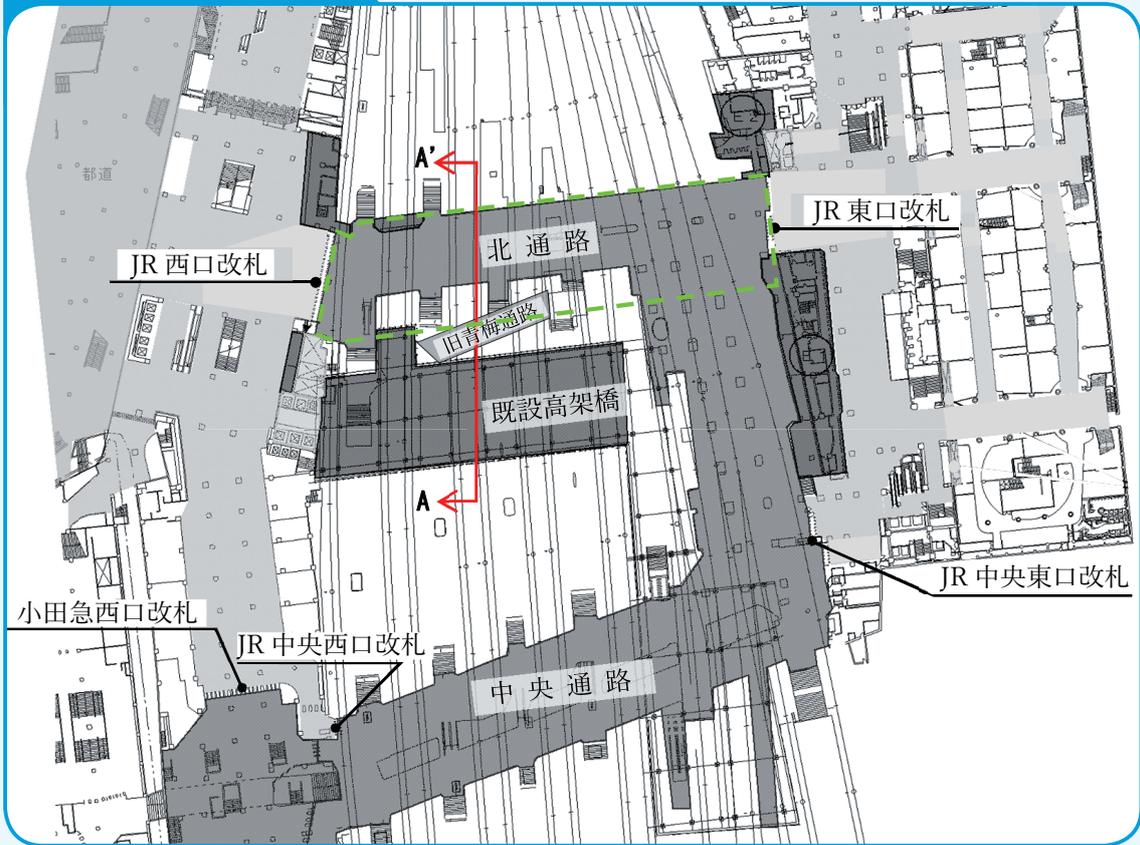
令和2(2020)年7月(ALTA 前歩行者空間の拡張後)



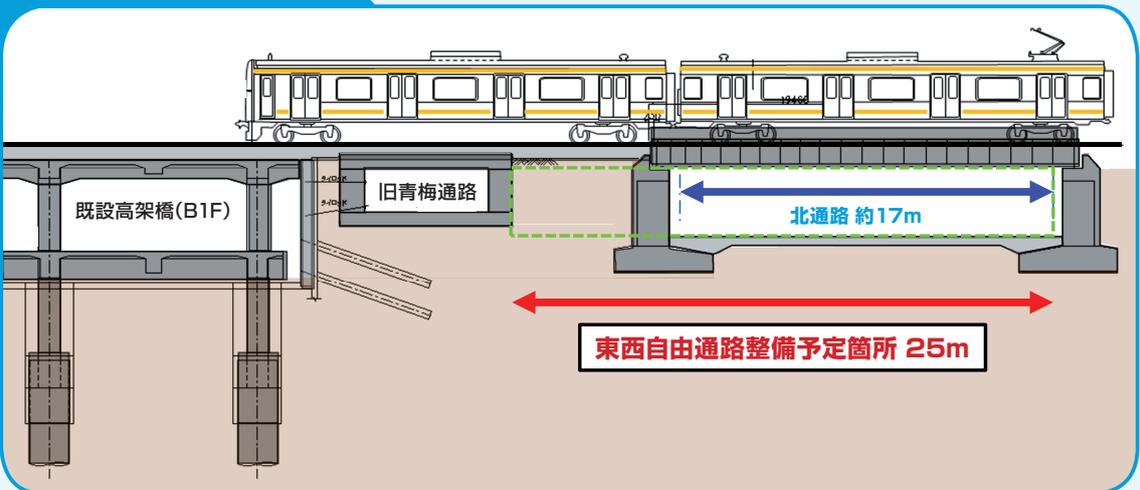
# 5 工事ステップ

## ■工事着手前のJR新宿駅

地下構内平面図



A-A'断面





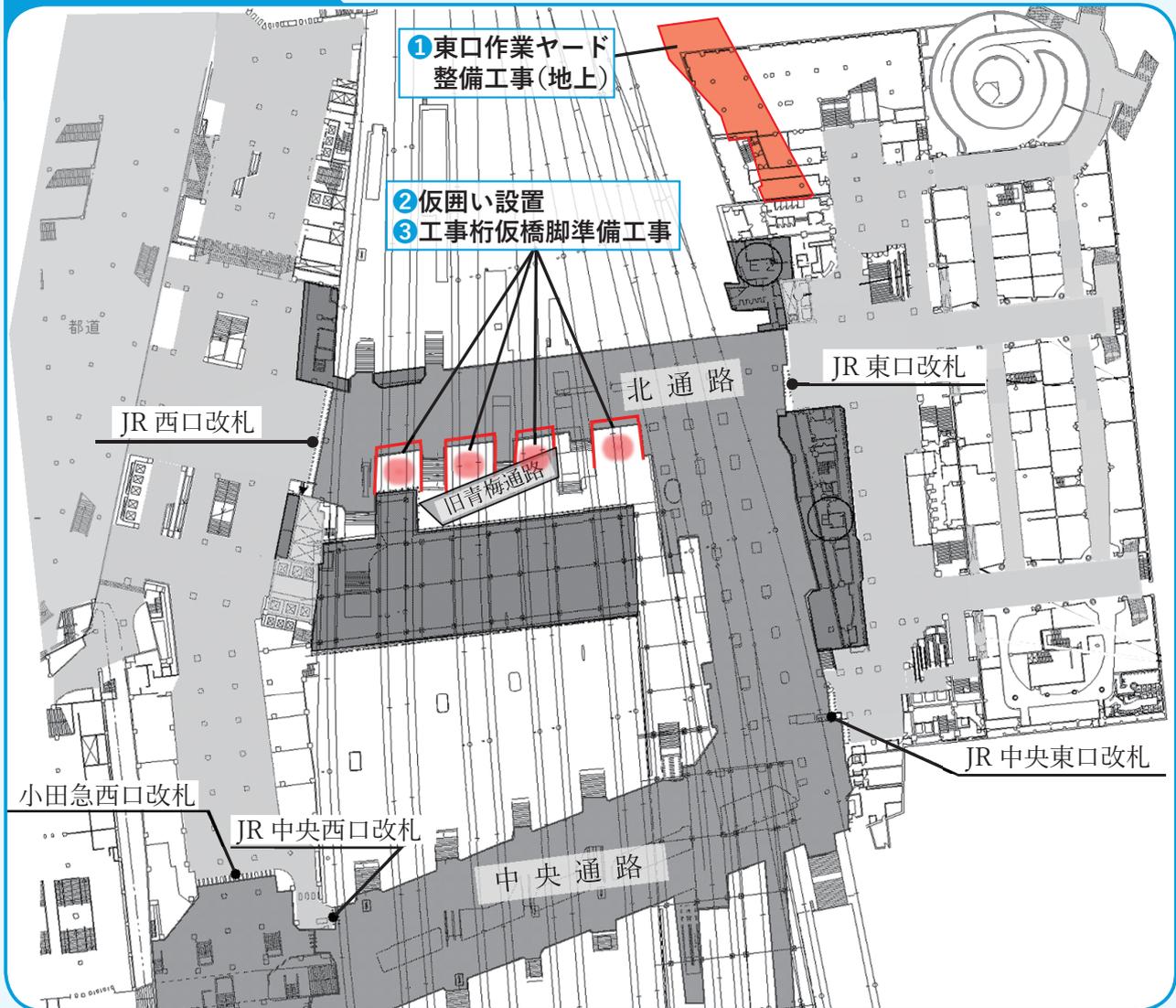
北通路の混雑状況 (H24 (2012) 年撮影)



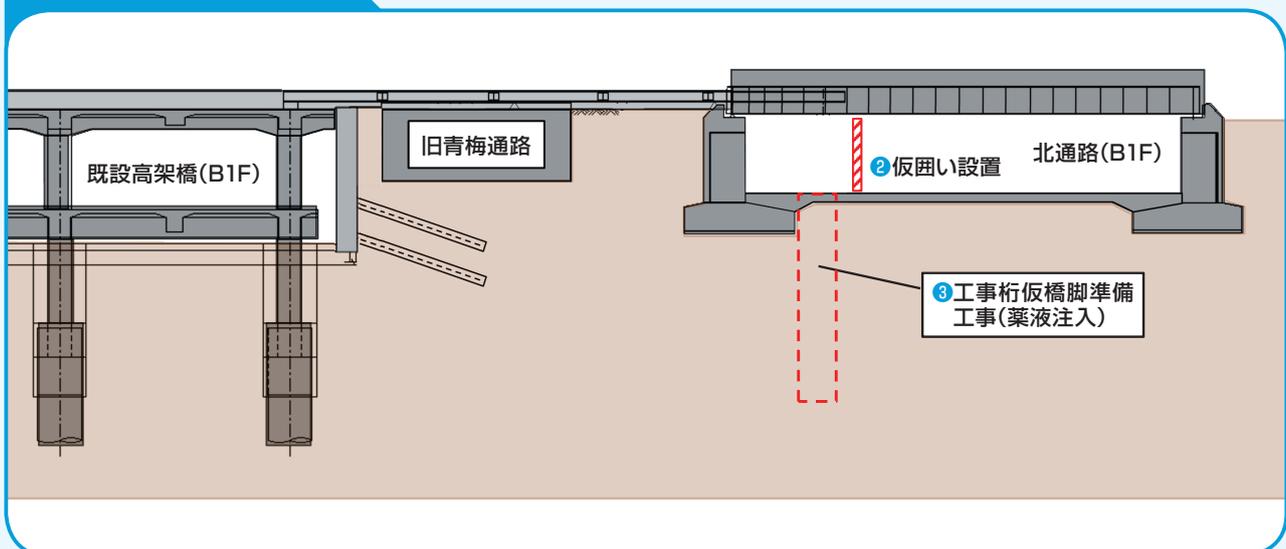
工事着手前の北通路

## ■平成24(2012)年度の主な工事内容

### 地下構内平面図



### 構内断面図

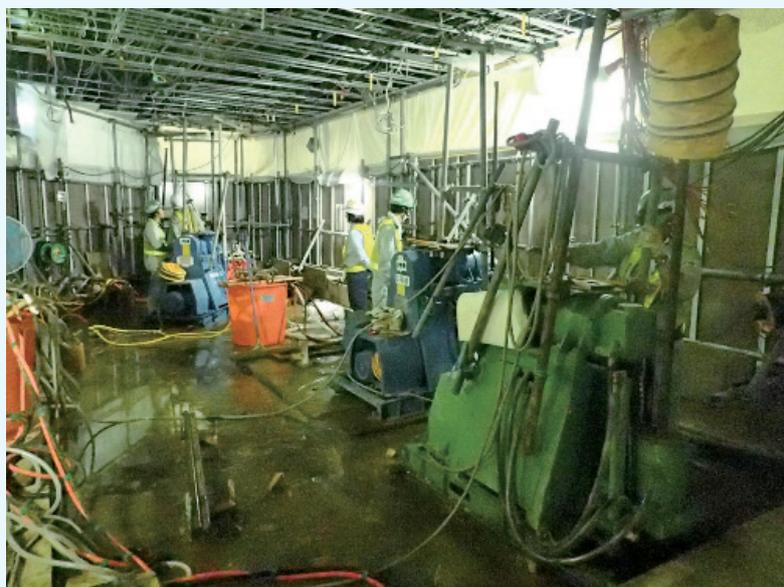




① 東口作業ヤード整備状況



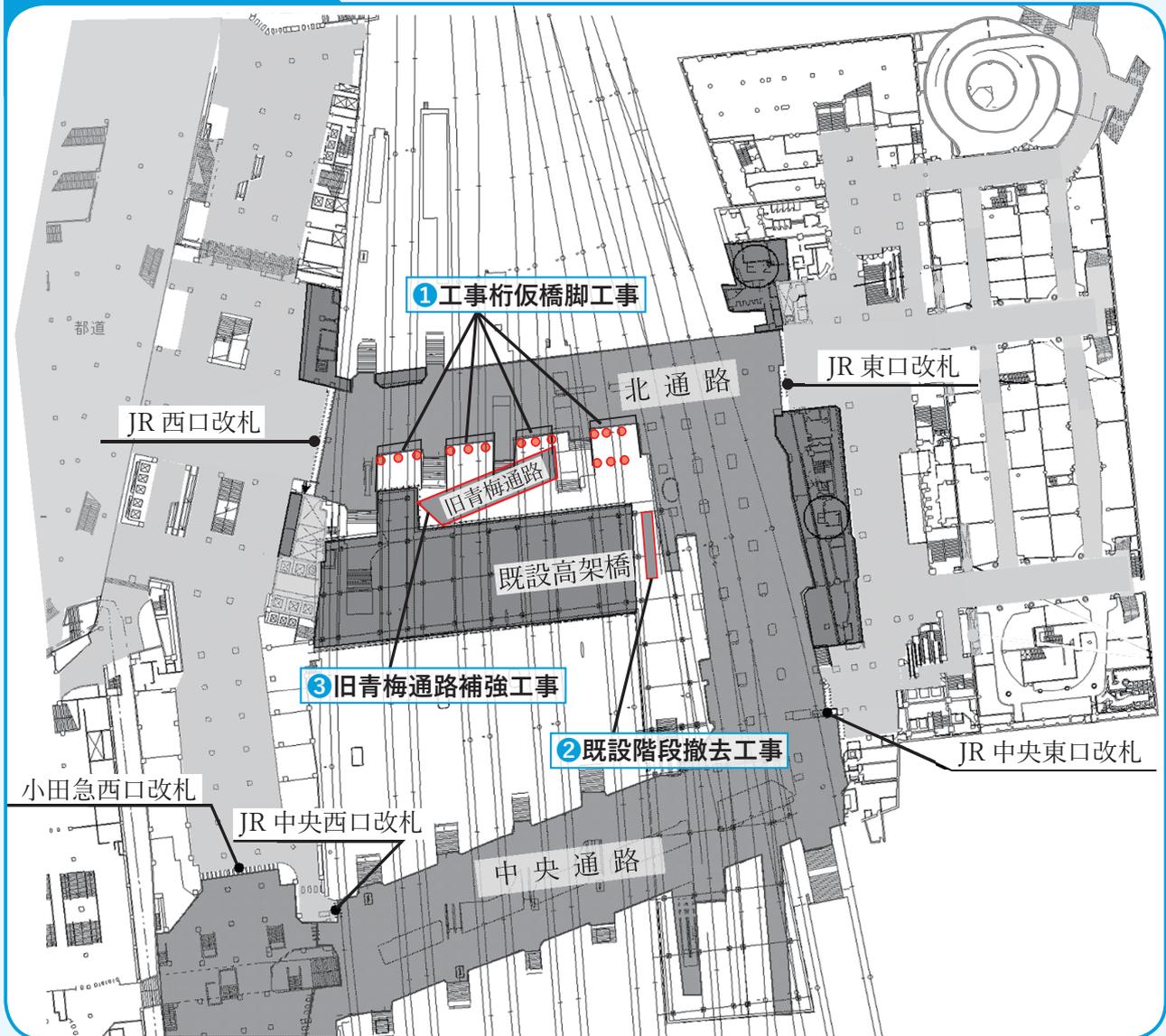
② 旅客階段付近仮囲い設置状況



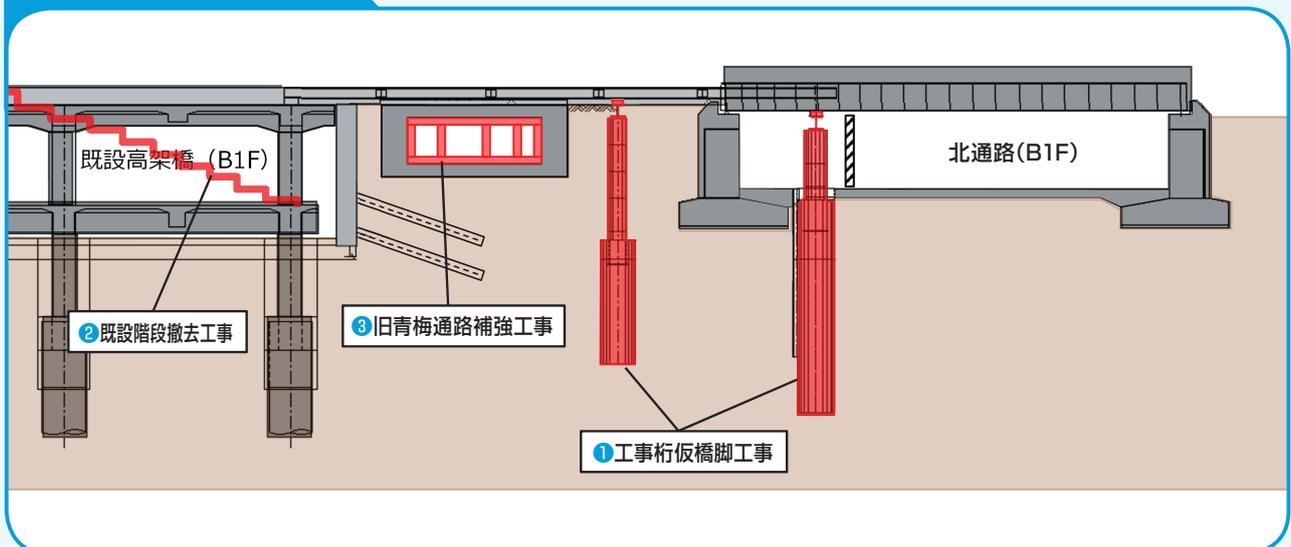
③ 工事桁仮橋脚準備工事（薬液注入状況）

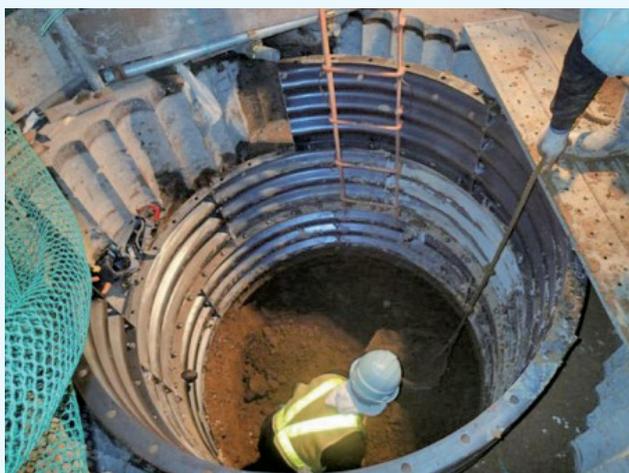
## ■平成25(2013)年度の主な工事内容

### 地下構内平面図



### 構内断面図





① 工事桁仮橋脚 深礎掘削状況



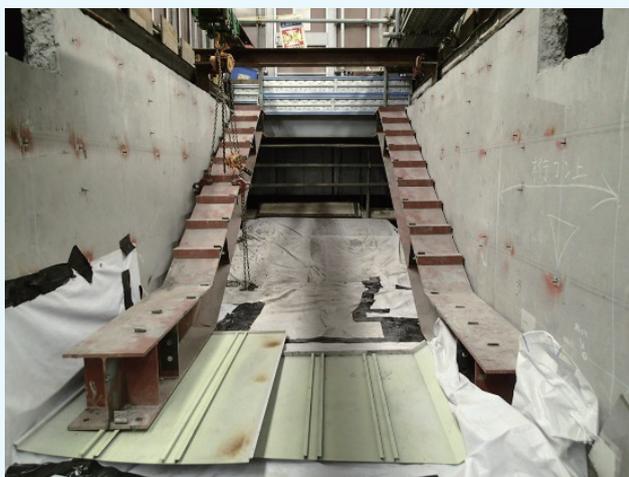
① 工事桁仮橋脚深礎杭配筋状況



① 工事桁仮橋脚コンクリート打設状況



① 工事桁仮橋脚建方状況



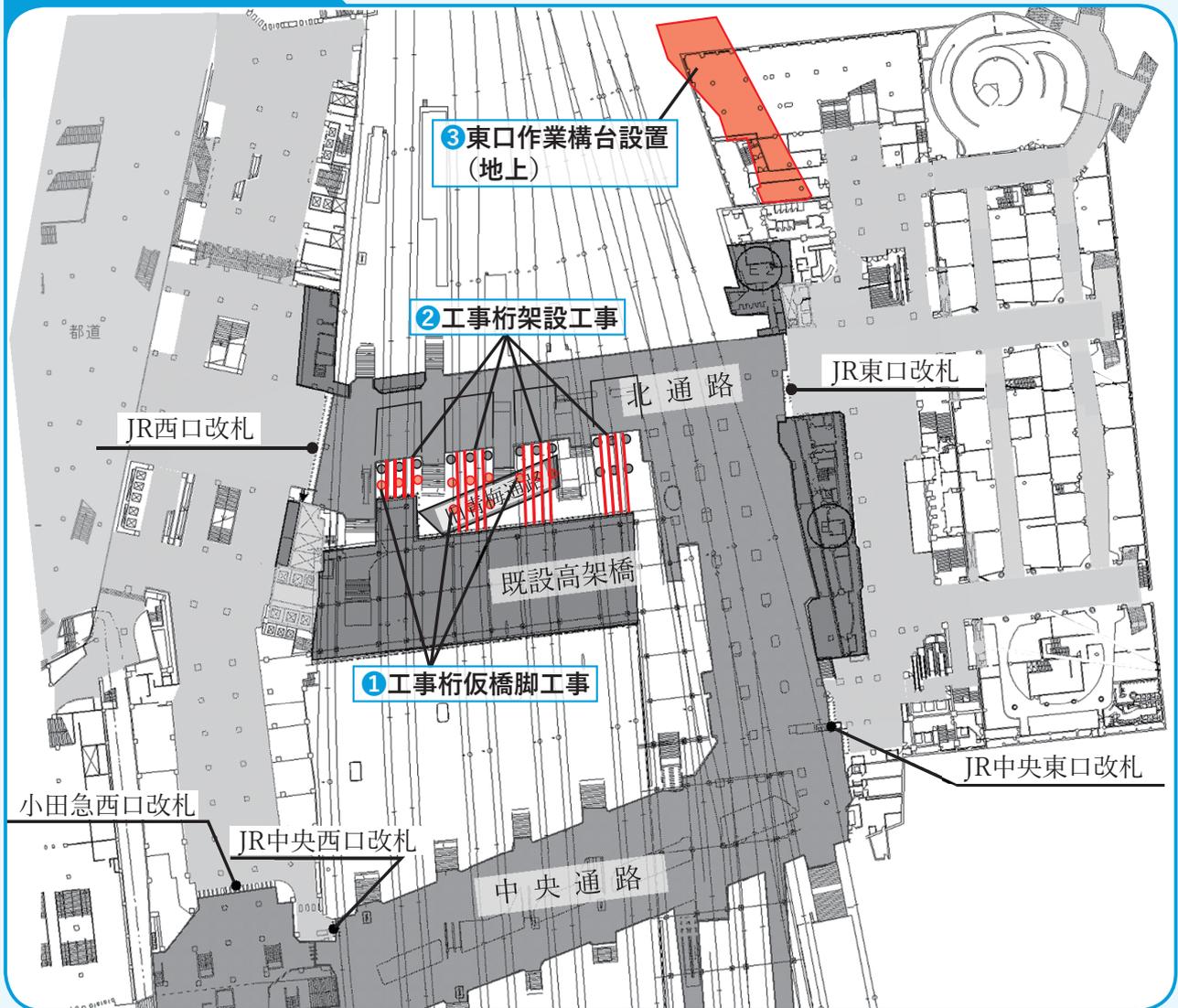
② 既設階段撤去状況



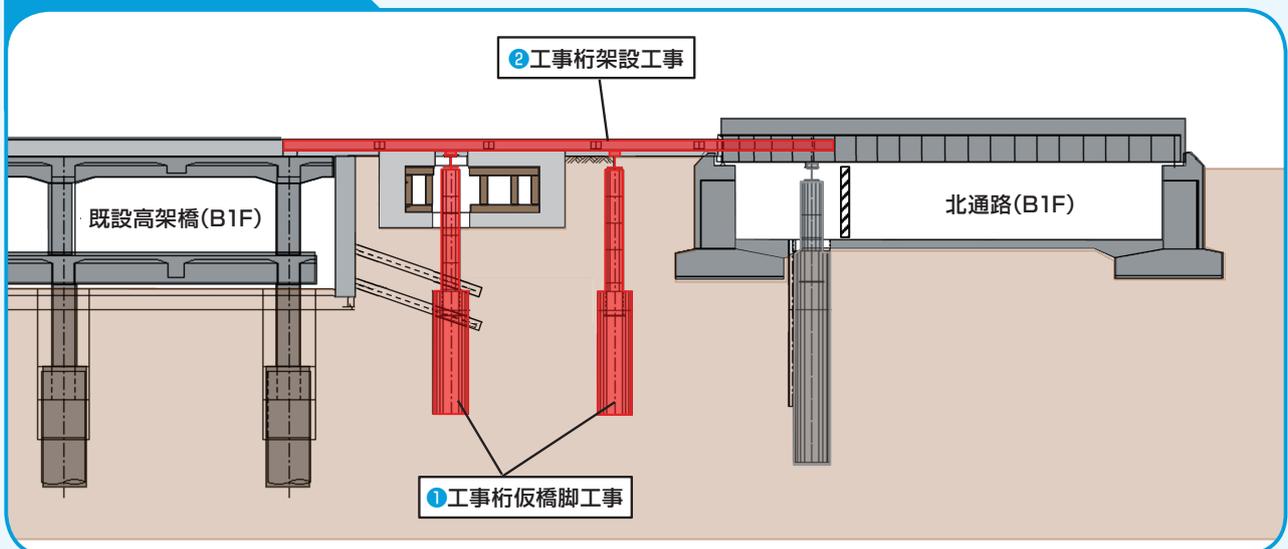
③ 旧青梅通路補強状況

## ■平成26(2014)年度の主な工事内容

### 地下構内平面図



### 構内断面図

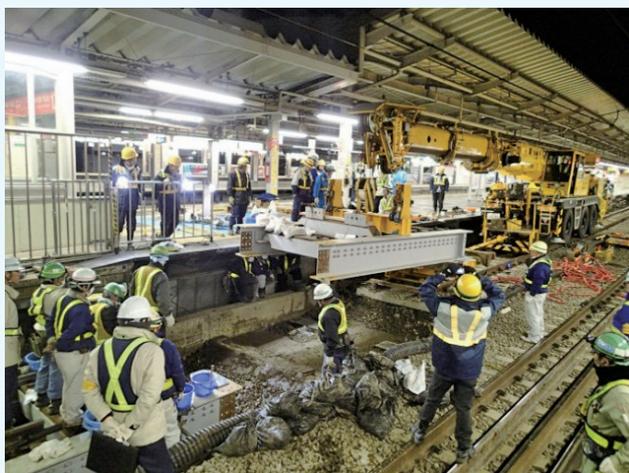




② 工事桁地組状況



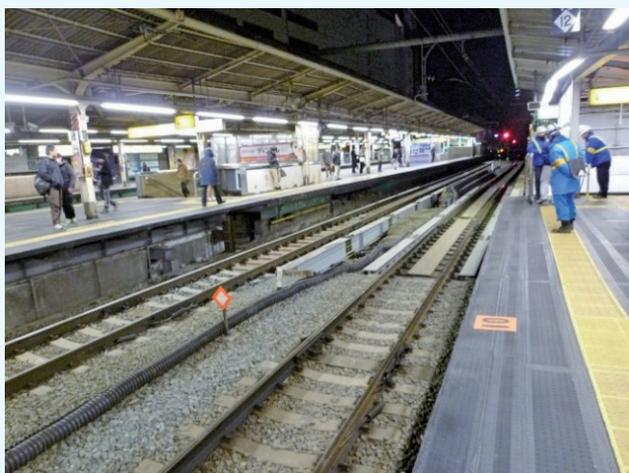
② 工事桁架設状況



② 工事桁架設状況



② 工事桁架設完了状況



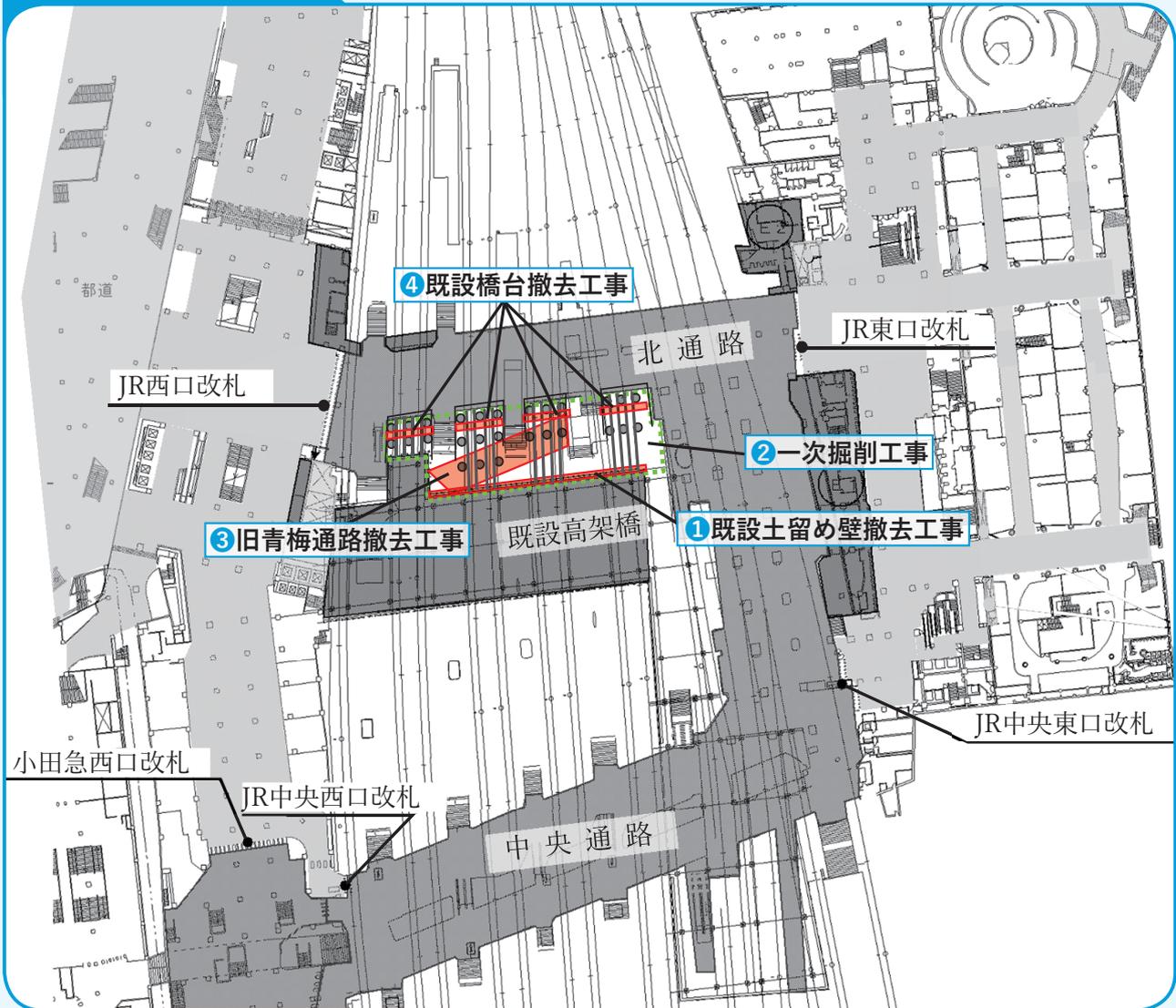
② 工事桁架設完了状況



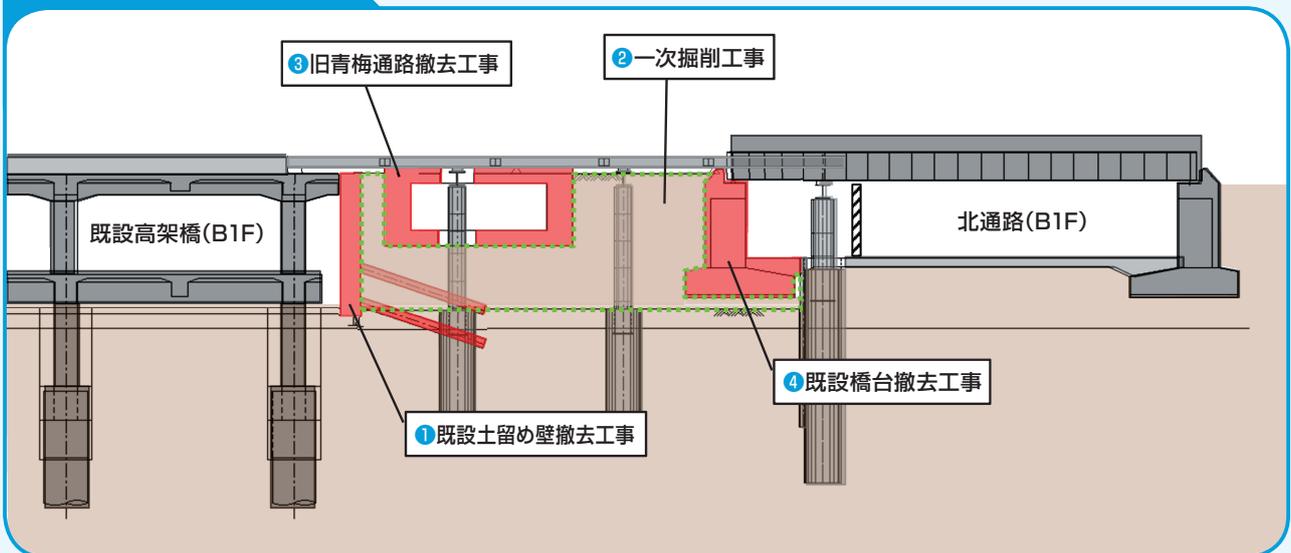
③ 東口作業構台設置完了状況

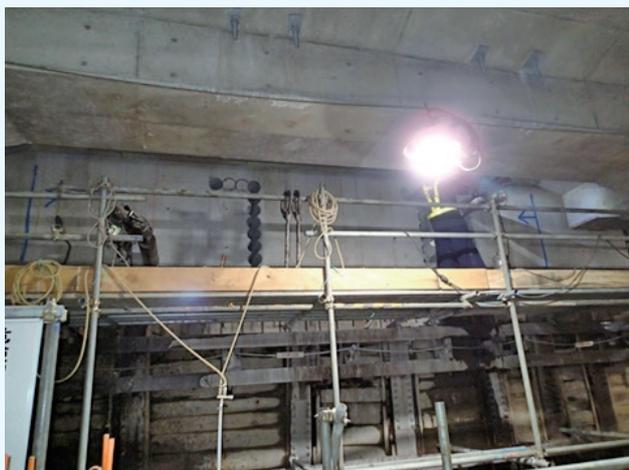
## ■平成27(2015)年度の主な工事内容

### 地下構内平面図



### 構内断面図

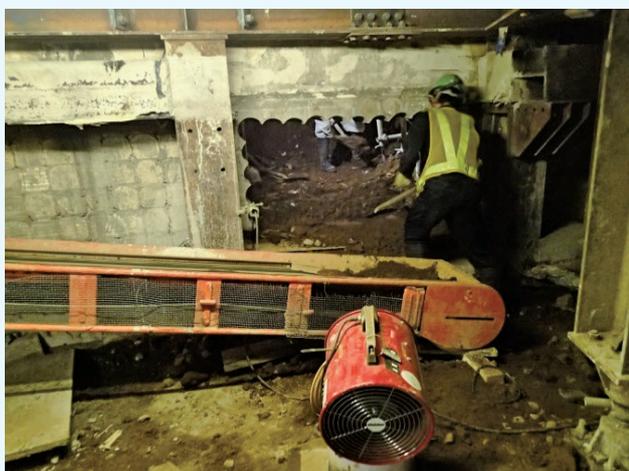




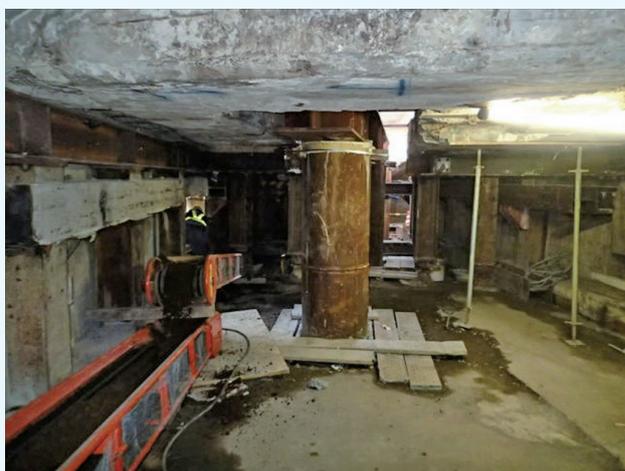
① 既設土留め壁撤去状況 (コア抜き)



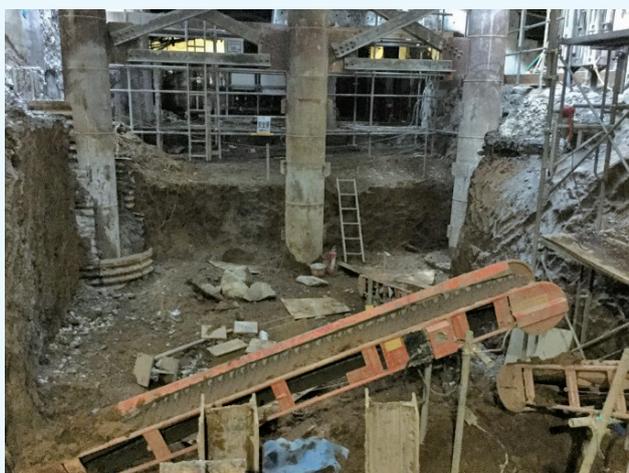
② 一次掘削状況 (工事桁下)



② 一次掘削状況 (旧青梅通路内)



③ 旧青梅通路撤去状況



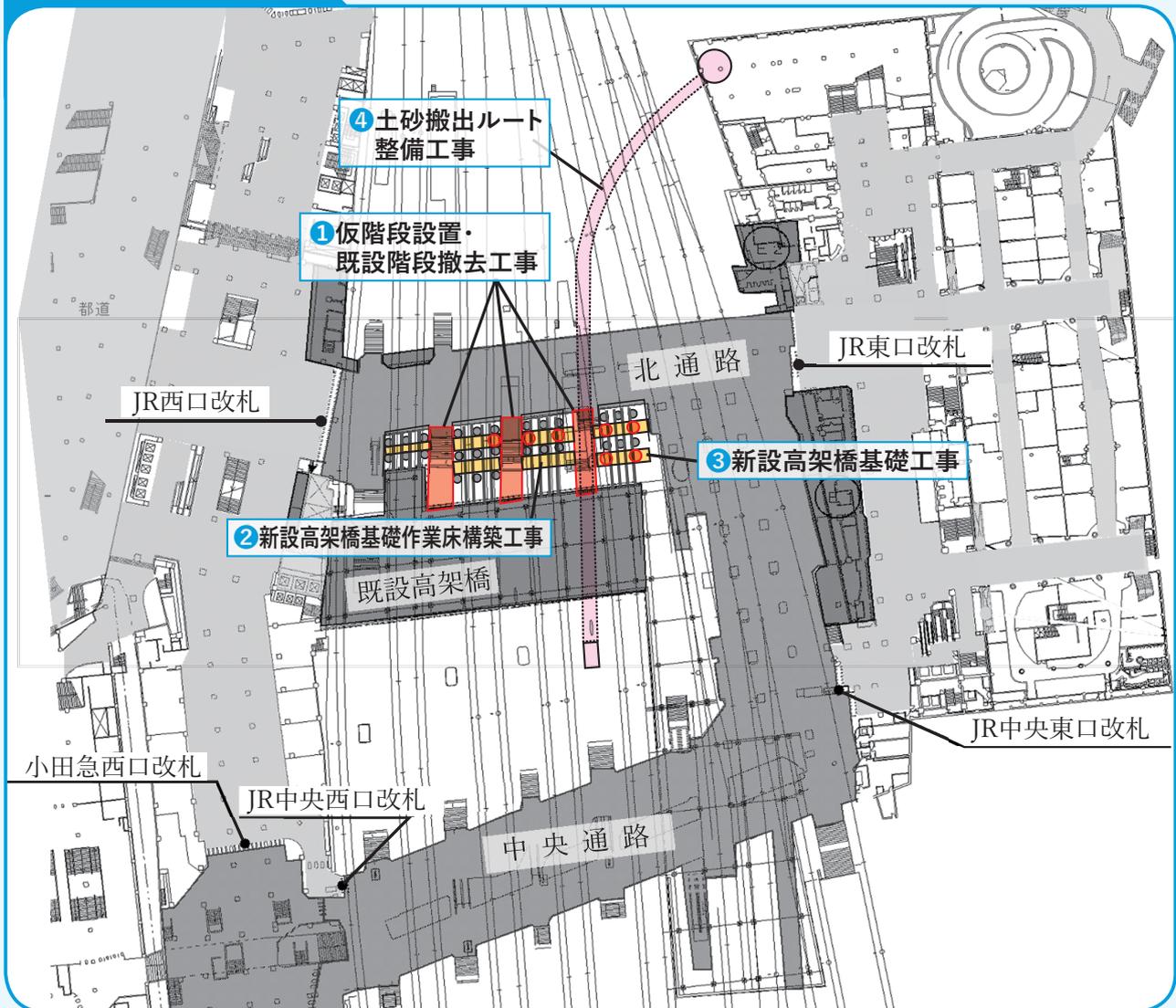
② 一次掘削及び旧青梅通路撤去後



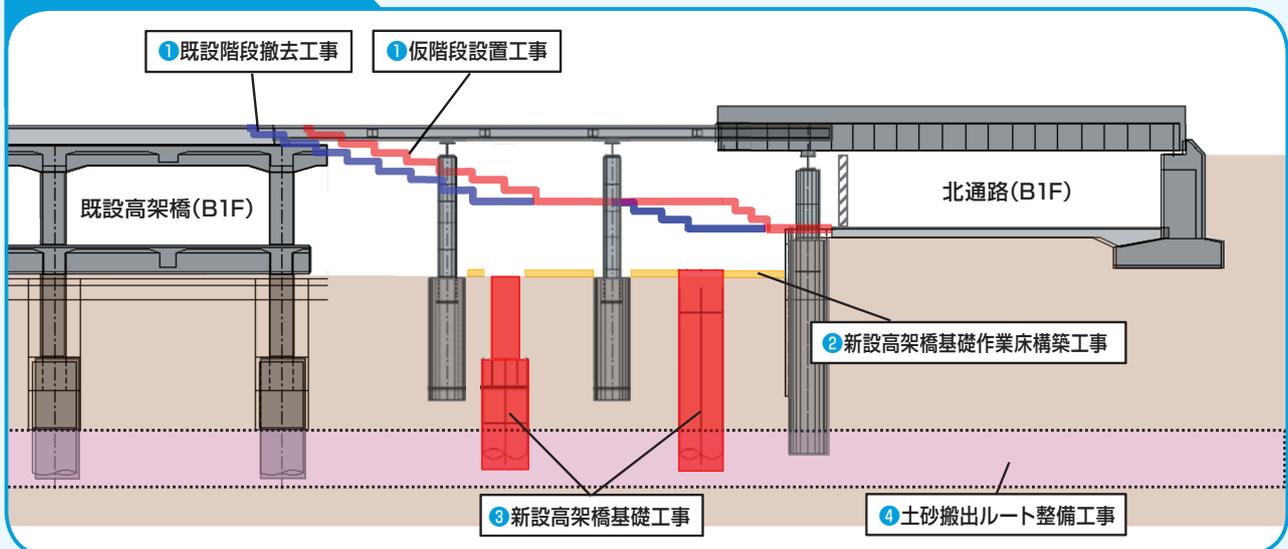
② 一次掘削完了状況 (工事桁下)

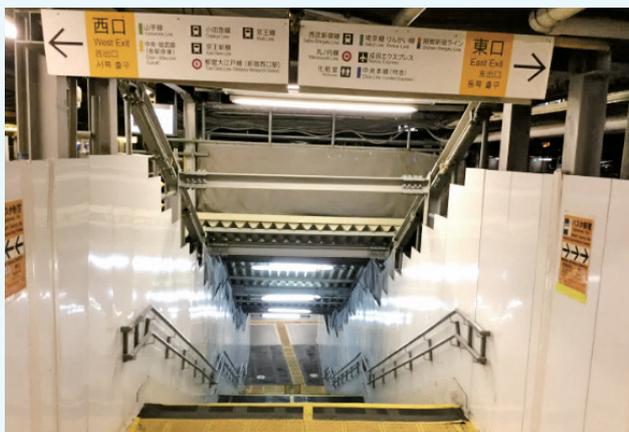
## ■平成28(2016)年度の主な工事内容

### 地下構内平面図



### 構内断面図





① 仮階段設置状況



① 既設階段撤去状況



② B1階砕石敷均し状況 (新設高架橋基礎作業床構築工事)



② B1階コンクリート打設完了状況 (新設高架橋基礎作業床構築工事)



③ 薬液注入状況 (新設高架橋基礎工事)



③ 橋の設置状況 (新設高架橋基礎工事)



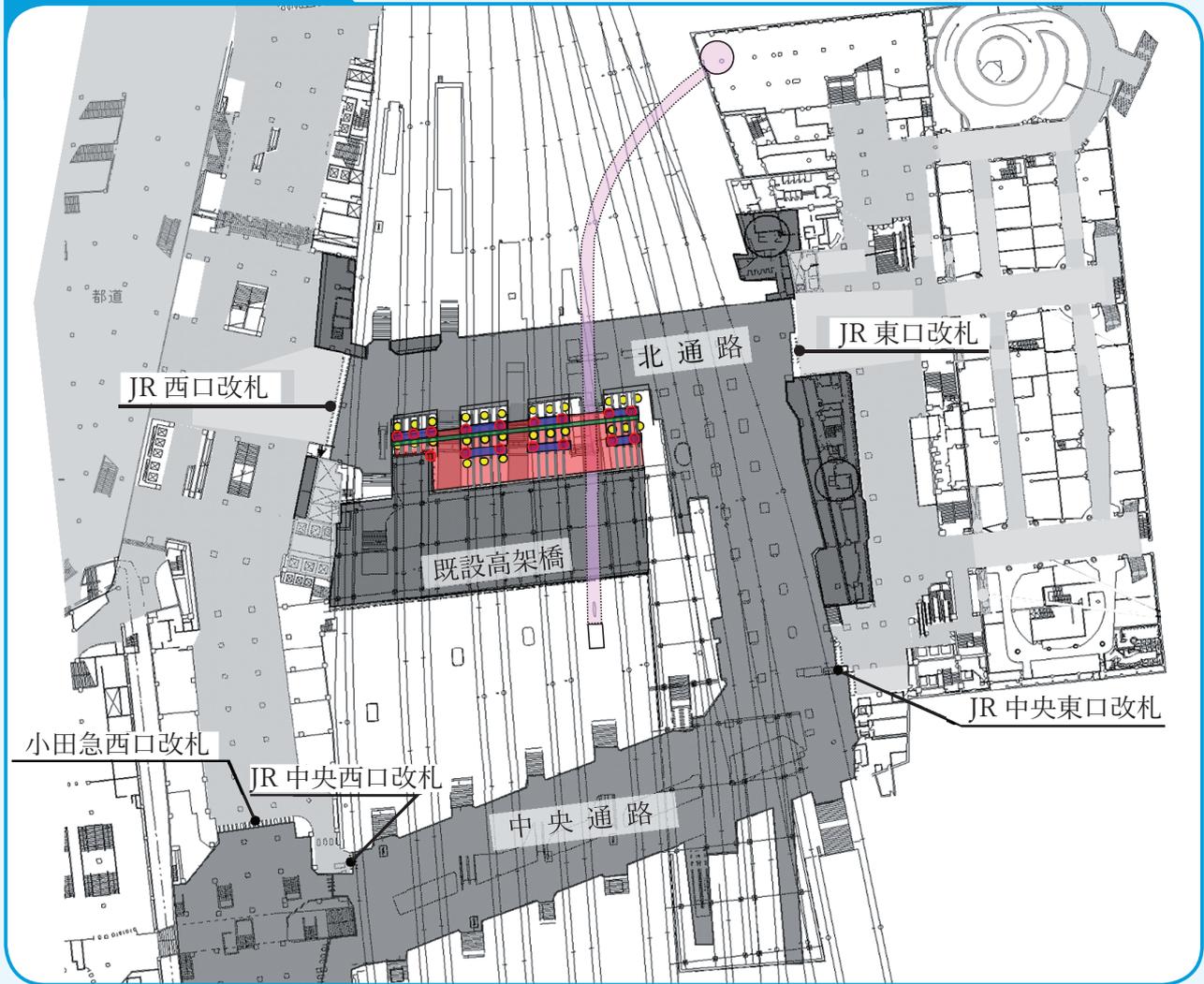
③ ライナープレート設置状況 (新設高架橋基礎工事)



④ 土砂搬出ルート整備状況

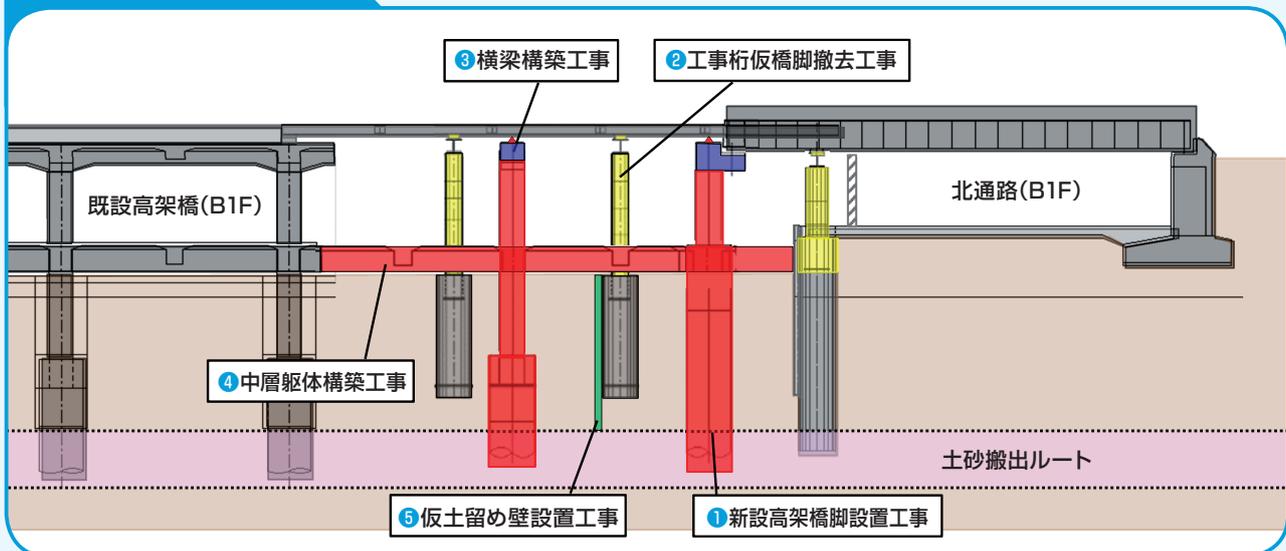
# 平成29(2017)年度の主な工事内容

## 地下構内平面図



- 凡例
- ① 新設高架橋脚設置工事
  - ② 工事桁仮橋脚撤去工事
  - ③ 横梁構築工事(新設高架橋)
  - ④ 中層躯体構築工事
  - ⑤ 仮土留め壁設置工事

## 構内断面図





① 鉄筋かご設置状況 (新設高架橋脚基礎杭)



① 新設高架橋脚設置状況 (B1 階全体)



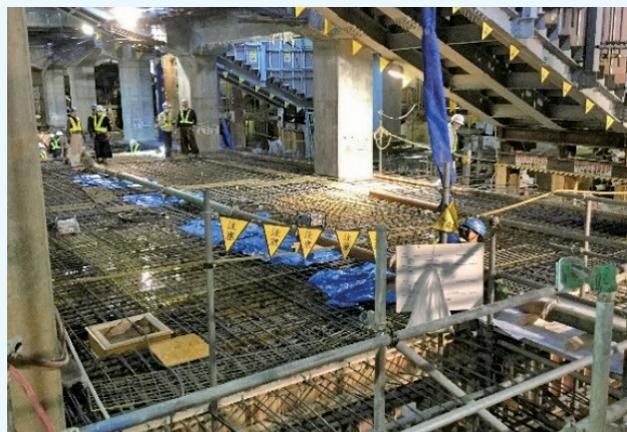
① 新設高架橋脚への工事桁受替状況



② 工事桁仮橋脚撤去状況



③ 横梁構築状況 (新設高架橋脚)



④ スラブ鉄筋の組立状況 (中層躯体構築工事)



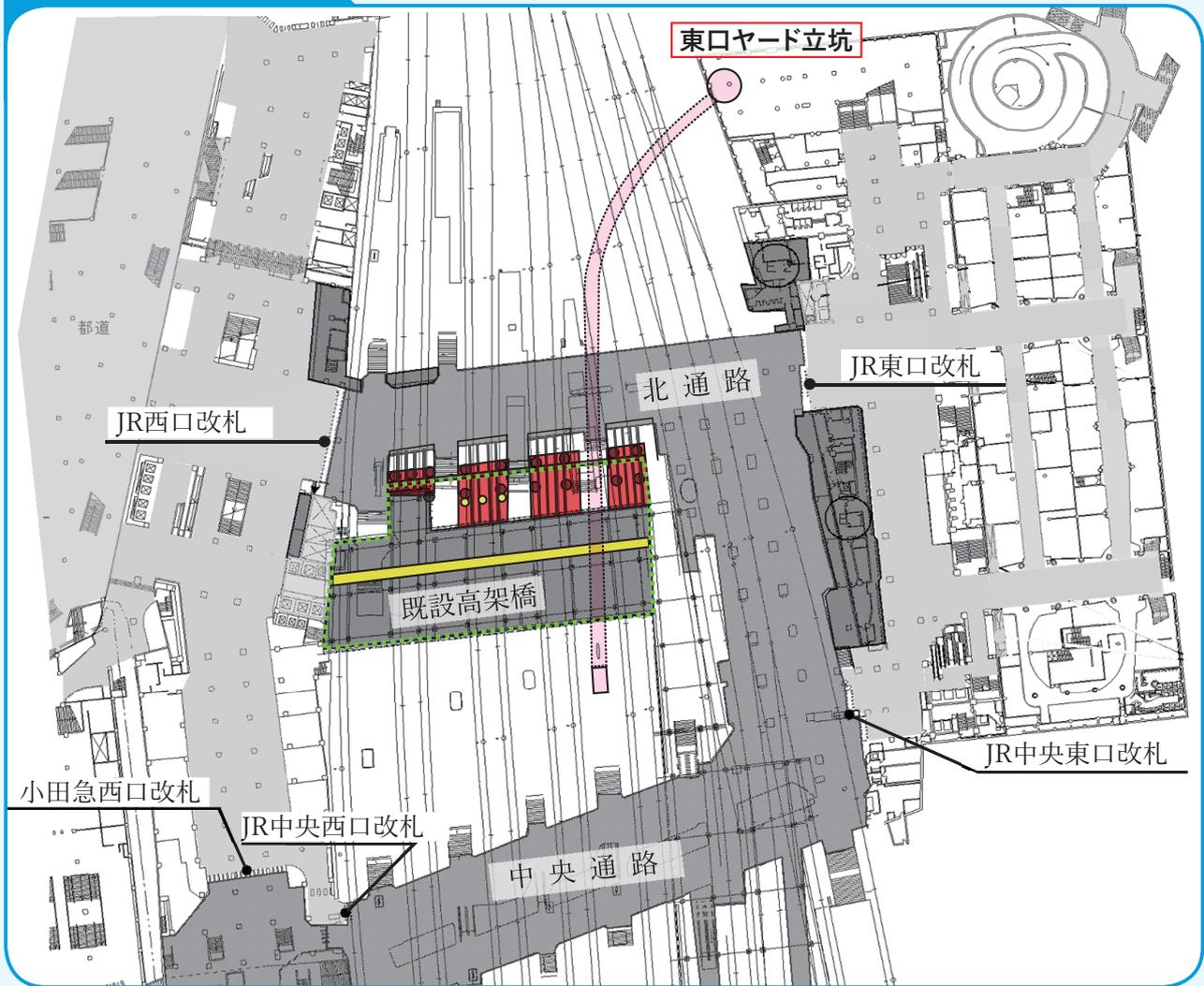
④ 中層躯体構築完了状況



⑤ B2 階仮土留め壁設置状況 (二次掘削完了後撮影)

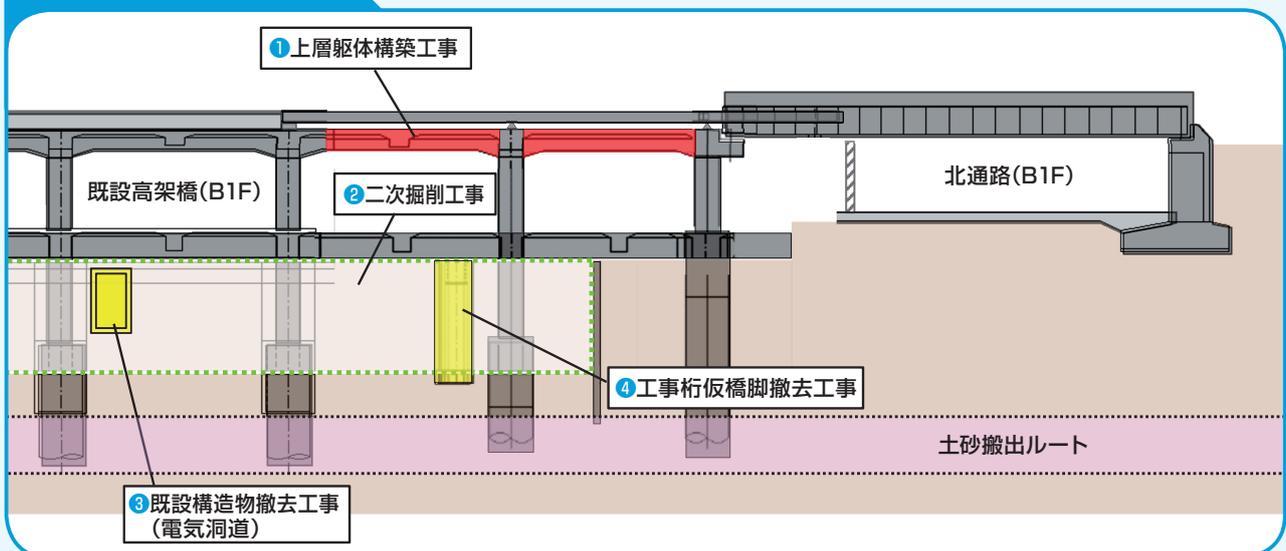
# ■平成30(2018)年度の主な工事内容

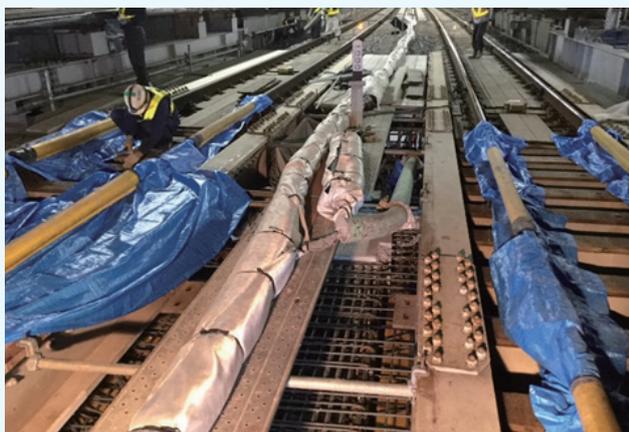
地下構内平面図



- 凡例
- ①上層躯体構築工事
  - ②二次掘削工事
  - ③既設構造物撤去工事(電気洞道)
  - ④工事桁仮橋脚撤去工事

構内断面図





①上層躯体構築状況



①上層躯体構築状況



②二次掘削状況



②東口ヤード立坑土砂搬出状況



②二次掘削状況



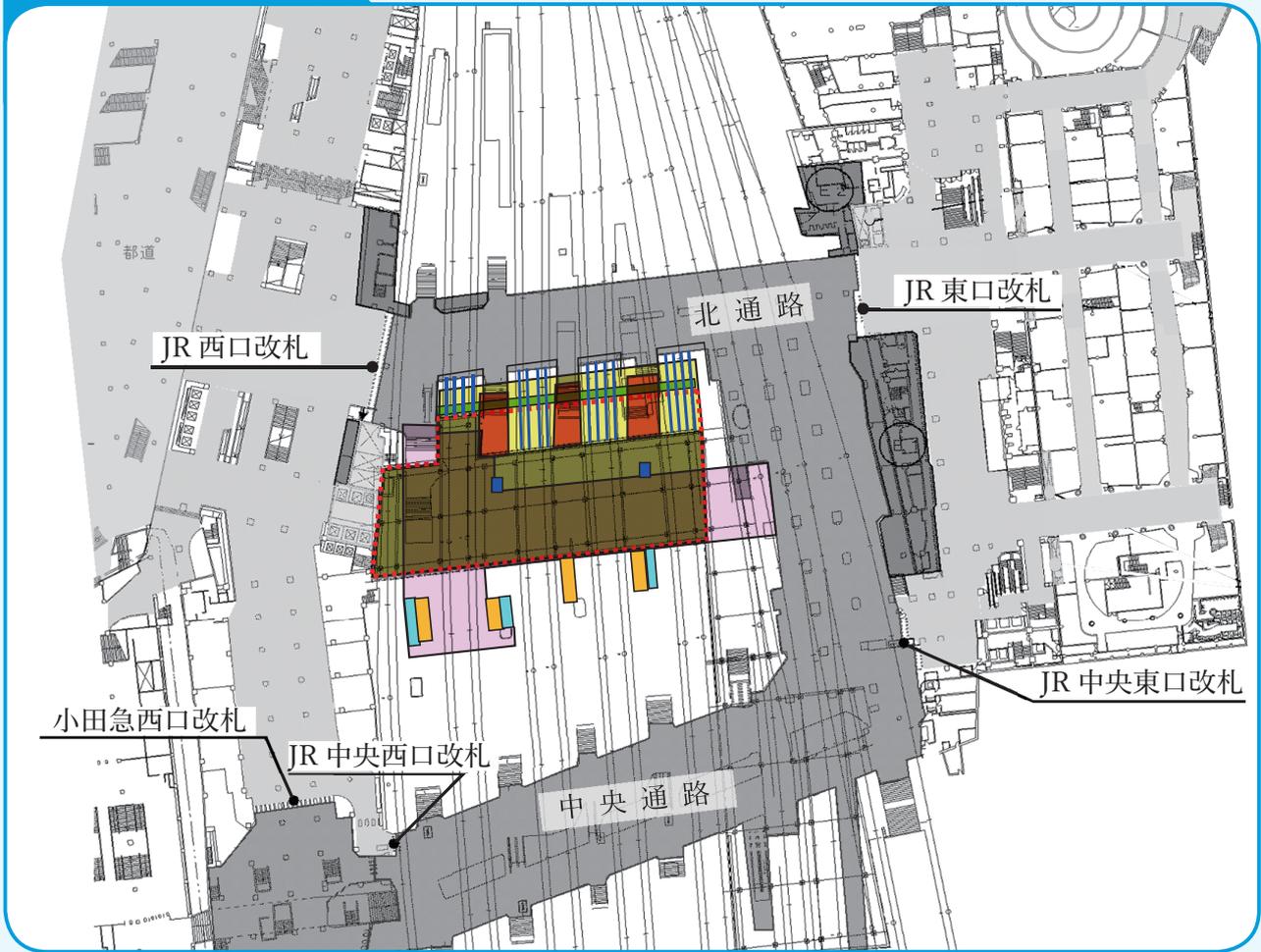
③既設構造物撤去状況（電気洞道）



③ケーブル盛替状況（電気洞道）

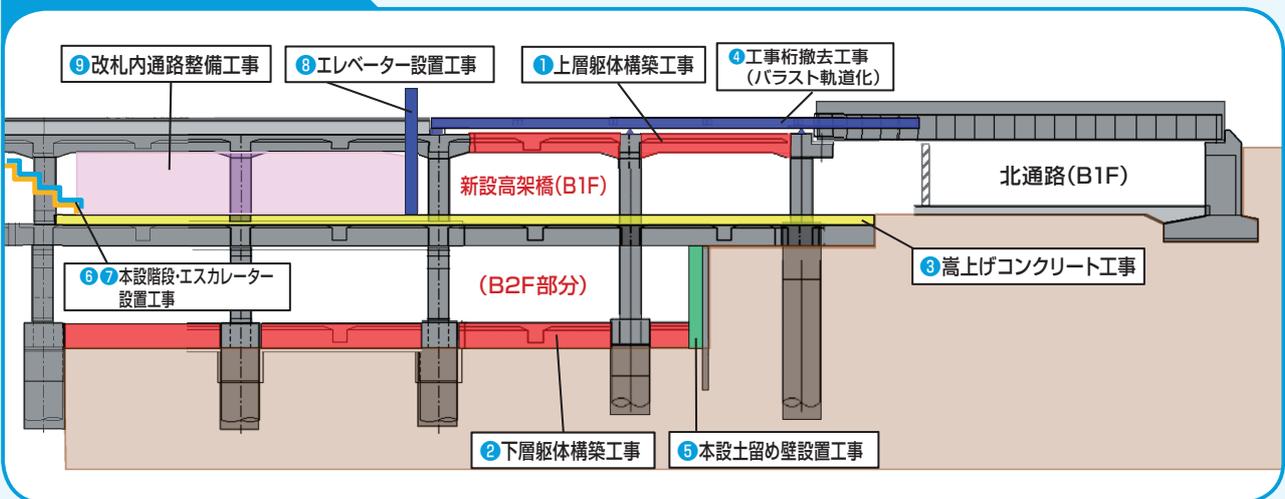
# 令和元(2019)年度の主な工事内容

## 地下構内平面図



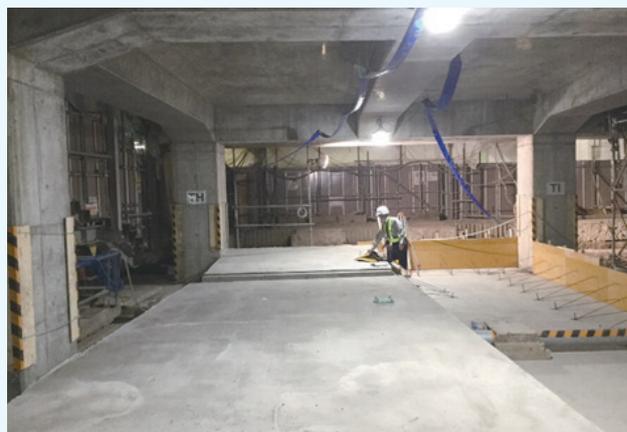
- 凡例
- |   |   |  |
|---|---|--|
| <span style="color: red;">■</span> ① 上層躯体構築工事                     | <span style="border: 1px dashed red; padding: 2px;">■</span> ② 下層躯体構築工事 | <span style="background-color: yellow;">■</span> ③ 嵩上げコンクリート工事 |
| <span style="background-color: blue;">■</span> ④ 工事桁撤去工事(バラスト軌道化) | <span style="background-color: green;">■</span> ⑤ 本設土留め壁設置工事            | <span style="background-color: orange;">■</span> ⑥ 本設階段設置工事    |
| <span style="background-color: cyan;">■</span> ⑦ エスカレーター設置工事      | <span style="background-color: darkblue;">■</span> ⑧ エレベーター設置工事         | <span style="background-color: pink;">■</span> ⑨ 改札内通路整備工事     |

## 構内断面図

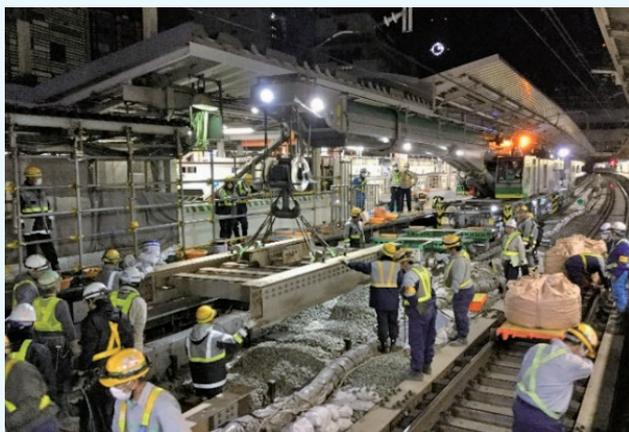




② 下層躯体構築完了



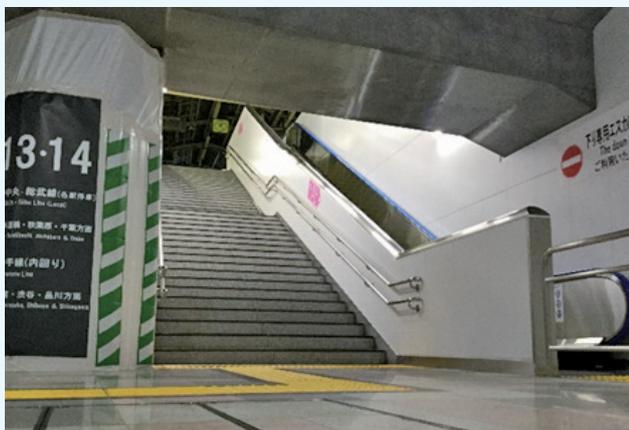
③ 嵩上げコンクリート工事



④ 工事桁撤去状況



⑤ 本設土留め壁設置完了



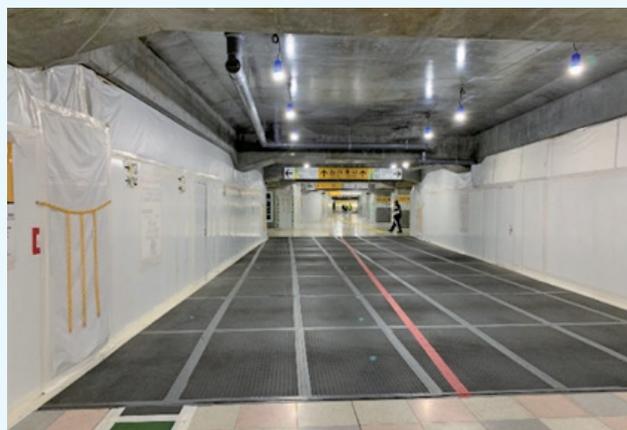
⑥ ⑦ 本設階段・エスカレーター設置完了



⑧ エレベーターシャフト構築状況



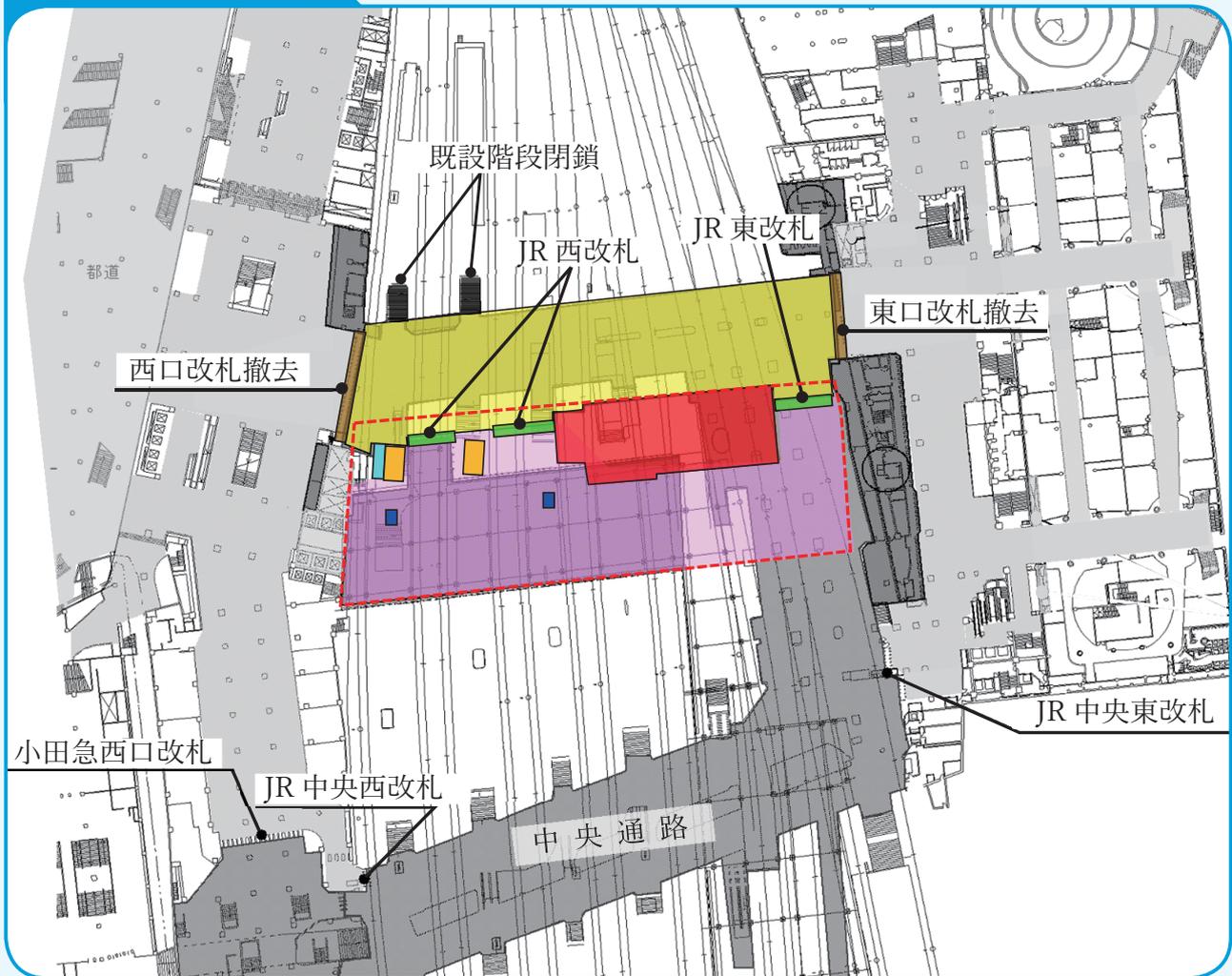
⑧ エレベーター設置完了



⑨ 改札内通路開放

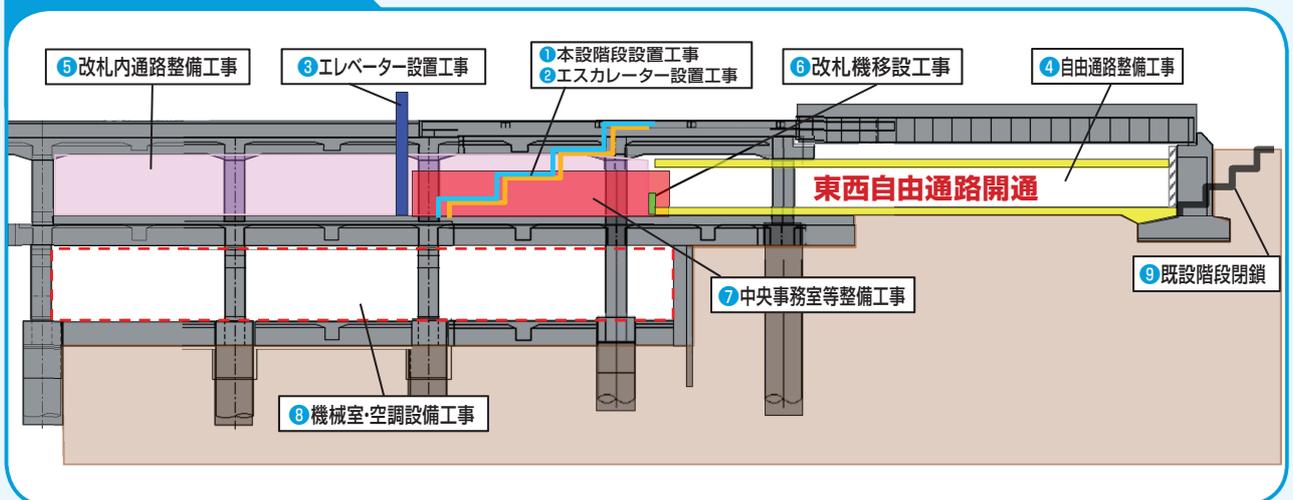
# 令和2(2020)年度の主な工事内容

## 地下構内平面図



- 凡例
- |   |   |   |
|---|---|---|
| <span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:orange; border:1px solid black;"></span> ①本設階段設置工事 | <span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:lightblue; border:1px solid black;"></span> ②エスカレーター設置工事 | <span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:darkblue; border:1px solid black;"></span> ③エレベーター設置工事 |
| <span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:yellow; border:1px solid black;"></span> ④自由通路整備工事 | <span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:purple; border:1px solid black;"></span> ⑤改札内通路整備工事      | <span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:grey; border:1px solid black;"></span> ⑥改札機移設工事        |
| <span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:red; border:1px solid black;"></span> ⑦中央事務室等整備工事  | <span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; border:1px dashed red;"></span> ⑧機械・空調設備工事                                | <span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:grey; border:1px solid black;"></span> ⑨既設階段閉鎖         |

## 構内断面図

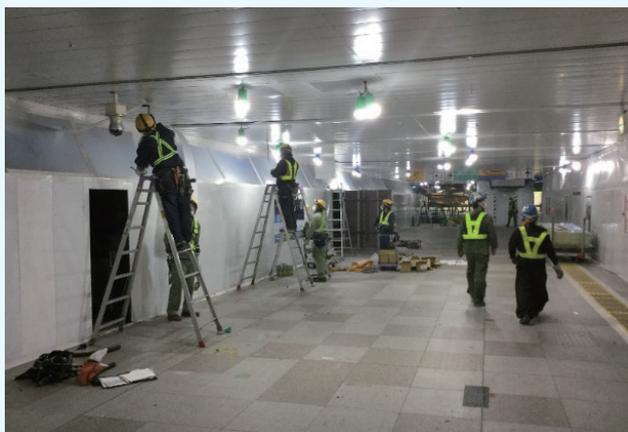




①・②本設階段・エスカレーター設置完了



③エレベーター設置完了



④自由通路整備状況



⑤改札内通路整備状況



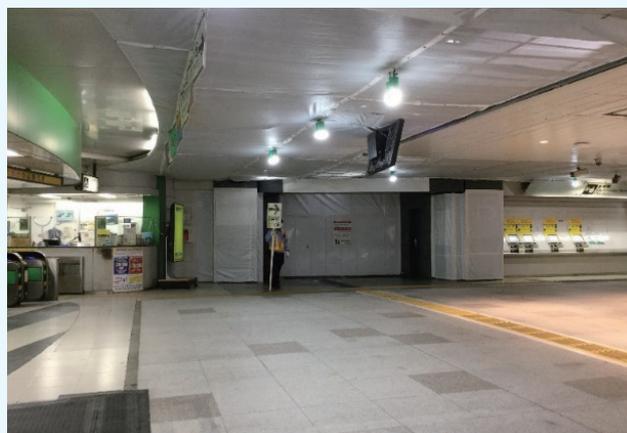
⑥改札機移設状況



⑦中央事務室整備状況

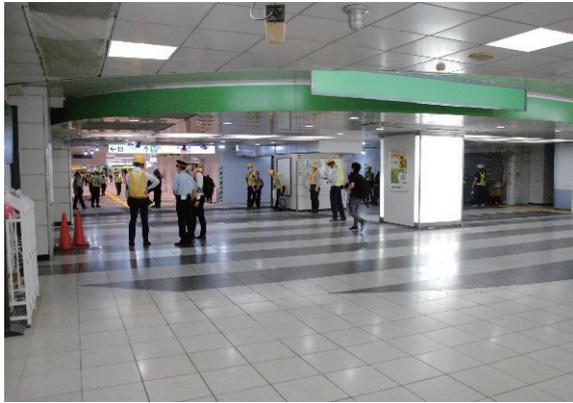
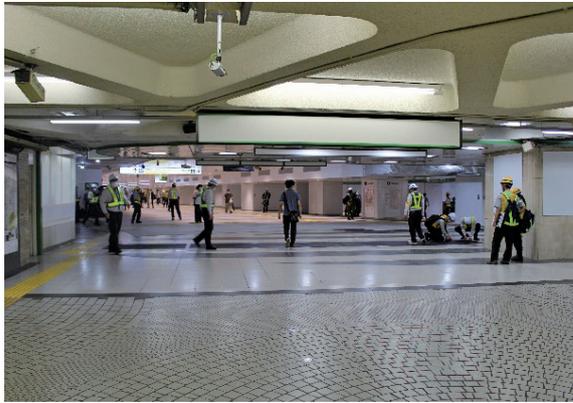


⑧機械設備設置状況



⑨既設階段閉鎖状況

## 6 東西自由通路開通前後の比較

	開通前	開通後
旧東口改札		
旧西口改札		
東改札		
西改札		

# 第3章 東西自由通路 促進同盟の 活動の記録

前身である通勤新線新宿駅誘致実現等期成同盟の  
発足から約40年、  
東西自由通路等新宿駅周辺整備促進同盟が  
現在に至るまでの歩みを振り返る。



## 同盟発足期 昭和55(1980)年～58(1983)年

昭和40～50年代にかけ新宿駅西口の高層ビル建設ラッシュをはじめとし、副都心新宿は目覚ましい発展を遂げている時代でした。昭和51(1976)年に、地元諸団体から国鉄総裁あてに嘆願書「自由通路の建設について」が提出され、これが建設促進運動のはじまりでした。区も地元の要請を受け、昭和52(1977)年には区長の諮問機関として「新宿駅周辺問題協議会」を発足させ、地域と一体となったターミナル整備のあり方について調査・検討を始めました。一方、昭和53(1978)年に高崎線宮原駅から赤羽駅経由で池袋駅を結ぶ「通勤新線」の建設工事が開始されました。この新線が池袋駅止まりとなる場合には、山手線の池袋駅～新宿駅間の混雑が著しくなることが予想され、真の「新都心新宿」を考えると、「通勤新線の誘致」や「駅周辺地域の東西交流機能の確保」等の実現が急務となっていました。

こうした中、「通勤新線で新宿の発展を」をスローガンのもと新宿区、住民、企業等が一体となり、昭和55(1980)年5月1日本同盟の前身である「通勤新線新宿駅誘致実現等期成同盟」(会長：新宿区長山本克忠)が発足しました。

通勤新線新宿駅誘致実現等期成同盟の発足

発足：昭和55(1980)年5月1日

・活動の目的

- ①通勤新線の新宿駅誘致
- ②通勤新線の高田馬場駅誘致
- ③新宿駅東西自由通路の整備



同年6月3日には決起大会とパレードが行われ、町会、地元商店会等各種団体から代表600名の参加がありました。これ以降、国鉄総裁・運輸大臣等への陳情のほか、様々なPR活動を行ってきました。区内はもとより、通勤新線沿線の宮原駅、大宮駅、赤羽駅などで署名活動を行い、13万3千名の署名を集めたり、またキャラバン隊を編成しPR活動を展開したり、大新宿区まつりでのフラワー・ファンタジア・パレードに参加し、華やかに活動をアピールするなど、精力的に要望活動を行ってきました。



運輸大臣(当時)や国鉄総裁(当時)への陳情活動



PR活動

## 新宿駅乗入れ実現と高田馬場停車断念 ..... 昭和59(1984)年～平成8(1996)年

こうした要望活動が功を奏し、昭和59(1984)年7月12日、国鉄は、通勤新線の新宿駅までの延長を正式に決定することとなり、目的の一つが結実することとなったのです。この通勤新線は、「埼京線」の名称で昭和61(1986)年3月3日に新宿駅までの区間が開業しました。同盟では、3月1日から31日まで「埼京線新宿駅開業記念行事」を、3月3日には開業記念祝賀会を、また3月9日には地元と協力して「出会いフェスティバル」を開催しました。

埼京線新宿駅誘致が実現したことで、現状の名称では今後の活動目標を十分に表現できないことや、新都心としての今後の発展を支えるには、より一層の通勤交通網の整備が必要となるとの理由から、昭和62(1987)年10月5日に、名称を「新都心通勤交通網整備促進同盟」へと変更しました。

新都心通勤交通網整備促進同盟へ改称

改称：昭和62(1987)年10月5日

・活動の目的

- ①新宿駅東西自由通路の開設
- ②埼京線の高田馬場駅停車



上／署名活動 S63 (1988). 9～12

中／埼京線高田馬場駅停車キャンペーン S61 (1986).10.21

下／高田馬場駅での街頭署名



## 新宿駅乗入れ実現と高田馬場停車断念 昭和59(1984)年～平成8(1996)年

埼京線高田馬場駅停車については、昭和63(1988)年10月24日に小渕内閣官房長官、及び安倍自民党幹事長に陳情を、平成元(1989)年2月には11万6千名の署名をたずさえ、佐藤運輸大臣、及びJR東日本・住田社長にそれぞれ要望するなどの活動を重ねてきました。しかしながら、平成8(1996)年7月29日、埼京線高田馬場駅停車については、運輸省、JRに意思がなく見通しが立たないとともに、停車ホーム用地確保のための再開発事業も採算面から困難な状況との結論に至り、運動を断念せざるを得なくなりました。



上から 陳情活動 S63(1988).10.24 小渕内閣官房長官(当時)  
陳情活動 S63(1988).10.24 安倍自由民主党幹事長(当時)  
出会いフェスティバル'89(平成元年)  
フラワーファンタジアパレード'93(平成5年)

# 東西自由通路整備の実現に向けて

## 平成9(1997)年～平成20(2008)年

埼京線の高田馬場駅停車断念後は、新宿駅東西自由通路の開設に目的を一本化し運動を展開することとなりました。

平成12(2000)年2月に国による「新宿跨線橋架替工事」を皮切りに「新宿駅南口地区基盤整備事業」が本格的に動き出し、地元の関心も南口を中心とした新宿駅全体の将来計画に移ってきました。同盟としては、こうした周辺動向に迅速に対応する必要があり、平成13(2001)年7月31日に名称を「東西自由通路等新宿駅周辺整備促進同盟」に変更し、従来からの目的である「新宿駅東西自由通路開設」、及び「東口広場の整備」を基軸とした、新宿駅東口・西口・南口の連携、回遊性の強化・確保についての関係機関への要請や、東西自由通路の必要性・効果等について、区民・来街者へ広くPR活動を行っていくこととなりました。

東西自由通路等新宿駅周辺整備促進同盟へ改称

改称：平成13(2001)年7月31日

・活動の目的

- ①新宿駅東西自由通路開設
- ②新宿駅東口広場の整備



中央大会 H16 (2004).3.25

同盟は、新宿駅周辺の動向を踏まえつつ、東西自由通路開設の早期実現に向けて要請活動、PR活動を行い、機運を高めてきました。

こうした様々な取り組みを通じて、平成20(2008)年6月23日新宿区、JR東日本、及び小田急電鉄株式会社で「新宿駅東西自由通路整備に関する基本協定」を締結し、事業着手する運びとなりました。

## 東西自由通路の開通に向けて 平成20(2008)年～令和2(2020)年

東西自由通路工事は、平成20～21（2008～2009）年度の基本設計、平成22（2010）年度の詳細設計、平成23（2011）年度の関係者協議を経て、平成24（2012）年9月に着工しました。

同盟では、着工を記念し、「新宿駅東西自由通路着工記念式典」を平成24（2012）年10月29日に新宿区立新宿文化センター小ホールで開催しました。当日は、同盟の役員並びに会員の皆様方、JR東日本をはじめ多くのご来賓等、総勢約140名の方々にご臨席いただき、喜びを分かち合いました。

式典は、会長（新宿区長）挨拶に始まり、来賓を代表してJR東日本の富田社長、国土交通省の高橋街路交通施設課長、東京都の飯尾都市整備局長から祝辞をいただき、JR東日本総合企画本部の平野ターミナル計画部長、早稲田大学の戸沼名誉教授にご講演をいただきました。



上/同盟会長あいさつ 下/会場の雰囲気

自由通路工事の着工以降は、総務委員会及び理事会での報告や、現場視察を通して工事の進捗状況を確認してきました。

同盟の会員や関係団体に、同盟ニュース（新しい出会い）を通して工事の進捗状況を報告し、あわせて「新宿の拠点再整備方針」の策定や東口駅前広場の整備など、新宿駅周辺の動きについて情報共有をしてきました。



上/現場視察 H29 (2017).11.4  
 中/同盟ニュース『新しい出会い』  
 下/理事会の開催 H28 (2016).7.29

## 東西自由通路の開通 令和2(2020)年7月19日

昭和55年の「通勤新線新宿駅誘致実現等期成同盟」発足以降、署名活動やキャンペーン、関係者への陳情・要望等これまでの活動が実を結び、平成24(2012)年9月に着工した新宿駅東西自由通路は、約8年におよぶ工事期間を経て、令和2(2020)年7月19日(日)に開通しました。



自由通路内に掲出された祝辞



新改札(西改札)



新改札(東改札)



2020年7月19日(日)

祝・新宿駅 東西自由通路開通

～東西とともに人と人 街と街がつながる～

JR 新宿駅

# 2 「同盟」活動年表

年	月	日	同盟活動内容と自由通路の動き等
S52 (1977)	9	14	新宿駅周辺問題協議会発足（メンバー15名、都・区・警察・消防・国鉄・私鉄・企業・学識経験者・区町会連合会）、「第1回協議会」開催
S53 (1978)	12	16	「通勤新線」計画、運輸大臣の許可を得る
S55 (1980)	2	13	「通勤新線で新宿の発展を」のスローガンのもと、区と民間団体の代表で、通勤新線誘致実現のための懇談会開催（以後、数回準備会開催）
	5	1	「通勤新線新宿駅誘致実現等期成同盟」（会長：山本区長）発足（発起人：区長・区議会正副議長・各党幹事長、東京商工会議所新宿支部、新宿新都心開発協議会、区町会連合会、新宿西口振興会、周辺商店街振興組合、民間企業等38名）
	6	3	誘致決起大会開催（安田火災海上ビル）、通勤新線誘致の早期実現と新宿駅周辺の東西交流の整備促進（東西自由通路）を決議、区内から各代表600名が参加
	7~9月		期成同盟において、国鉄、運輸大臣等に陳情
S56 (1981)	1	25	広報誌「誘致特集号」を発行
	2	25	期成同盟、常任理事会を開催し、署名運動など精力的な運動展開を決定
	3	31	新宿駅周辺問題協議会（会長：大場常良教授）、「新宿駅周辺にかかる諸問題」について区長に答申
	5月~7月		署名活動を行い、13万3千名の署名が集まる
	6	6	誘致促進中央大会、300名が参加。新宿駅、高田馬場駅前でPR
	10	11	期成同盟、新宿ステーションスクエアで新線誘致キャンペーン実施

年	月	日	社会、区の動き
S52 (1977)	3	3	西武新宿駅ビル「ペペ」「新宿プリンスホテル」（地上25階・地下4階）完成
S53 (1978)	5	20	新東京国際空港（成田空港）開港
	6	-	「野村ビル」（地上50階・地下5階）竣工
	7	-	新宿駅東口広場に「新宿ステーションスクエア」オープン
	11	17	「新宿ステーションビル」を全面改装、「マイシティ」オープン
	12	-	東口駅前の二幸閉店
S54 (1979)	12	24	新宿文化センター落成式、こけら落とし（S54年4月1日から一般利用開始）
	10	31	「新宿センタービル」（地上54階・地下4階）竣工
S55 (1980)	3	16	都営地下鉄新宿線、新宿～岩本町間開通。同時に新宿で京王線と相互乗入れ運転開始
	3	26	二幸跡地に「スタジオアルタ」オープン
	7	19	モスクワオリンピック（日本不参加）
S56 (1981)	8	19	新宿駅西口バス放火事件発生、6人死亡、19人が重軽傷
	10	1	「第1回大新宿区まつり」開催
	12	3	マイタウン構想懇談会、「東京の新しいまちづくりの指針と方策のあり方」を最終報告
S57 (1982)	2	17	地下鉄12号線促進連絡協議会発足
	4	10	都市計画道路と用途地域地区の見直し
S57 (1982)	-	-	五百円硬貨発行
	10	22	南口に「ルミネスクエア」オープン

# 2 「同盟」活動年表

年	月	日	同盟活動内容と自由通路の動き等	年	月	日	社会、区の動き	
S57 (1982)	9	25	広報紙「誘致特集号」を発行、19万部を区内配布	S57 (1982)	10	-	「NSビル」(地上30階・地下3階) 竣工	
S57~59 (1982~1984)年度			毎年誘致促進中央大会を開催、国鉄に陳情	S58 (1983)	4	15	「東京ディズニーランド」開園	
S58~59 (1983~1984)年度			新宿駅南口地区総合整備計画調査(国土庁、運輸省、建設省)	S59 (1984)	2	1	新宿貨物駅での貨物取扱廃止(跡地は高島屋、H8104オープン)	
S59 (1984)	7	12	国鉄、「通勤新線」新宿駅延長を発表(開通はS61年春の予定)		3	-	グリコ・森永事件	
S58~63 (1983~1988)年度			新宿ターミナル整備調査(新宿区)、新宿ターミナル及び周辺部の歩行者流動の現況を把握し、歩行者空間整備の方向性を検討		8	30	「新宿国際ビル」(地上38階・地下4階) 完成	
			通勤新線(埼京線)、大宮~池袋間開業		10	4	「新宿ミロード」(地上10階・地下2階) オープン	
S60 (1985)	9	30	国鉄、通勤新線(埼京線)の新宿駅乗入れ開業をS61(1986)年3月3日と発表	S60 (1985)	3	1	山手線開業100周年、新宿駅開業100周年	
	11	26			4	22	新宿駅西口広場地下1階に総合案内所が誕生	
S61 (1986)	3	3	通勤新線(埼京線)、新宿駅開業		8	12	日本航空機、群馬県御巢鷹山中に墜落。520人死亡、4人救助	
S62 (1987)	10	5	新都心通勤交通網整備促進同盟中央大会開催(通勤新線新宿駅誘致実現等期成同盟を名称変更。新宿駅東西自由通路と埼京線高田馬場駅停車の早期実現を求める決議を採択)		9	1	西口広場に歩行者専用デッキ「カリヨン橋」完成	
					9	30	西新宿六丁目中央地区市街地再開発事業・建物工事完了	
S63 (1988)	9~12月		埼京線高田馬場駅停車の実現を求める署名活動、11万6千名の署名が集まる		S61 (1986)	3	15	新宿区平和都市宣言
	10	24	内閣官房長官、自民党幹事長へ陳情	4		11	ハレー彗星地球に最接近	
	11	2	中央大会	5	30	「新宿グリーンタワービル」(地上29階・地下4階) 完成(西新宿六丁目浄風寺周辺地区市街地再開発事業)		
H1 (1989)			運輸大臣へ要望	S62 (1987)	4	1	財団法人新宿区都市整備公社設立	
								国鉄分割民営化で東日本旅客鉄道など開業
					8	3	「新宿モア計画」、第1期工事完成式	
					8	11	JR東日本本社の新宿移転決定	
					10	22	JR新宿駅南口に「ルミネ2」がオープン	
					12	20	京王電鉄、都営新宿線への乗入れを大島駅まで延長	
		-	-	-	-	世界人口50億人を突破		

年	月	日	同盟活動内容と自由通路の動き等																																																																																										
H1 (1989)	2	25	JR東日本社長へ要望 																																																																																										
		3	新宿駅東西自由通路・周辺広場整備調査。現在の青梅通路北側に幅員20mの新設通路を設け、合計37mの自由通路空間とする計画																																																																																										
	9	3	同盟の下部組織として、地元の役員が中心となった「新宿駅東西自由通路開設促進委員会」結成																																																																																										
H2 (1990)	10	10	新宿NSビル大時計台広場でPRイベント「新宿出逢いフェスティバル'90」開催																																																																																										
H3~20 (1991~2008)			中央大会を毎年開催 <table border="1" data-bbox="555 1093 922 1641"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>月</th> <th>日</th> <th>会場</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H3.2.7</td><td></td><td></td><td>角筈区民ホール</td><td>236名</td></tr> <tr><td>H4.2.14</td><td></td><td></td><td>〃</td><td>240名</td></tr> <tr><td>H5.2.16</td><td></td><td></td><td>〃</td><td>350名</td></tr> <tr><td>H6.2.4</td><td></td><td></td><td>〃</td><td>250名</td></tr> <tr><td>H7.2.2</td><td></td><td></td><td>〃</td><td>250名</td></tr> <tr><td>H8.2.1</td><td></td><td></td><td>〃</td><td>240名</td></tr> <tr><td>H9.2.6</td><td></td><td></td><td>〃</td><td>230名</td></tr> <tr><td>H10.2.6</td><td></td><td></td><td>四谷区民ホール</td><td>240名</td></tr> <tr><td>H11.2.5</td><td></td><td></td><td>〃</td><td>224名</td></tr> <tr><td>H13.2.1</td><td></td><td></td><td>区役所大会議室</td><td>150名</td></tr> <tr><td>H14.3.27</td><td></td><td></td><td>厚生年金会館</td><td>130名</td></tr> <tr><td>H15.3.25</td><td></td><td></td><td>区役所大会議室</td><td>120名</td></tr> <tr><td>H16.3.26</td><td></td><td></td><td>若松地域センター</td><td>104名</td></tr> <tr><td>H17.3.25</td><td></td><td></td><td>区役所大会議室</td><td>102名</td></tr> <tr><td>H18.2.3</td><td></td><td></td><td>〃</td><td>120名</td></tr> <tr><td>H19.1.23</td><td></td><td></td><td>〃</td><td>127名</td></tr> <tr><td>H20.3.24</td><td></td><td></td><td>〃</td><td>130名</td></tr> </tbody> </table>  中央大会 H5 (1993) .2.16	年	月	日	会場	人数	H3.2.7			角筈区民ホール	236名	H4.2.14			〃	240名	H5.2.16			〃	350名	H6.2.4			〃	250名	H7.2.2			〃	250名	H8.2.1			〃	240名	H9.2.6			〃	230名	H10.2.6			四谷区民ホール	240名	H11.2.5			〃	224名	H13.2.1			区役所大会議室	150名	H14.3.27			厚生年金会館	130名	H15.3.25			区役所大会議室	120名	H16.3.26			若松地域センター	104名	H17.3.25			区役所大会議室	102名	H18.2.3			〃	120名	H19.1.23			〃	127名	H20.3.24			〃	130名
	年	月	日	会場	人数																																																																																								
	H3.2.7			角筈区民ホール	236名																																																																																								
	H4.2.14			〃	240名																																																																																								
	H5.2.16			〃	350名																																																																																								
	H6.2.4			〃	250名																																																																																								
	H7.2.2			〃	250名																																																																																								
	H8.2.1			〃	240名																																																																																								
	H9.2.6			〃	230名																																																																																								
	H10.2.6			四谷区民ホール	240名																																																																																								
	H11.2.5			〃	224名																																																																																								
	H13.2.1			区役所大会議室	150名																																																																																								
	H14.3.27			厚生年金会館	130名																																																																																								
	H15.3.25			区役所大会議室	120名																																																																																								
	H16.3.26			若松地域センター	104名																																																																																								
	H17.3.25			区役所大会議室	102名																																																																																								
	H18.2.3			〃	120名																																																																																								
H19.1.23			〃	127名																																																																																									
H20.3.24			〃	130名																																																																																									

年	月	日	社会、区の動き
S63 (1988)	3	2	「新宿区基本計画」「新宿区実施計画」(S63~H2)を公表
	3	17	「東京ドーム」完成
	4	14	新宿駅西口地下広場ロータリーの新しい噴水等が完成
	9	6	営団地下鉄13号線建設促進新宿区協議会設立大会開催
H1 (1989)	4	1	消費税実施(税率3%)
	4	11	中央線開業100周年
	6	19	「新宿エルタワー」(地上31階・地下5階)竣工
	7	28	「新宿モア街」完成式
	9	4	角筈区民センター落成式
H2 (1990)	6	30	東京都土地信託第1号ビル「新宿モノリス」(地上30階、地下3階)竣工
	10	3	東西ドイツ統一
H3 (1991)	3	-	新宿歩行者専用道第1号線(ワンデーストリート、シーズンロード)開通
	4	1	新宿に東京都庁移転、業務開始(39落成式)
	11	1	区役所第一分庁舎落成式(115業務開始)
	12	21	新宿御苑トンネル(国道20号線)開通式
H4 (1992)	4	1	「新宿区景観まちづくり条例」施行
H5 (1993)	5	-	新宿大通りの土曜日の歩行者天国中止
	7	30	都健康プラザ「ハイジア」(地上17階、地下3階)完成、都立大久保病院(地上15階、地下3階)オープン
	8	26	レインボーブリッジ開通
H6 (1994)	7	9	「新宿パークタワー」(地上52階、地下5階)オープン
	12	15	区、国、JR東日本三社共同事業による新宿駅東南口広場完成

# 2 「同盟」活動年表

年	月	日	同盟活動内容と自由通路の動き等	年	月	日	社会、区の動き
H3~20 (1991~2008)			中央大会を毎年開催 	H7 (1995)	1	17	阪神・淡路大震災 (M72)
					1	19	西武新宿線複々線化計画無期延期
					1	31	「新宿アイランドタワー」(地上44階、地下4階)完成 (西新宿六丁目東地区再開発事業)
					3	20	地下鉄サリン事件
					8	31	営団地下鉄13号線建設促進連絡協議会設立総会 (新宿、豊島、渋谷区)
				9	18	NTT新本社ビル完成	
			中央大会 H20 (2008).3.24	H8 (1996)	3	16	埼京線、恵比寿まで延長
					3	26	営団地下鉄南北線、駒込~四谷間延伸開業
					4	26	「新宿区都市マスタープラン」決定
					5	28	営団地下鉄丸ノ内線「西新宿駅」開業
					7	17	新宿駅西口地下通路に「動く歩道」開通
					8	8	「東京オペラシティ」オープン
					10	4	「タカシマヤタイムズスクエア」オープン
					4	1	消費税増税実施、3%から5%に
			新宿駅南口地区基盤整備計画調査 (新宿駅南口地区基盤整備計画調査委員会)	H9 (1997)	12	16	新宿歩行者専用道第2号線 (タイムズアベニュー) I 区間 (都庁前駅~西新宿駅) 開通
			新宿駅東西自由通路基本調査 (新宿区)。設置レベルをデッキと地下で検討、①青梅通路北側に6m通路、②駅改良に合わせた青梅通路拡幅・自由通路化、③隣接建替えに合わせたデッキレベルの通路設置を段階的に整備		12	19	都営地下鉄大江戸線 (12号線)、練馬~新宿間開通
H8 (1996)	7	29	埼京線高田馬場駅停車誘致活動の断念及び促進委員会の解散	H10 (1998)	2	1	「新宿区基本計画 (H10~19年度)・実施計画 (H10~11年度)」策定
			新宿駅東口地区整備推進調査 (新宿区)。自由通路を受ける東口広場計画について、段階整備案を検討		2	-	長野オリンピック (2/7~2/22)
					3	20	JR新宿駅南口に「新宿サザンテラス」オープン
				H11 (1999)	11	24	新宿駅西口「思い出横丁」で白昼火事。28店舗が焼失
				H12 (2000)	2	-	新宿跨線橋架替工事着手

年	月	日	同盟活動内容と自由通路の動き等	年	月	日	社会、区の動き
H13 (2001)	7	31	「東西自由通路等新宿駅周辺整備促進同盟」に名称変更。活動目的を「新宿駅東西自由通路の開設」及び「新宿駅東口広場の整備」とする	H12 (2000)	12	12	都営地下鉄大江戸線（12号線）、全線開通
				H13 (2001)	9	1	歌舞伎町雑居ビル火災で死者44人
H14 (2002)	1	28	新宿駅南口地区基盤整備事業の地元説明会開催		H13 (2001)	9	11
				12		1	湘南新宿ライン運転開始
H15 (2003)	7	1	新宿駅南口地区基盤整備事業の地元説明会開催	H15 (2003)	7	1	淀橋第二小学校跡地に土地信託ビル「新宿ファーストウエスト」オープン
H16 (2004)	5	25	新宿駅周辺整備計画検討委員会設置（委員長：区助役、都、国、JR東日本、小田急電鉄）、①新宿駅周辺整備計画及び②新宿駅東西自由通路実現方を目的	H16 (2004)	4	1	帝都高速度交通営団が民営化され東京地下鉄（東京メトロ）誕生
					10	23	新潟県中越地震（M6.8）
H17 (2005)	5	-	プロモーションビデオ「新宿駅東西自由通路の実現に向けて」を制作、アルタビジョン等で放映	H17 (2005)	4	18	「新宿区交通バリアフリー基本構想」策定。新宿駅周辺を重点整備地区に指定
H18 (2006)	8	21	国土交通大臣が新宿駅周辺等を視察	H18 (2006)	2	18	「東京マラソン2007」（第1回）開催
					10	1	日本郵政グループ発足
H20 (2008)	3	24	同盟規約改正、「新宿駅東西自由通路の開設」及び「新宿駅東口広場の整備」を基軸とした新宿駅東口・西口・南口の連携・回遊性の強化・確保を目的とする	H19 (2007)	12	13	「新宿区基本構想」、「新宿区総合計画」策定
					6	23	「新宿駅東西自由通路の整備に関する基本協定」を新宿区とJR東日本、小田急電鉄株式会社に締結
H20 (2008)	12	-	基本設計に着手	H20 (2008)	6	14	東京メトロ副都心線（13号線）、和光市～渋谷間開業
				H21 (2009)	9	27	新宿駅周辺循環型バス「新宿WEバス」運行開始
H24 (2012)	9	26	JR東日本が東西自由通路整備工事に着手	H22 (2010)	4	22	玉川上水・内藤新宿分水散歩道の通水式
					5	21	JR新宿駅東南口広場と東京メトロ副都心線新宿三丁目駅を結ぶ新宿駅東南口地下歩道が開通
H24 (2012)	10	29	同盟主催で「新宿駅東西自由通路着工記念式典」を開催（新宿文化センター、小ホール）参加者約140名	H23 (2011)	3	11	東日本大震災発生
				H24 (2012)	3	12	玉川上水・内藤新宿分水散歩道の全区間完成
H24 (2012)	11	15	新宿モア4番街に都市再生特別措置法の道路占用許可特例制度を活用した全国初の道路上の常設オープンカフェを開設		5	22	「東京スカイツリー」開業
				11	15		



# 2 「同盟」活動年表

年	月	日	同盟活動内容と自由通路の動き等	年	月	日	社会、区の動き						
H27~H31 (2015~2019)			自由通路工事の現場視察を実施 <table border="1"> <tr> <td>27.12.08</td> <td>参加者22名</td> </tr> <tr> <td>29.11.14</td> <td>参加者23名</td> </tr> <tr> <td>31.09.02</td> <td>参加者23名</td> </tr> </table>   <p>現場視察 H27 (2015).12.8</p>	27.12.08	参加者22名	29.11.14	参加者23名	31.09.02	参加者23名	H25 (2013)	3	16	東京メトロ副都心線、東急東横線、横浜高速みなとみらい線との相互直通運転を開始
	27.12.08	参加者22名											
	29.11.14	参加者23名											
31.09.02	参加者23名												
					3	26	「新宿駅東口地区における駐車場地域ルール」策定（運用開始：11月25日）						
				H26 (2014)	4	1	消費税8%スタート						
				H27 (2015)	3	31	「新宿駅西口地区における駐車場地域ルール」策定（運用開始：H29年12月1日）						
					4	16	「新セントラルロード」「新宿東宝ビル」完成記念式典開催						
					3	-	「新宿駅周辺地域まちづくりガイドライン」策定						
					3	25	「JR新宿ミライナタワー」（地上32階、地下2階）開業						
				H28 (2016)	4	4	「新宿南口交通ターミナル（通称：バスタ新宿）」開業						
					4	14	熊本地震発生						
					12	5	新宿駅東南口高架下喫煙所使用開始						
					12	10	新宿駅東南口高架下に「新宿観光案内所」オープン						
					3	15	「区成立70周年記念式典」開催（新宿文化センター）						
				H29 (2017)	6	20	「新宿の新たなまちづくり～2040年代の新宿の拠点づくり」策定						
					12	-	「新宿区総合計画（H30～H39）」、「新宿区まちづくり長期計画（都市マスタープラン・まちづくり戦略プラン）」策定						
				H30 (2018)	3	29	「新宿の拠点再整備方針～新宿グランドターミナルの一体的な再編～」策定						
					10	1	消費税10%スタート						
R1 (2019)	12	20	東西自由通路を東京都市計画通路新宿駅地下通路線として都市計画決定	R1 (2019)	12	20	新宿駅直近地区に係る都市計画決定（都市施設、地区計画、用途地域、土地区画整理事業）						
R2 (2020)	7	19	東西自由通路開通	R2 (2020)	4	7	新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言（4/7～5/25）						
				R3 (2021)	3	-	建物計画などの具体化に合わせた新宿駅直近地区の都市計画変更（都市計画駐車場、地区計画）						

# 第4章 新宿駅周辺における 今後のまちづくり

新宿駅周辺地域におけるまちづくりの動向、  
今後の方針を紹介する。

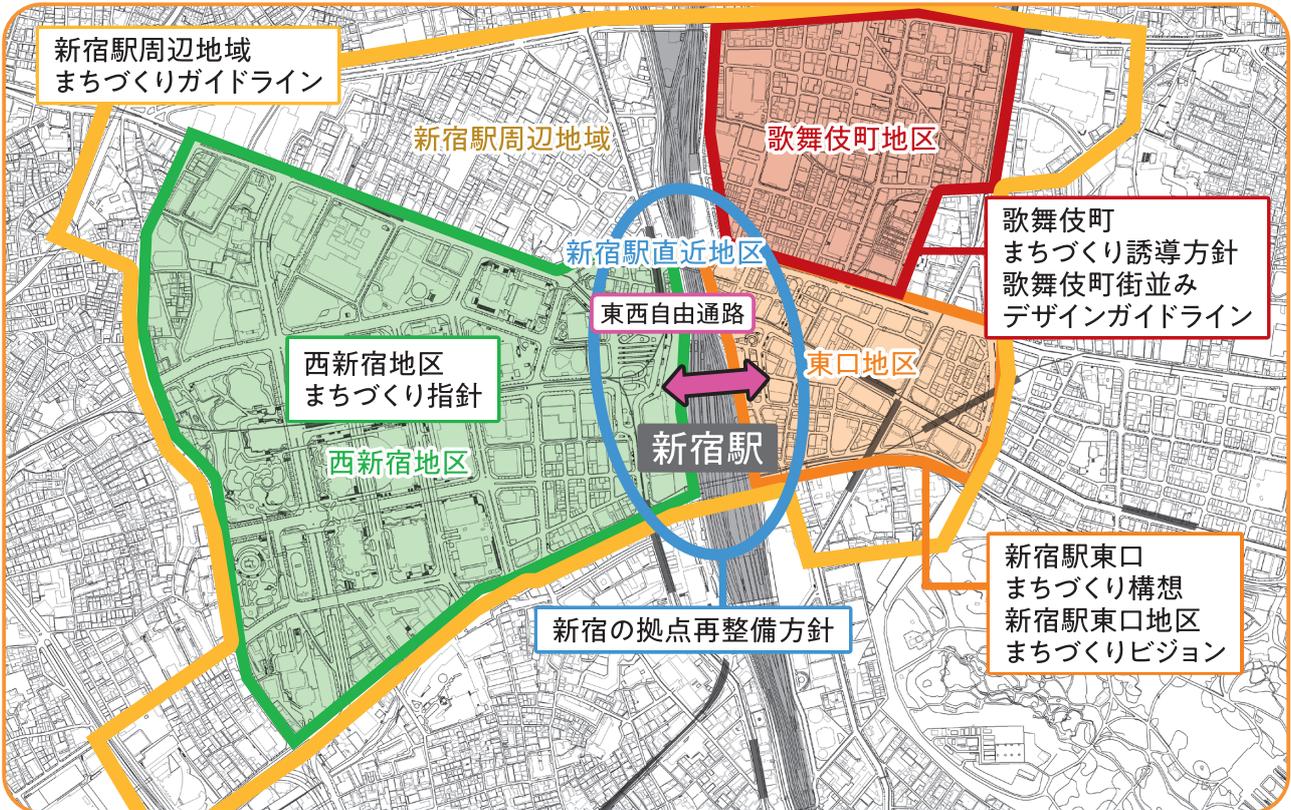
そして、新宿の更なる発展へ期待がかかる  
2040年代に向けた  
新宿グランドターミナル構想を展望する。



## 1 各地区の方針やガイドライン

# 新宿駅周辺では、各地区の特色を活かしたまちづく

### ■各方針の対象範囲



### ■各方針の位置付け

新宿区まちづくり長期計画

都市マスタープラン (平成29年12月見直し)

まちづくり戦略プラン (平成29年12月策定)

新宿駅周辺地域まちづくりガイドライン (平成28年3月新宿区策定)

新宿の新たなまちづくり～2040年代の新宿の拠点づくり～ (平成29年6月新宿区・東京都策定)

#### 各地区のまちづくりの方針

西新宿地区

西新宿地区  
まちづくり指針  
(平成26年3月西新宿懇談会  
策定)

新宿駅直近地区

新宿の拠点再整備方針  
(平成30年3月新宿区・東京都策定)

歌舞伎町地区

歌舞伎町  
まちづくり誘導方針  
(平成21年11月新宿区策定)

東口地区

新宿駅東口  
まちづくり構想  
(平成23年2月新宿区策定)

歌舞伎町街並み  
デザインガイドライン  
(平成25年4月新宿区策定)

新宿駅東口地区  
まちづくりビジョン  
(平成31年3月新宿区策定)

### 具体的なまちづくりの取組み



# りに取り組んでいる

西新宿地区



新宿駅直近地区



歌舞伎町地区



東口地区



## 新宿駅周辺地域まちづくりガイドライン

(平成28年3月新宿区策定)

各地区毎の取組みを包含するとともに、新宿駅周辺地域全体のまちの目指すべき将来像とそれを実現していくための戦略・方策を定め、それらを地元・行政・関係機関等で共有し、各地区が連携してまちづくりを進め、相乗効果を発揮していくための指針を定めている。

### 西新宿超高層ビル地区

#### 「生活産業創発都心」

東京都市圏の成長の起点となり、ビジネスや生活文化が交流する、多様性と持続性のある都心の形成

- ▶ 「官民オープンスペース」の改良と活用
- ▶ 地区全体で回遊・滞在を楽しめる面的な歩行者空間の構築
- ▶ エリア防災の取組み
- ▶ 環境・エネルギー対策の推進

### 西新宿一丁目商店街地区

- ▶ にぎやかで活気のあるまちづくり
- ▶ 安全で快適な歩行者空間をつくる
- ▶ 誰もが訪れやすく心づくしのあるまちづくり

### 新宿駅直近地区

#### 「多様な魅力をつなぎ、世界につながるまち」

賑わいやうおい、業務や商業、観光や文化など、新宿の多様な魅力の交流拠点として、世界中の人を惹きつけ、まちとまち、人と人、まちと人をつなぎ、新宿の魅力をいっそう高めるまち

- ▶ 人々が出会い交流するまち
- ▶ 便利で快適な交通ネットワーク
- ▶ 新宿の「顔」づくり
- ▶ 安全・安心でうるおいのある持続可能なまち

### 歌舞伎町地区

#### 「エンターテインメントシティ歌舞伎町」

多種多様な人を歌舞伎町の奥まで誘導し、地区内の回遊性を高めることでエンターテインメントシティ歌舞伎町らしい賑わいと活力を創出

- ▶ 魅力ある拠点
- ▶ 中心街区のリニューアル、公共的な空間の有効活用
- ▶ 歩行者・車のアクセス改善
- ▶ うるおいあるみどりの充実、誰もが歩きたくなる楽しいまちなみ
- ▶ 繁華街を楽しめる環境づくり

### 新宿駅東口地区

交流核と歩行者優先空間の拡充により、魅力があり元気であり続けるまちづくり

- ▶ 歩行者主体の回遊性のあるまち
- ▶ 老朽化建物の更新による活気あるまち
- ▶ 風格と活力が調和した魅力あるまち

## 2 新宿駅周辺におけるまちづくりの動き

# 新宿駅周辺においては、魅力あるまちづくりが各地

### 【①東京医科大学病院】



最新の機能を取り揃えた新病院が令和元年7月にオープン

### 【②新宿中央公園の魅力向上】

カフェ、レストラン、アウトドアフィットネスクラブが入る交流拠点施設(SHUKNOVA)と約8,500㎡の広大な芝生広場が令和2年7月にオープン



Photo © 2020 Nacasa & Partners Inc.

### 【③新宿住友ビル三角広場】



国際会議にも対応したホール及び日本最大級の全天候型屋内広場が令和2年7月にオープン

### 【④SOMPO美術館】



新たなアートの発信拠点となる美術館が令和2年7月にオープン

### 【⑤新宿駅東口駅前広場】



来街者にとって安全で快適な歩行者空間を創出するため、歩道拡幅等を行い暫定的に東口駅前広場を整備

### 【⑥SHINJUKU EAST SQUARE】



東口の新たなランドマークとして、ルミネエスト新宿前の駅広場にパブリックアートをを用いた賑わい空間が令和2年7月にオープン



# 区で進められている。

## 【6 (仮称)西新宿一丁目地区プロジェクト】

明治安田生命新宿ビルを含めた街区一帯で、事務所・商業・ホール等の機能が入る複合ビルが令和7年に竣工予定



## 【7 新宿駅西口地区開発事業】

小田急電鉄(株)と東京地下鉄(株)によるハイグレードなオフィス機能や新たな顧客体験を提供する商業機能、来街者と企業等の交流を促すビジネス創発機能等を備えた地上48階、高さ約260mの高層複合施設が令和11年度に竣工予定



## 【8 歌舞伎町一丁目地区開発計画】

新宿歌舞伎町エリアに、映画館・劇場・ライブホールなどのエンターテインメント施設、ホテルなどからなる地上48階・地下5階・塔屋1階、約225mの高層複合施設が令和4年度に竣工予定

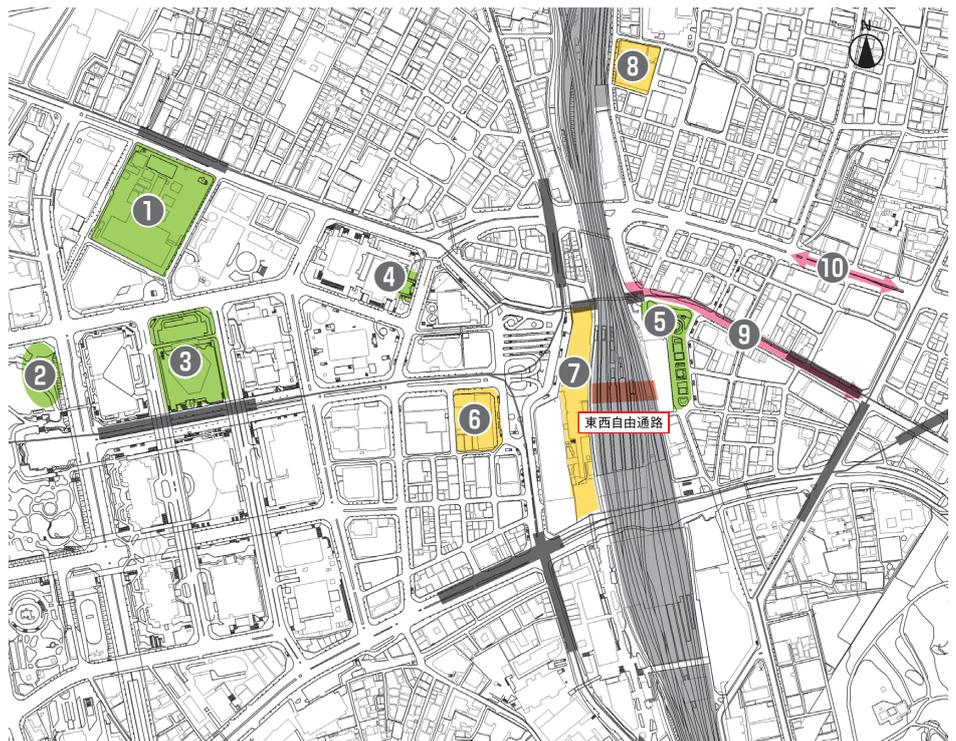


## 【9 新宿通りモール化】

快適な歩行者空間確保・まちの活性化を図るため、新宿通りにおいて歩行者のためのモール化を検討

## 【10 靖国通り地下通路の延伸】

靖国通り地下の新宿サブナードと副都心線コンコースを結ぶ地下通路の整備を検討



### 【凡例】

- 開発計画等(完了・供用開始)
- 開発計画等(計画・施工中)
- 構想・検討段階

### 3 2040年代に向けた新宿駅周辺整備

## 新宿駅直近地区の整備方針として「新宿の拠点再整

### ■新宿の拠点再整備方針

平成30年3月新宿区・東京都策定

新宿駅周辺には、築50年以上の建物が多く存在し、駅や駅ビルも老朽化が進んでいる。更新期を迎えた駅ビルの建替えを契機として、誰にとっても優しい「新宿グランドターミナル」とするため、駅、駅前広場、駅ビル等を一体的に再編整備することとし、新宿区と東京都は「新宿の拠点再整備方針～新宿グランドターミナルの一体的な再編～」を策定した。

### 新宿グランドターミナルのコンセプト

## *Shinjuku Grand Terminal*

### 新宿グランドターミナル

駅、駅前広場、駅ビル等が有機的に一体化した次世代のターミナル

誰にとっても優しい空間がまちとつながり、

様々な目的をもって訪れる人々の多様な活動にあふれ、

交流・連携・挑戦が生まれる場所

#### 交流

世界一のターミナルでつながる

世界一の乗降客数を誇るターミナルが多様で魅力的なまちの結節点となり、異業種、異文化の垣根を越えて無限の交流を生み出す

## 新宿

## グランドターミナル

#### 連携

常に新しい何かに触れ合える

新宿に集まり、新宿を行き交う多種多様な「人・文化・情報・技術」の接触が融合を生み、連携することにより、国内外から新宿を訪れる人々の活動の場が次々に広がる

#### 挑戦

ビジネスも、カルチャーも、観光も更に魅力的に、多くのニーズに応える

交流と連携が進む環境の中で新たな価値やアイデアを発見した人々によってイノベーションの源泉となる挑戦の場を通じて最新の商品やサービス、文化が持続的に生み出される



# 備方針」が策定された。



- まちの特性 多様な都市機能が高度に集積した抜群の拠点性
- ターミナルの特性 世界一の乗降客数を誇る圧倒的な交通利便性



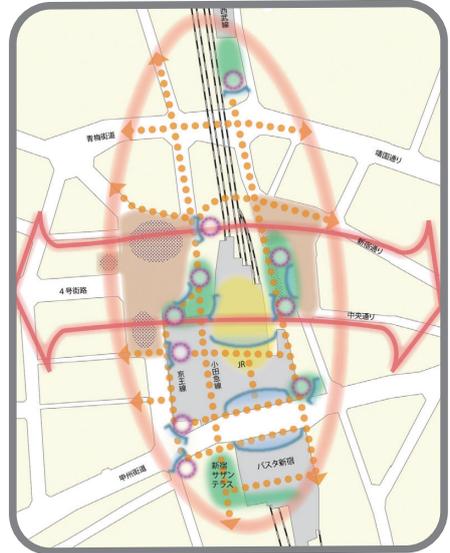
まちづくりの方向性

- ① 世界一のターミナルにふさわしい機能の充実・強化
- ② 駅とまち、まちとまちの回遊性向上
- ③ 国際競争力の強化に資する機能の導入
- ④ 周辺地域への展開

## グランドターミナルの再整備方針

交流軸の構築	方針 1	グランドターミナルとまちを「東西骨格軸」でつなぐ I 東西のまちをつなぐデッキを線路上空に新設 II 東西骨格軸となる道路を歩行者優先の空間に再編
	方針 2	グランドターミナルを一体化して整える I グランドターミナルを一体化するターミナル軸を構築し、まちとつなぐ II グランドターミナルの人の流れを整える III わかりやすく人に優しいグランドターミナルに整える
	方針 3	人中心の広場とまちに変える I 歩行者優先の駅前広場に再構成 II グランドターミナルへの車両流入を抑制
連携空間の創出	方針 4	グランドターミナルの顔となるプラザ・テラスを整備する I グランドターミナルのシンボルとなる新宿セントラルプラザの整備 II デッキから地下までを結ぶ新宿テラス (East・West・North) の整備 III 新宿テラスからまちの各所に視線が抜ける空間 (新宿View) を確保
	方針 5	グランドターミナルに新たな機能を誘導・導入する空間を創出する I 新宿セントラルプラザに公益的な活動交流空間 (新宿ラボ) を創出 II 新宿テラスに鉄道沿線の多様な機能を融合する空間 (地域連携ラボ) を創出 III グランドターミナルに訪れる人々が触れ合えるショールーム空間を創出 IV 安心して過ごせる空間の確保
	方針 6	グランドターミナルの各所に人が佇みたくなる空間とみどりを創る I 駅がわかるエントランスの創出 II 交流軸やエントランスに沿って連携空間を創出 III 新宿中央公園と新宿御苑を結びつけるみどりの塊をグランドターミナルの各所に創出
持続的な発展への挑戦	方針 7	新宿のレガシーを継承しながら、新たな景観を生み出す I 西口立体広場のポイド等を継承・発展し、グランドターミナルからまち全体に展開 II 新宿セントラルプラザや駅前広場に面して、交流・連携・挑戦を感じさせる設えを用意 III 遠方から視認できる、新宿らしいスカイラインの形成
	方針 8	誰もがチャレンジできる環境を用意する I 訪れる人々に多様な活動やサービスを提供するラボ機能の導入 II オールラウンドに発信を行える多様性を持ったショールーム機能の導入 III 消費者と直接結び付き、新たな価値を生み出すイノベーション機能の強化 IV 人々を新宿に集め続け新たな発信が行われる、国際競争力強化に資する機能の導入 V チャレンジャーを生み出し続ける環境づくり
	方針 9	次世代の技術導入の可能性に果敢に挑戦する I 次世代モビリティシステムへの対応 II エネルギー地域制御への対応 (エネルギーの多様な面的利用の拡大・連携強化と計画的更新) III 新技術を活用した災害時の対応
	方針 10	新宿全体の挑戦に結び付ける I グランドターミナル周辺の段階的な機能更新につなげる II 新宿全体の価値向上につながる、持続可能なエリアマネジメントの推進

## グランドターミナルの再編イメージ



※1 ターミナル軸：グランドターミナルを一体化し、まちとつなぐ歩行者空間 ※2 ターミナルシャフト：地上・地下・デッキレベルのターミナル軸をつなぐバリアフリーの縦動線  
 ※3 新宿セントラルプラザ：グランドターミナルの核となる広場空間 (線路上空) ※4 新宿テラス：グランドターミナルの顔となり、人の動きが立体的に感じられる、視認性の高い広場空間  
 ※5 エントランス：周辺から駅的位置が視認でき、人が佇む場と共に、人の動きが立体的に感じられる視認性の高い空間

### 3 2040年代に向けた新宿駅周辺整備

#### ■新宿グランドターミナル・デザインポリシー2020(案)

##### デザインポリシーの目的

新宿の拠点再整備方針の具体化に向け、新宿グランドターミナルの空間・景観のつくり方を以下の視点に沿って示す。

- 視点① 「交流・連携・挑戦が生まれる場所」となる空間のつくり方
- 視点② 新宿の多様な個性を活かした新たな景観のつくり方

##### デザインポリシー

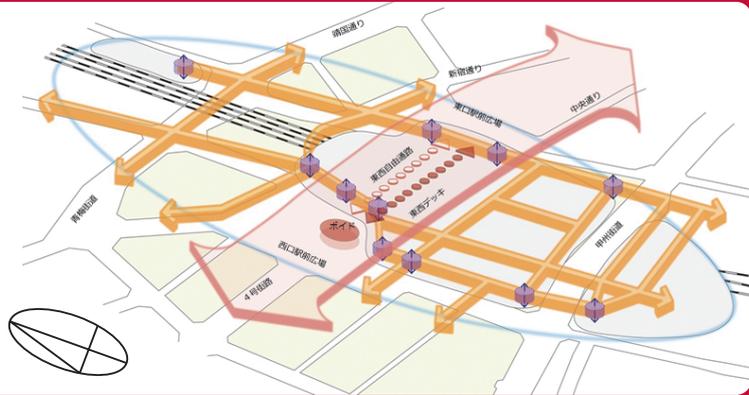
## 人びとが集う広場を中心につくる新宿グランドターミナル

### 交流 つなぐ

グランドターミナルをまちと結びつけ、  
交流を生む歩行者中心のネットワーク

凡例

- ⇔ 東西骨格軸
- ⇔ ターミナル軸
- ターミナルシャフト

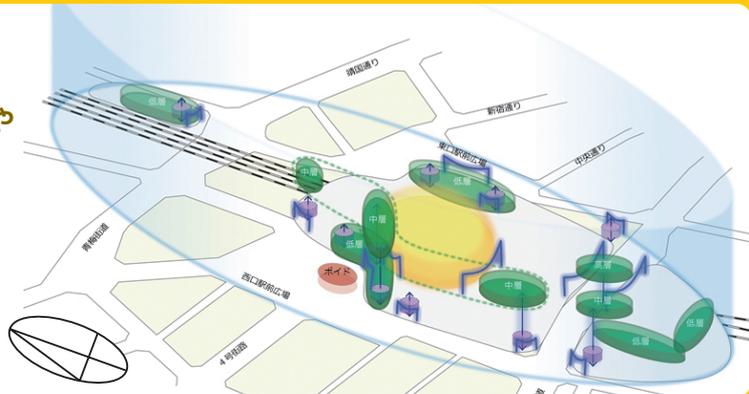


### 連携 触れ合う

新たなビジネス・文化・技術等の連携や  
多様なまちとの連携を促し、  
賑わいを生む空間

凡例

- 新宿セントラルプラザ
- 新宿テラス
- エントランス
- ターミナルシャフト
- ↑ ↓ 縦動線

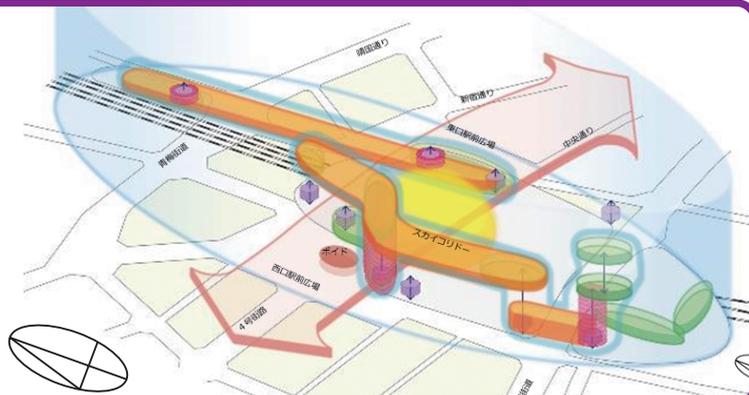


### 挑戦 生む

新たな挑戦を絶えず生み出し、  
新宿全体の挑戦につなげる

凡例

- 有機的なつながりのイメージ
- ⇔ 東西骨格軸
- ⇔ コリドー
- グランドシャフト
- ターミナルシャフト
- ↑ ↓ 縦動線
- 新宿セントラルプラザ
- 新宿テラス

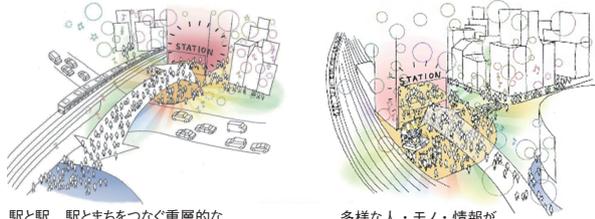




## 「交流・連携・挑戦が生まれる場所」となる空間

### 多様な人や情報が交わる「文化交流広場」をつくる 北ゾーン

駅と駅、まちと駅をつなぐ空間をつくる  
 新宿駅東口地区や歌舞伎町地区に開かれた空間をつくる  
 グランドターミナルと歌舞伎町の結節点となる空間をつくる

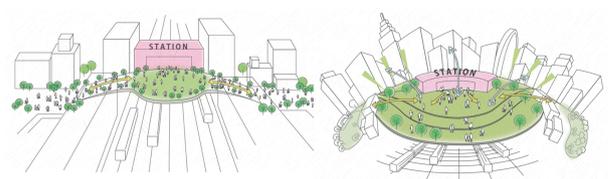


駅と駅、まちとまちをつなぐ重層的な歩行者空間のイメージ

多様な人・モノ・情報が交わる空間のイメージ

### 新たな挑戦を持続的に生み出す「セントラルプラザ」をつくる 中央ゾーン

東西骨格軸から南北につながる広場をつくる  
 様々な活動が可能なフレキシブルな広場をつくる  
 新しい新宿の象徴となる広場をつくる



周辺のまちと駅施設がみえる広場空間のイメージ

駅とまちの一体性の象徴となる空間のイメージ

### 駅前広場と建物が一体となった「立体都市広場」をつくる 西ゾーン

東西骨格軸とまちをつなぐ空間をつくる  
 歩行者中心の立体的な駅前広場と一体的な空間をつくる  
 南北をつなぐスカイコリドーをつくる



立体都市広場のイメージ

### 駅とまちを融合させる「歩行者回遊広場」をつくる 東ゾーン

まちの通りと駅をつなぐ広場をつくる  
 まちに開かれた空間をつくる  
 まちと駅が重層的につながる空間をつくる

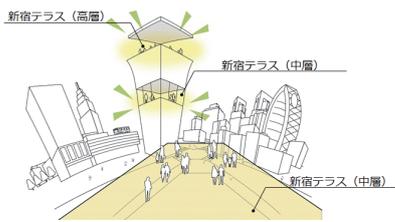


まちとのつながりを意識させる広場空間のイメージ

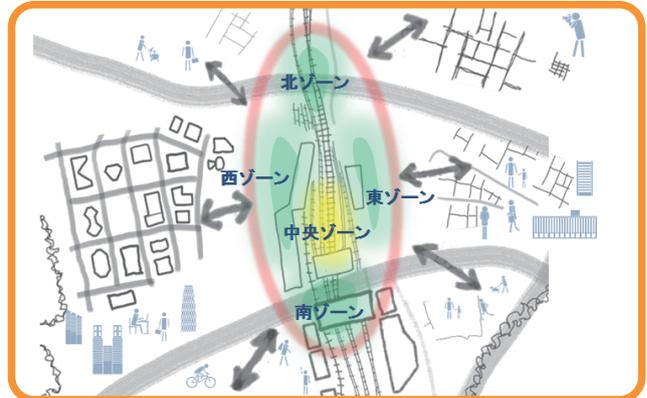
地下から地上へ人々を引き上げるダイナミックな縦動線のイメージ

### 新たな魅力を発信する「空中都市広場」をつくる 南ゾーン

南北のまちをつなぐ空間をつくる  
 都市の魅力を発信し、人々が集う新宿テラスをつくる  
 新宿の新たな玄関口となるゲート空間をつくる



新たな発見・体験の場となる広場のイメージ



## 新宿の多様な個性を活かした新たな景観

### まちの個性を活かした「新しい新宿」をつくる

近景・中景

異なる新宿の個性を象徴するデザイン

遠景

まちの新しいランドマークとなるデザイン

夜間景観

新しい夜間景観をつくる光の演出

象徴のみどり

まちとまちとのつながりを象徴するのみどり

潤いのみどり

空間を潤す一体的のみどり

新技術

都市における新しい環境技術の活用



新宿の新たな拠点としてみる建物群のイメージ

中央・西・東・南・北ゾーン



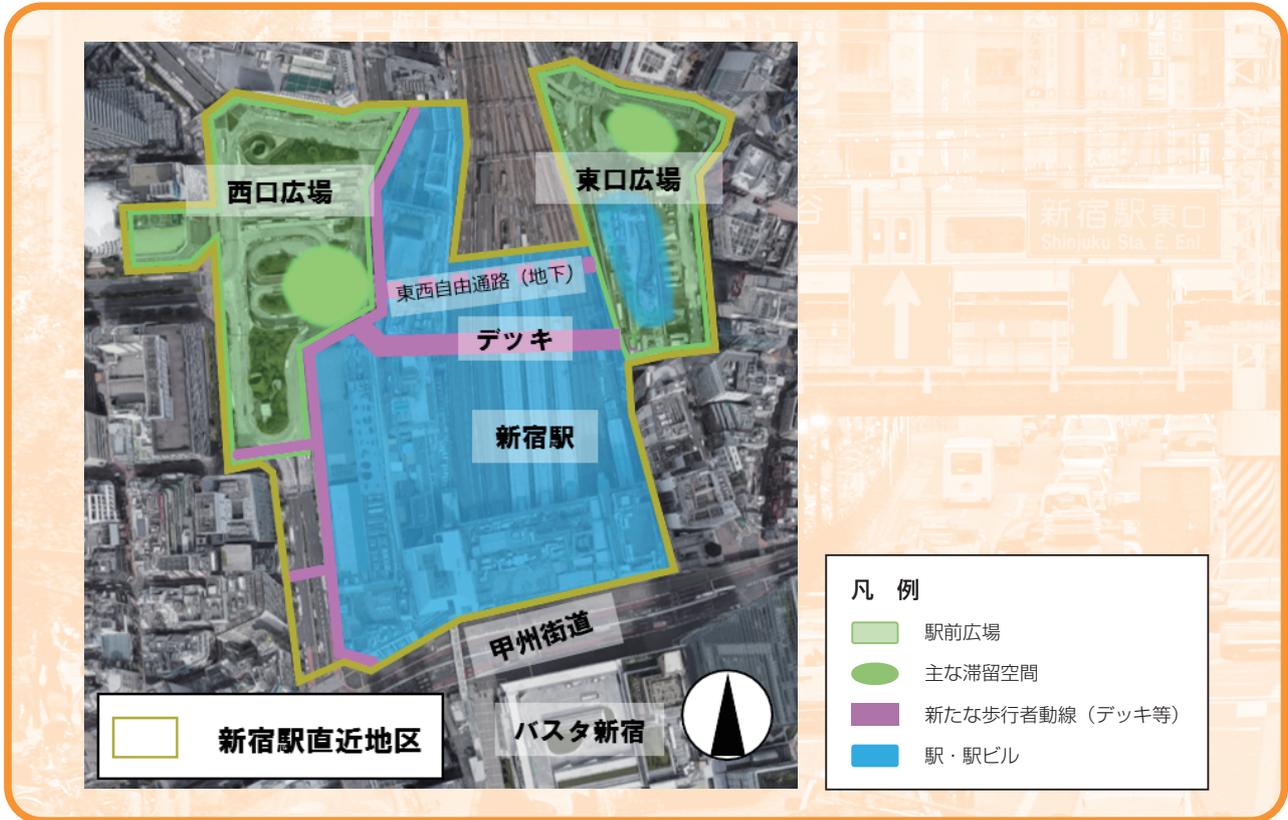
公共的空間と建物が一体となって潤いを感じられるみどりのイメージ

## 4 新宿駅直近地区の再整備

# 新宿駅直近地区では、新宿グランドターミナルへの一体的

### ■新宿駅直近地区の関連都市計画

#### 整備の方向性



#### 歩行者動線の整備の方向性

##### デッキの新設等による歩行者ネットワークの拡充

- ▶ 線路上空に東西デッキを新設し、地下の東西自由通路と共に、東西のまちをつなぐ東西骨格軸を形成
- ▶ 歩行者ネットワークの重層化による歩行者流動の分散化
- ▶ ユニバーサルデザインに配慮した空間を整備

#### 将来イメージ

##### 線路上空デッキ

線路上空に歩行者デッキを新設し、地下空間に集中する歩行者を分散化



線路上空デッキ将来イメージ(ルミネエストから小田急百貨店方面を望む)  
※この図はイメージであり変更となる場合があります。



# な再編に向け、段階的な都市計画の手続きが進められている。

## 駅前広場・滞留空間の整備の方向性

### 人中心の駅前広場に再編

#### 歩行者系機能

- ▶ 歩行者優先の駅前広場に再構成し、歩行者空間を拡大
- ▶ 駐車場の出入口を移設し、歩行者空間を拡充

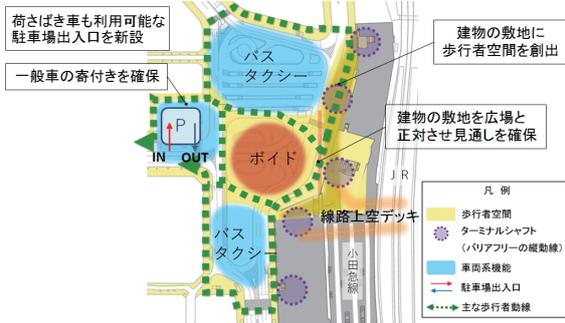
#### 車両系機能

- ▶ 駅前広場への車両流入の抑制
- ▶ バス・タクシー乗り場等の再配置により交通結節機能を強化
- ▶ 駐車場の駅前広場内の出入口を移設し、駅前広場に流入する車両を抑制

## 将来イメージ

### 西口地上広場

- ・線路上空デッキと連続し、建物と一体となった歩行者の滞留空間を創出
- ・地下に光が入るポイド(大穴)を広場の中心に整備
- ・バス・タクシー乗り場を再配置し、交通結節機能を強化
- ・駐車場(西口)出入口を再配置し、駅前広場に流入する車両を抑制



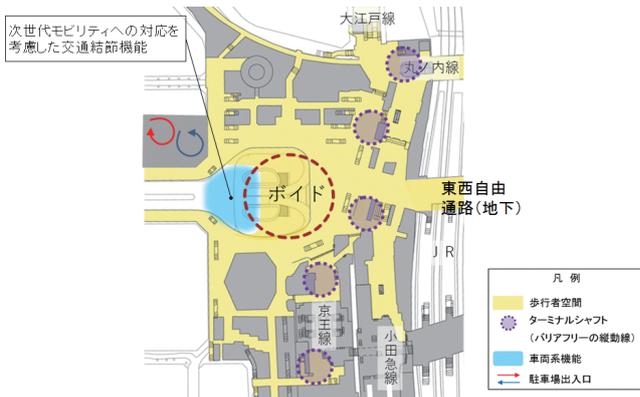
### 東口広場

- ・車道の一部と駐車場出入口を線路側に移設し、歩行者空間を拡大
- ・集約できない荷さばきのためにまち側の車両動線を確保
- ・角筈ガードとの接続部は、歩行者ネットワークの連続性を確保



### 西口地下広場

- ・東西自由通路(地下)と連続し、建物と一体となった歩行者の滞留空間を創出
- ・地上と地下をつなぐループ車路を撤去し、歩行者空間を拡大
- ・駐車場に荷さばき機能を確保
- ・地上と地下をつなぐ縦動線を拡充



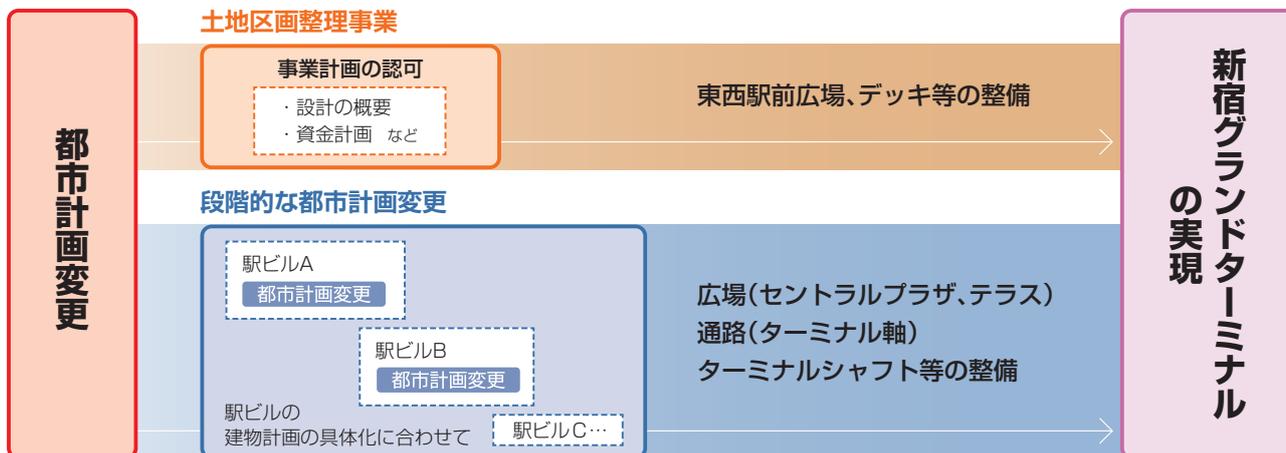
上 / 新宿駅西口  
将来像イメージ  
下 / 新宿駅東口  
将来像イメージ  
(新宿駅東口より  
歌舞伎町方面を望む)

※これらの図はイメージであり変更となる場合があります。



# 新宿グランドターミナルの実現に向け、 新宿駅は更なる進化を続けて行く

2019 → 2020 → 2040 →



## 出典・資料提供

### 【文献】

新宿区成立70周年記念誌／目で見える新宿区の100年／新宿駅100年のあゆみ／ステーション新宿／新宿駅周辺地域まちづくりガイドライン／新宿の拠点再整備方針／新宿グランドターミナル・デザインポリシー 2020（案）／新宿駅直近地区に係る都市計画変更について／新宿駅直近地区に係る都市計画案について

### 【ウェブサイト】

長崎大学附属図書館 幕末・明治期日本古写真メタデータ・データベース「十二社の滝」／新宿十二社 熊野神社ホームページ／新宿西口思い出横丁公式サイト／三井住友不動産「このまちアーカイブス 東京都新宿」／マイナビニュース「東京都新宿区の歌舞伎町には「歌舞伎座」がないのになぜ歌舞伎町なの？」／新宿・花園ゴールデン街 新宿三光商店街振興組合ホームページ／国土交通省「バスタ新宿開業後1年の「成果」と「課題への対応」」／新宿歴史博物館「データベース 写真で見える新宿」

### 【写真・資料提供】

東日本旅客鉄道株式会社／新宿歴史博物館／©一般社団法人新宿観光振興協会／Photo ©2020 Nacasa & Partners Inc.／環境省新宿御苑管理事務所／東急（株）、（株）東急レクリエーション／（学）東京医科大学／明治安田生命保険（相） 他

## 新宿駅東西自由通路開通記念 2020.7.19

発行 令和3(2021)年3月

東西自由通路等新宿駅周辺整備促進同盟事務局(新宿区 新宿駅周辺整備担当部)  
〒160-8484 新宿区歌舞伎町一丁目4番1号  
TEL:03-5273-4164



